前號發賣禁止

無產階級戰鬪雜誌

大正十四年三月一日發行（毎月一回一日發行）

第三週年記念號

第三年　第三號

第三年◆進め◆三月號

目次

◆闘ひの黎明……（表紙）……高橋季暉
卷頭言……
社會主義と私有財產……石川準十郎
變則奮鬪……小牧近江
端書問答（希望と方法）……二十九氏
無產政黨壓迫法案……松下芳男
◆大庭柯公を殺した者は誰か……山崎今朝彌
日本資本主義の前途……佐野袈裟美
コンミユニズムは常に大衆の中へ……新歴進
實際手段を研究せよ……渡部信義
カルトとは何か……梅津四郎
巷に往來して……小林實
端書問答（進め社に對する希望と批評）……二十三氏
虐げられた者の手記……吉田源藏
暴法案反對運動渦中記……谷口生
全土戰報……
日本の無產階級へ……谷朴秀
普選利用と其期待……鈴木厚
俸給生活者と社會運動……樋口弘
近世社會主義史……春田正
◆夕闇のなかに……畑村吉雄
農民活躍史……入代琢雄

社告

「進め」三週年の辭

――三週年記念號刊行の意味――

我等が「進め」を創刊して早くも三年に達した。顧みて自ら力の足らざりしを悲しむ所素より鮮くはないが、一片の主張を支持して屈せず、内に燒くが如き貧困と鬪ひ、外に官權の膺懲に抗しつゝ、兎も角も無產階級解放運動の第一線に立ち續けた事は、窃かに微笑禁じ難きものもある。無產階級の戰鬪的前進は絶えず肉と血の動力を要求しつゝある。我等は素よりそれを知る。印刷物の刊行を以て、自己の使命畢ると信ずる者ではない。假令僞さゞる力を盡して引受けなければならぬ仕事は前途に累積せるを認めて内心の焦慮絶ゆる時がない。併しながら、世上の行動はそれ〴〵の條件の下にのみ許され、その時を得ずんば一切の劃策も机上に消滅するを思はゞ、我等は當面の仕事として、雜誌の刊行を擧げざるを得ない。たゞ我等は既往の三年間、階級戰の陣營に肉と血を捧ぐるの心を以て「進め」の發行を續けて來た。今後も亦此の志の指示に基いて進むべきは言ふまでもない。

顧れば此の三年間は、日本の社會に取つて如何に多事であつたことか。百年に一度なるべき大震災まで來り見舞つた。そこに生じた大波瀾は、無產階級の行進にも多大の覊絆を齎し、その事は更に我等の頭上に諸ての困難を倍加した。一時は十數個に達した同志の雜誌等の多くは震災後の經營難を突破し得ずして斃れた。而も幸に我が「進め」にあつては直ちにその陣容を恢復し、よくその使命に反かざるを得た事は、我等の衷心より祝ぶ所、又後方の援助者に對して、深き感謝を捧ぐる所である。

我等の運動は全無產階級の運動と終始する。苟くも世に階級の對立ある限り、隨つて歷史的必然を以て現はるべき階級鬪爭の續かん限り我等は孜々として自己の仕事に努めなければならぬ。此の事を思へば、三年間の雜誌繼續の如き、僅かに一歩の發足のみ。

併しながら、三週期を迎えたる事は一片歡喜の情緒動かないでもないと共に、更に一段の飛躍に對し、新しき奮鬪の湧き上るものである。之等の意味を表はす爲めに三月號を三週年記念號とする事とした。

思ふに、日本の社會運動は今一大暗黑期に面してゐる。將來の一年間は既往の三年間に比べて數倍の困難を含むであらう。されど我等の生活は戰ひである。敵の優勢を見て益々振はなければならぬ。大困難の殺到を豫期して、我々の意氣は益々揚る。來るべき三年の、五年の、十年の、間斷なき戰を宣する爲めに、今過去を顧みて三週記念號を發行する。

大正十四年三月

代表者　福田狂二

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

治安維持法案全文

第一條　國體若くは政體を變革しまたは私有財產制度を否認するの目的を以つて結社を組織しまたは情を知りて之に加入したるものは十年以下の懲役又は禁錮に處す

前項の未遂罪は之を罰す

第二條　前條第一項の目的を以て其の目的たる事項の實行に關し協議を爲したるものは七年以下の懲役又は禁錮に處す

第三條　第一條第一項の目的を以て其目的たる事項の實行を煽動したるものは七年以下の懲役又は禁錮に處す

第四條　第一條第一項の目的を以て騷擾暴行其他生命身體又は財產に害を加ふべき犯罪を煽動したるものは十年以下の懲役又は禁錮に處す

第五條　第一條第一項及前三條の罪を犯さしむる事を目的として金品其他財產上の利益を供與し又は其申込若くは約束を爲したるものは五年以下の懲役又は禁錮に處す

情を知りて供與を受け又は其要求若くは約束したるもの又同じ

第六條　第五條の罪を犯したるもの自首したる時は其刑を輕減又は免除す

第七條　本法は何人を問はず本法施行地域外においてて罪を犯したるものに又之を適用す

われは知る

石川啄木

われは知る、テロリストの
かなしき心を……
言葉と行ひとを分ちがたき
たゞひとつの心を
奪はれたる言葉のかはりに
行ひをもて語らんとする心を
われとわがからだを敵に擲つくる心を——
しかして、そは眞面目にして熱心なる人の常に有つかなしみなり。

× × × ×

はてしなき議論の後の
冷たるココアの一匙を啜りて
そのうすにがき舌觸りに
われは知る、テロリストの
かなしき、かなしき心を。

（啄木全集より）

地域的思想團體へ!!

——日本的社會主義運動型の提唱——

■日本無產階級は豫め大正十四年を記憶せよ。恐らくは、歪められたる「普選」の議案を通過した年であり、「治法」の議案を通過した年である。日本無產階級の呪が大和島根のその根の底まで泌み通つた年である。

■「普選」が通過し「治法」が通過した爲ではないが、吾人は此處に日本的社會主義運動型として「地域的思想團體」主義を提唱する。蓋し吾人は日本に於ける無產階級解放運動に於て決定的作用を演ずるものは、恐らくはこの「地域的思想團體」であらうことを信じ、且それは日本無產階級解放運動に最も適した運動單位乃至形態であることを信ずるからである。

■その科學的論證を爲せと云ふなら必ずしも爲さないものでもない。けれ共それは他日に讓り若しくは寧ろ同志たる讀者諸君の胸の中に問ひ、此處には單に吾人の意味するその「地域的思想團體」の根本的性質に就て說明するに止める。

■吾人の意味する「地域的思想團體」の「地域的」とは、「地域的利害に即する」を意味するものではない。それは單に「地理的に結合する」を意味する。即ち吾人の意味する「地域的思想團體」とは一職業的に無差別に、只の同一の無產階級に屬すると云ふ點で以て、地理的に結合せる無產者の團結を意味する。

■蓋し、無產階級解放原理即ち社會主義原理は、決して個々の產業的乃至職業的集團の利害の上に立つものではなくして、全無產階級の共通的抽象的利害の上にのみ立つものである。されば無產階級解放運動は必しも產業的職業的單位をとるの必要なく、其國の事情に依つて便宜な單位をとつて進む可きである。「地域的思想團體」の強味は直接大地に足して居る所に在る。彼は「選擧的」に活躍し易いと共に、「〇〇的」にも活躍し易い。彼は伸縮自在、彈力性を持ち融通性を持つ。

■從來日本の社會主義運動はサンヂカリズム(佛國型)よりボルシエビズム(露國型)へ、ボルシエビズムよりフエビアンニズム(英國乃至獨國型)へ、と轉々として浮草の如く漂ひはしなかつたか?、日本に歸れ。大地に足をつけよ。眞の日本の社會主義運動はこれからだ!(石川)

社會主義と私有財產

石川準十郎

無產階級は「私有財產制を否認すること」なくしては、決して解放されない。

一、治法と私有財產制度

無產階級の熱烈な反感も甲斐なく、恐るべき惡法「治安維持法」は遂に議會を通過せんとして居る。日本無產階級はこの年、この月、この日を忘れてはならない。「物言へば、唇寒き」時代がこれより開展されようとして居る。心ある者、誰か義憤を感ぜずに居られよう。それにつけても我々は、この際如何ようにもせらるれ言ふだけのことは言ひ、明かにするだけのことは明かにして置かねばならない。

今度の「治安維持法案」なるものは、冒頭に掲げたる全文に見るが如く、條文の文字通りの解釋に依れば、如何なる手段に依る「私有財產制の否認」をも、全く禁ずるものである。最初使用されるであらうと思はれた內務省案の「不法手段に依る私有財產制の否認」は、司法省案に代へられて只單に「私有財產制の否認」となつた。即ち、如何なる手段に依るかを問はず、苟くも「私有財產制を否認するもの」であるからには、その「實行」であらうが「煽動」であらうが「十年以下」乃至「七年以下」の「懲役又は禁錮」に處すと云ふのである。これが文字通りの解釋である。この文字通りの解釋に依れば、日本支配階級は日本無產階級の私有財產廢止運動をば、劍と獄屋とを以て、全く封鎖しやうとするものである。これは無產階級にとつて何を意味するか。

二、今日の社會的貧乏と私有財產制度

そもく、無產階級は、私有財產制を否認することなくしては、今日の貧乏狀態、奴隷狀態より脫することは絕對に出來ない。何故と云ふに今日の世の中の大多數階級の貧乏と云ふものは、全くこの私有財產制度から來て居るからである。今暫らくこの點に就て說明しやう。

今日の世の中は、昔に較べれば比較にならない程生產力(富を作る力)が發達して居るにも拘らず大多數の人々(全人口の約九割)が貧乏の中に苦しんで居るのはどう云ふ理由かと云ふに、大體次の二つの原因からである。即ち今の世の中には、(一)社會的搾取が行はれて居ると云ふことと、(二)社會的無駄が行はれて居ると云ふことの二つの原因からである。そしてこの社會的搾取と社會的無駄とは共に、私有財產制そのものから來て居るのである。

(1)社會的搾取

社會的搾取と云ふのは、或る階級が他の階級を搾取することであつて、今日では有產階級が無產階級を搾取して居ることを言ふのである。即ち、今の世の中は、生產機關を所有して居る階級と、所有して居ない階級との二つに分れて居て、その所有して居ない階級の人々(全人口の約九割)は、その所有して居る階級の人々に、その勞働力を賣つて(即ち傭はれて)、それに依つて生活しなければならない。それより他に生くべき道はない。所が有產階級は、その無產階級を雇傭して働かせて、働いただけ無產階級に呉れるかと云ふに決してそうではない。働いただけ(原料、助成材料、勞働要具等の費用を差引いての働き)を呉れたんでは、有產階級は一向得にならない。そこで有產階級は無產階級が働き出した分から自分の儲け分を差引いて、その殘額を無產階級に呉れるのである。實際には、前以てその儲け分を差引いた勘定で無產階級から勞働力を買入れるのである。この關係を搾取と云ふのである。

それならば、有產階級は無產階級に何を標準としてどれだけ拂ふかと云ふに、それは丁度無產階級が漸く生きて行くに足るだけの額を拂ふのである。尤も人に依つてはそれ以上貰つて居る人もあるのだが、全體に平均して社會的に云へば、丁度無產階級が日々の生命をつないで行くに漸く足るだけの額しか貰はない樣に出來上つて居るのである。

だからして、無產階級はいつまで經つても働いても貧乏するのである。

三、今日の社會的貧乏と私有財產制度

(2)社會的無駄

私が此處に、社會的無駄と云ふのは、社會の行り樣に依つては全く爲なくても宜い事を、社會の仕組が惡い許りに爲て居るのを意味する。そして今の社會の貧乏の原因としては、社會的搾取よりもこの方が遙に重大である。所で、これはどこから來るかと云へば、矢張り私有財產制度から來て居るのである。

今の世の中は、マルクス社會主義者が云つて居るが如く、全く「經濟的無政府的生產」の世の中である。即ち、私有財產制及びそれに伴ふ自由競爭制の上に立つて居る經濟組織、生產及び消費の兩方面に亘つて、驚くべき無駄が行はれて居るのである。(この事に就ては今日では既に學者の間に統計まであげられて居る程である。)次にその簡單な說明を試みよう。

生產方面。今の世の中では、現在社會に存在する生產力を十分用ひることが出來ない。この事は殆ど定期的に來る所謂「不景氣」に於て露骨に見ることが出來る。「不景氣とは、血が出ること」だと或る小學校の無產階級の子供が答へたさうだが、その血の出る不景氣、血の出る貧乏は、社會に物が足りな

いからではない。社會の一方には物が山の樣に停滯して、その賣れないのを歎いて居るのである。そもそもこの貧乏は社會の物をあまり作り過ぎたから來たのである。社會は物が有り過ぎて貧乏するこれは何故であるか。それはかうである。即ち、今の世の中は私有財産制、自由競爭制を基とした賣り買ひの世の中である。今の世の中では欲しいと云ふことと、買ふと云ふことは別々である。欲しいからとて、買ふ金がなければ買へない。社會の購買力と云ふものは限定されて居る。所がこの購買力以上に物を生産する時は、忽ちそれだけ賣れなくなる。

有産階級は儲けが目的だから賣れなくなると早速生産力の運轉を一部或は全部休止させる。生産力の運轉を休止すると云ふことは、取りも直さず無産階級が失業すると云ふことである。社會の失業が擴大すると社會の購買力が益々減つて來る。社會の購買力が減ると益々物は賣れなくなるから、益々生産力を縮少して生産を緊縮し、随つて益々失業が擴大すると云ふことになるのである。斯くして、無産階級に「血が出る」のである。

斯樣に今の世の中では、現在有る生産力を十分利用することが出來ないで、その半にしなくても宜い貧乏をして居るのである。それは何も不景氣の時に限るものではない。只それは不景氣に於いて最も露骨に見られるだけであつて、今の世の中では平常それが大規模に行はれて居るのである。例へば、現在日本に三百萬町歩の耕作に適する未開墾地があるのだが、それが開墾され得ないと云ふのも同じ理由に基づくのである。

消費方面。今の世の中に社會の消費方面に於ける無駄即ち浪費は實に莫大なものである。が、此處にはその細論が目的でないのだから、只その本質の指摘だけに止めて置く。

今日莫大な勞働力と物とを消費して行はれて居る(一)商業及、それに伴ふ(二)投機、(三)廣告、(四)金融機關(五)保險業等は、世の中の仕組如何に依つては、全く必要のないものである。世の中は私有財産制の上に立つた競爭主義の世の中なればこそ、これらのものが必要なのであつて、社會が競爭主義より協働主義に移る時は全く或は大部分の無用のものとなり得るのである。今の世の中に於ける私有財産制より來る浪費は敢てこれだけに限らない。(六)國家の司法機關(監獄、裁判所)の大部分を(七)國際戰爭の多くも又その數に屬するものである。

四、社會主義と私有財産制及び治法

斯樣に今日の社會の貧乏、社會の階級對立と云ふものは、既に私有財産制そのものから來て居るものである。この私有財産制を廢止することなくしては、社會の貧乏は決して救はれない。

されはこそ、社會主義は、「無産階級は先づ國家權力を獲得し、生産機關を國有にする」(エンゲルス・空想的、科學的社會主義)と云ふのである。されはこそ、「無産階級はその國家權力を運用して、有産階級より漸次資本を奪取し、國家即ち支配階級として組織せられたる無産階級の手で生産機關を集中し、而して全生産力を出來るだけ迅速に漸進せしめる」(マルクス、エンゲルス、共産黨宣言)と云ふのである。

斯樣に、社會主義は明かに生産機關の私有を否認する。蓋し、生産機關を共有にすることなくしては無産階級は決して解放されないからである。社會主義運動とは共有財産主義運動に他ならない。

然るに、治安維持法案は、その法文の文字通りの解釋に依れば、全く私有財産制度否認の運動即ち社會主義運動を禁壓するものである。この法案は、換言すれば、無産階級を長年に亙つて干殺しにしようとするものに他ならない。天下これより甚だしき暴法があらうか。治法とは要するに無産階級干殺し法案である。

五、政府の「私有財産」の説明

尤も、司法當局の説明に依れば條文に云ふ所の「私有財産制度の否認」と云ふのは、「生産資料(生産機關、生産手段、生産要具、生産者財を云ふも皆同じ)」のみならず「消費資料(消費手段、消費者財、享樂財と云ふも皆同じ)」までも否認することを意味するものであつて、單に「生産資料」のみの私有を否認するものは、「この條文の適用外に」在るものであると云ふ。(「東京朝日新聞」二月十三日朝刊に依る。)

眞に然りとすれば、今回の治法は今日の社會主義運動にとつて大した障害となる物ではないと。何故ならば、今日の社會的貧乏の原因は、既に見たるが如く、全く生産機關即ち生産資料の私有に基くものであつて、而して今日の社會主義の狙ふ所は(無政府主義は別)この生産資料の共有に在るのであつて、消費資料に在るのではないのである。尤も、社會主義も終には消費資料までも共有にすべき時代が來るであらうことを豫言はして居るのであるが、それは遠き未來に就てのことであつて、社會主義の先づ問題とするのは、生産機關の共有のみである。されば、それが若し眞に司法當局の説明の通りのものだとすれば、吾人はこの法文制定の眞意を解するに苦しむものである。それは殆ど敵なき所に機關銃を据付けるものに非ずして何であるか。何を爲たうとするのであるか。

然れども、まことに「誰か烏の雌雄を知らんや。」司法當局は、以上のごとく云つた口の下から直に、次のごとく云つて居るのである。曰く「然し、その認定に就ては、裁判官、檢事等官に信頼するの外はないから、此點に就ては、一般には主義者と云はれる者が、不利の地位に置かれるかも知れない。」と。即ち、間違つて打つかも知れぬが、それは仕方がないと云ふのだ。かうあればもう「立憲政治」ではなくて「專制政治」なのである。元よりこの治法制定の眞意は此處に在るに非ずと誰か保し得る。議會に於ける內相及び小川法相の說明の矛盾を見よ。遺憾なくこの間のカラクリを物語つて居るものではないか。正に日本支配階級は日本無産階級を欺し擊ちにしようとするのである。長期に亙つて干殺しにしようとするのである。

噫、日本無産階級は、[illegible]なる[illegible]
まことに世は[illegible]として[illegible]き感がする。(完)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

端書回答

先に「普選」及び「治法」が愈々議會に上呈されると知るや、本社は各方面に左の如き問ひ合せ文を送つた。が、その時は未だ「不法手段に依る」なる文句を附加せる内務省案が上呈されるものと專ら傳へられて居る時であつて、諸氏の回答又大體これに依つたものである。然るに其時「治法」の形勢急轉直下して「不法手段に依る」なる文句は削除され、前よりは甚だしく惡化したものとなつた

問ひ合せ文

「普選」「治法」共に愈々議會に上呈されんとしてゐる。左記の場合無產階級運動は如何なる運動形態を採つて進む可きか。

(一)「普選」のみ通過せる場合。
(二)「普選」「治法」共に通過せる場合。
(三)「治法」のみ通過せる場合。

うまく利用すること

鈴木厚氏

「普選」の代償として「治法」が出るのだから一方が出て一方がひつこむ筈なし。「普選」が出れば必ず「治法」も出る。

「普選」で無產階級のたかぶれる情熱を低下させておいて、「治法」で左傾思想を抑へつけ、玆にブルヂョアデモクラシイが實施され黄金力がますます以て確固たるものとなされるのである。たいした期待も持てないが、これをうまく利用することは無產階級の決して損にはならない。

「進め」はフヤけずに行け

高畠素之氏

(一) 治法といふものは歴代内閣の懸案で、どのみちモノにしなければならなかつたものらしく、ただ如何なる機會に出すかが問題であつた。それが今度の普選上程を機會に、エビで鯛を釣らうといふわけ、世の中に損はかりはなく、心にもない讓歩や普選も、これでどうやら埋合せがつくと云ふものでせう。

(二) 然し治法も元はといへば主義者仲間のシベリア出稼ぎが主なる誘因であり、且つ主義者をして今日の如く墮落せしめた主一の原因も、此シベリア出稼ぎ商賣の唯物史觀にあるのだから、治法が成立して徹底的に此營業が堰へられるとすれば、これまた主義者にとつては幾分の救濟となるかも知れない。世の中に損はかりはなく、此意味に於て、治法もマンザラ惡い意味の鯉とばかりは云へないかも知れない。

(三) 治法は是が非でも成立させられるでせう。普選の通過も先づ確實でせう。普選が通じ、治法も通過して、そこへ出來る無產政黨なんてものが、嘸ぞ三日浸りの土左衛門のやうにフヤケ切つてしまふであらうといふ事も略想像がつく。「進め」は其邊の經過をよく洞察して、少しでもフヤケない方向に人心を善導すべきでせう。

妥協主義に戒心

布施辰治氏

(一) 今度の議會の二大問題と謂つて居る、「普選」と「治法」とが二つとも通過するとしたら、私は無產階級運動の政治行動は、之を肯定しても所謂議會主義に墮落する事の出來ない、其の妥協主義に戒愼しなければ爲らない事を痛感する。

(二) 普選のみが通過するとしたら、私は無產階級運動の政治行動が、壓倒的勝利に進展する事を歡喜すると同時に、一層の努力を期したい。

(三)「普選」が通過しないで「治法」のみが通過するとしたら無產階級運動の政治行動は、到底順當な愉快な階級鬪爭の進展を遂ることが出來ずに、陰險過激な階級鬪爭の場面に、幾多の犧牲を拂ふやうなことに爲るであらうと思ふ。

公正を旨とせよ

神戸正雄氏

(一) 公正を旨とし、階級利己の主張を適當に止めること。

(二) (三) 飽迄未通過法の通過のために努力を爲すこと。

變則數篇

小牧近江

勤儉週間

第二回の勤儉週間で神奈川縣下の各學校では競つてこれが勵行を署員に押賣り、さすがお役人柄だけあつて、早速その勵行報告を集めてゐるさうだが、中にこんなものがあつたさうだ「宴會を廢止」「一家族四人入浴のかはりに冷水摩擦をした」「三食の副食を食鹽ですました。」つひこの間の新聞だが、僕が床屋に行つてゐると、そこへこれも三食の副食を食鹽ですましてゐるさうな、青ざめた馬らしい村役場の雇員ていの男が來て「親方濟まないが、これを貼つておくんなせい」と、こそこそ一枚のビラをおいて去つた。

それから、そこに居合した者たちが、がやがや、今更ビラがなくとも勤儉貯蓄位は知つてゐるとかそんな無駄な費用こそ節約すべきだとか、やれ百姓のへそくり金をまきあげて、資本家につぎ込む算段ではないかとか、取りどり寄りどりの知識階級的？惡たいを吐いてゐたが、僕も君子らしく默つて

正義に訴へて剔抉すべし

小川未明氏

「普選」の通過するのは、當然の歸結で怪しむに足らないが、「治法」は、絶對に通過さすべきものではないと思ひます。「治法」は、特權階級擁護の鐵案であつて慘酷なる無產階級の束縛です。この二つを同時に出す、現內閣の矛盾は、正義に訴へて剔抉すべきです。「治法」通過以後の社會は恐らくロシアの帝政時代を思はしむるに至るでせう。

革命的經濟行動のみ

物部明氏

（一）此の場合は力を政治運動に注ぎ、政治運動に依り墮落しつゝある分子を、極力革命的分子に指導し、議會へ革命的分子を送り、先づ軍閥、官僚と闘ひ、然る上にブルジョアと闘ふべきである。

（二）此場合は幾多の犧牲者を出すと雖も革命的經濟行動のみを取るべきである。

（三）此場合は政治運動に重きを置かず、經濟運動に殆んど總ての力を注ぐべきであると思ふ。

陣容固めろ　日和見追出せ

環不朽氏

三度「過激法案」が「治安維持法案」なる改名の下に、議會に上程され、「恐嚇政治」が施行されようとしてゐる。「普選」の美味を必ずしも受けようとは思はない實際無產階級解放運動の戰線に起つ眞劍なる同志の重圍は此敵である。今日まで迫害と侮蔑を蒙らざる事が一つとしてあつたか。日露條約を締結させ乍ら今議會に於て「治法」の卽時通過を叫ぶ特權階級、橫暴なる「護憲內閣」に依つて施かるゝ「普選」又如何なる壓迫——手段を取らるゝか判つたものでは無い。社會法則の必然的眞理を抑壓するに、無產階級の解放を阻止するが如き「治案」を以てする暴擧は斷じて默許すべくもなく、「治案」破るべし、「苛法」破るべしだ。今身に喰入る痛手も微笑して受けねばならない深刻なる場面に置かれた。我等は眞に考ふべき時期だ。益々その陣容を固め戰線を擴大に、「治案」を以て走る「日和見」のヤカラは此際遠慮なく放逐し、眞面目な同志の參加を希望すると共に眞劍なる無產階級の解放運動はこれからである。

政治運動に問ふ

吉川守邦氏

（一）普選通過、此場合は目下の所、考へられんが其場合は世論政治運動に向ふべし

（二）普選、治法、共に通過、之亦目下の所考へられないが、而し其合も矢張り政治運動に向ふでせう。

（三）普選不通過、治法通過、ドウも遺憾ながら此場合が來そうです。而し此場合は亦更に政治運動に向ふでせう。治法が通過するなら寧ろ現在の方が增しだと思ふが、今迄普選がもし通過したやうに思つて安心してるのか、治法に反對の聲が實に少いやうです。ソレに今度は過激社會運動取締法案と云ふ長い耳障り名稱を優しく短く、治案維持法と改め、內容も主義者丈けを罰する樣に極狹くしたので、ウツカリ反對して主義者扱ひされてはと新聞も雜誌も、知らぬ顏所が報知新聞邊りでは最適法のやうに感心して書きますから輿論になりません。恐らく今度は通過しませう通過すればどうしても政治運動に、頰冠りで、面を匿して一勢に潜入するやうにならうと思はれます。尤も治法の適用如何に因つては、頰冠りが鉢卷きに變るやうに成りませう。

治法に掛らずにやる餘地あり

北玲吉氏

（一）なるべく「治法」にかゝらぬよう、立憲的運動をなすべし

（二）「治法」にかゝらぬよう矢張り運動の餘地ありと存ず。私有財產廢止等をいはず、大制限論を持出せは可ならん。又個人として無條件に外國より寄附を受くることは「治法の罰し得る所にあらず。

（三）正々堂々の運動をなすべし、特に農民中心の。

あせらぬことを專一祈求する

田川大吉郎氏

第一項、第二項は、共に想像の外、第三項の場合、無產階級者として、あせつては、いけない、私は、そのあせられないことを、專一に祈求する。雪を凌ぐの梅、風に屈せざるの竹、凌ぐことも時には必要で、屈せざることも亦必要、天地の化育と共に、その分を果すの心がけ、なら、あせらずに、徐ろに進むべしと思ふ。

もゐられず、「早い話し、月一ぺんの理髪を二ケ月一ぺんに節約されちや、差當り親方、めしの喰あげだね」と、いふかいはずに、さすが川柳子であるこの家の亭主「だから、わしのとこぢや、過去、現在、未來一切この種貼紙はせぬことにしてありまさ」

自殺

この間、ウヰンナで自殺が流行だといふ記事があつた。文學博士田中寛一氏の談によれば、日本人は諸外國人に比し、自殺數は第二位に多く、その第一位はデンマークの二六八人（人口百萬人につき）日本は一七五人の割だといふ。そして、日本では、大正七年から十一年までの五ケ年間に一年平均一萬七百十二人の割で自殺してゐるそうだ。中には貧困のため、失戀のため、またヒスのため、その他種々雜多な原因のために一生を棒にふつてる人たちが無暗にあるが、原因がどうであつても、また毎朝毎朝のことでもあるが、心から御氣の毒に堪へない次第である。

去る二月廿四日午後一時頃某署勤務の鈴木某の妻廿一歳が、まだうら若い身で夫君のお巡り中、六疊の間で猫イラズを嚥んで自殺したとあるので、さてはかの神奈川

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

お互の考へ樣

千葉[illegible]雄氏

(一) 普選が通過しないことが大體無いと思はれます。通過したなら普選による無産階級の政治運動の促進が當然でありませう。

(二) 治安維持法が通過せぬならそれでよいでせう。けれども通過しないだけで濟まして居る政府ではありませんから、どうせ手をかへ、品をかへ同じ樣なものが出るのでせう。それに對する態度はその時によります。又通過したとしたら、それに對して、どうするかといつても、それはお互の考へ樣と云ふ外は無いと思ひます。

力ー力ー

春月[illegible]正氏

「普選」と「治法」は實行上密接な關係があるでせうが、普選運動の可否の問題になると別に考へられます。無産者解放の運動は「力」の運動です。頭腦と頭腦の鬪ひ以上に力と力の鬪ひです。須らく議會に侵入さべしです。只「治法」はその適用範圍如何によつて、無産運動に對する無産者の豫定の態度以外の事態を齎すでせう。力ー力ー。

さうなればまた覺悟も出來る

佐野袈裟美氏

(一)「普選」の飴をなめさせられ、「治法」でうしろからなぐり倒されて腰を拔かされてしまつてはやり切れたものではない。口がうまいと思つていゝ氣になつてゐてはいけない。機會あることに「治法」反對の運動をするにある。

(二) 災はひなる哉。手も足も出ないことになる。さうなればまた覺悟もきまる。

(三)「普選」を利用して極力無産階級の政治運動を進めること

議會も有効に利用すべし

片[illegible]氏

普選は吾々プロ階級の一つの武器である。治法は、ブルの壓迫であるから、普選を通過さしたら、治法も通過さすだらう。而して其時の運動態度と云つた樣なものに就ては、今僕には斯うと云ふ定まつた考へはないが、兎に角、普選が施かれたら出來る限り議會も有効に利用すると云ふことも一つの方策ではあるまいか。

(二) 若し普選が通過せずに、治法のみ通過したとしたなら、其惡法の下に多くの犧牲者が出るでせうが、然し、そうなれは、こつちの運動、態度といつた樣なものが何分今茲で發表が出來ないでせう。

(三) 普選のみ通過して治法の通過せざる場合は餘り考へる必要がないと思ふ。

頗る結構だ
惡法革命促進

吉田只次氏

(一) そんなことはどうでもよい。

(二) 頗る結構、何故なれば、それによつて政治的野心家と、浮腰の連中が篩落されてしまつて、運動者が眞劍なものばかりになるのと、惡法は却て革命を促進する潜在力があるからだ。

(三) 浮腰の連中や野心家は萬歳を三唱するだらうが、眞劍なものは入營者に對する萬歳の聲を聞く樣な感じがするだらう。

實力養成が先決

北澤新次郎氏

三項の御質問に對しては要するに何れの場合におきましても無産階級の實際勢力の養成が必要で、それさへ充分に出來上れば無産階級の解放は期してまつ事が出來ると思ひます。

手段と目的とを取違へぬこと

山川亮氏

「普選」と「治法」の問題に就ては、それが通過しやうが、しまいが、無産階級運動の態度(決心と云ふ程の意味)には些かのゆるみもあつてはならないし、また、なるべき筈ではありませんが「態度」と云ふ意味を、運動の「方法」と云ふ意味に解するならば、(一)、(二)、(三)の場合夫々多少の相違はありませうが、結局の手段は、何時しか目的となつて終らない樣に、絶えず戒心してさへ行けば、間違ひはないのだと思ひます。甚だ月並作ら右迄。

我々の得意の時代來る!

服部芳家氏

(一) 普選ばかり通過したる時は、吾々は國家の政治上に向つて活動する外なし。

(二) 普選通過せず治法のみ通過したる時は吾々は只決死的行動を執るのみ。

(三) 普選も通過し治法も通過せる時が吾々が最も得意の時代に

縣下の食鹽巡査の妻女でないかと人ごとでなく氣にしたが、身元を調べて見たところ府下世田ケ谷邊の御人と判明した。原因は家庭不和からヒステリーが昂じたため。これで、食鹽問題にならずに濟んだが、節約勵行といへば三飯三鹽主義までして私有財産の不寢番をせねばならぬ巡査の家庭は哀れといへばあはれなものだ。三飯食鹽の結果自殺者でも出來たらそれこそヒステリー以上の人道問題だ。

化物と間違へられて

怖い怖いで氣が狂ひ、化物と間違へ母を慘殺した男がある。千葉縣香取郡[illegible]和村飯塚某の長男和と稱する當年廿五歳のあたら青年だが、同人の母、寺本ゆき([illegible]七)なる者を二月廿一日午後十一時頃自宅八疊の間に於て、あな怖ろしや頸部を眞つ二つに切斷し無慘の最後を遂げさせた。その後犯人は小見川分署に逮捕されたそうだが、原因は和は日頃から非常に臆病もので、先夜化者が出ると稱し、日本刀を懷いて寢てゐたが、同夜も何かに脅へ精神に異常を來し前記の所爲に及んだものらしいといふことだ。

守衞の一人に「どなたです」と誰何され、「司法大臣小川平吉」と向直りの幕切的大見得切つた「

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

して大活動の期至るものとす。

トテモ承知が出來ぬ

淺原健三氏

(一)普選は頂戴すべし、治法は御談園中すべし。その治法談園の武器として、早速普選が利用さるれば尚結構。
(二)トテモ承知が出來ぬ。
(三)第一條、第一項に準ず。

暫く逆戻りだ

山崎今朝彌氏

(一)天變地異のなき限り大概(一)と相場はきまつてゐる。治法は檢束法即決例程恐いものではないが、充分恐怖には役立つ。て少くとも一時は、右と左が益々左右に分解する。
(二)こゝ暫らくは逆戻りとある。
(三)今の形勢で進んで行く。

農民運動をやれ

室伏高信氏

(一)普選法成立を機會に大々的農民運動を起したし。

自力鍛錬第一

藤井眞澄氏

「普選」にしろ「治法」にしろ無産階級の解放には何程の効果も示すものでない。矢張り野心政治家や、ブローカーや賣名運動者のくいものに當分終るであらう。たとへ、何う云ふ惡法善法が布かれようとも、無産者各人が眞の利口さと眞の力を蓄つてゐない限り、それは問題ではない。自力の鍛錬が何よりも第一義だ。

多少爆破的な覺悟を要す

新居格氏

(一)普選を無産者の立場から巧みに利用する事、治法にたいしては効果あるなしに拘はらず反對運動を繼續の事
(二)經濟運動を中心に多少爆破的な覺悟を要す。
(三)これから萬事よし。無産大衆は政治的前進を具體化にすべし(少數運動の徒はこの限りに非ず。)

基本的政策に變りなし

前田河廣一郎氏

一、二、三、の場合、引くるめて無産階級社會運動の基本的タクテイツクスに些かも變動を來さずと認めます。それらは餘りに明かである。

民衆○○機關野心家驅逐せ

宮村江東氏

一、最も今日(二月十日)の政界の雲行では普選實施の交換條件の意味に於て、ロシヤを承認した事だから一緒に通過するだらう。普選を云ふ前に議會等に云ふものは、デモクラシー的思想が散漫した結果、一部の煽動する奴が輿論とか國論とか民衆をダシに喧しく言ふので丁度泣く赤ン坊にガラン〳〵玩具で僞まかすと同様に、民衆を△△する一ツの機關だ立憲政治もヘチマもあつたものでない。形式的なもの虚僞的なものが即ち議會だ。日本のみでなく萬國共通だ而し私は議會否定論者でなく民衆を△△の意味に於ける現在では必要論者だ。斯うした理由と觀念の下に最も有効に巧妙に行使すべしだ「治法」の方はその適法すべき範圍及び行使の程度(消極的?積極的?)に依つてゞあるが、兩方とも通過後に於ける空氣の如何でなければ決定等は出來ない。

二、普選が通過せなければ大抵上程せないと思ふが、赤化恐怖病に罹つてゐるから斷言は出來ない普選も實施せずして、そんな暴法を施行するなら必然、合法的運動から非合法的運動にならざるを得ないであらう。

三、普選が斷行される無産政黨が出來ると言ふ空氣が漂つて來たら、ブルジョア政治屋の仲間に入れなかつた!落伍者普選實施を豫想して無産階級にコビを呈しゐた政治的野心のある智識階級者!過去の激烈なる無産運動から卑怯下劣にも逃避した者!等が頻りに蠢動し始めた、そして再び社會主義だのプロレタリアだのと大きな顔して出て來たらんとしてゐる、こんな奴を思ふと全く不愉快でならない。過渡期だから政治的勢力を得る重大な時だから、と諦めて忍んで居らうふと思ふても、どうもムカ〳〵して仕方がない。彼等は警戒せぬと危險な奴だ、背負投げ喰らはされぬ様に、彼等に對する態度を決定する事が必要だ!其他海千山千で狡猾な奸智のブルジョア政治家と、純プロレタリアと議會に於いて選擧場に於いての、掛引等未だ〳〵普選後にも一苦勞だ

(二、一〇、稿)

テロリズム化す

山根津守氏

(一)普選、治法共に通過せば、デモ的運動と革命的運動とが全プロ階級の上に顯著に分れて來るから、片手に經典、片手に劍と云ふ「宰子よろこべ樫千死んだぞよ」式相、これも日頃からの臆病者でか每晩お化が出ると、若い奥さんあるに怒り性もなく治安維持法をすつぽりと擲き殺、內容的表現諷刺家岡本一平氏のいはゆる「一夜答辯」を發出した。そして、眞向上段にふりかざした迷刀は見事共產、無政府のまつ二つに割れた。それから私有財產、政體變革とはらはらに飛び散つた。が、肝心要目の法相一つの釋明に弱しむにやむにや、詳しい解釋は司法官にまかすそうだが上にこの迷相を謎く司法官だ。この化物法案を適用する前に、須らく全國司法官のメンタルテストから始めてもらひたい

メンタルテスト

小學校に通つてゐる弟。僕の學校に「メンタルベストごつこ」といふ新しい遊戲が流行つてゐるよ。と、その弟がいふ。

「でも不思議だね、兄さん、私有財產つて、そんなもの日本にあるのかいだつて、日本のもの何でもみんな天皇陛下のもんだらう。怪しいぞ日本の臣民が私有財產なんて。と悲しい哉、私有財產は土地・財產に限つたことでない。猫杓子もだ。

そこで、俺は、「それかい、お前たちのメンタルベストごつこて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

態度が、或はテロリズム化する。然して吾々プロのとる道は只テロにあるのみだ。

（二）、治法のみ通過せばブルのテロに對する、プロのテロあるのみ。

（三）純デモ、又はデモ的に緊ちめ挨緊禪する。

多少變化の必要あるのみ

神道久三氏

（一）（二）（三）、の場合ともに、吾々プロレタリアートが解放される其日迄は、無產階級の態度に、變化があるべきで無いと思ふ。只、戰術傾向分野には、夫々に應ずるだけの變化があらう。

生かして用ふることが肝要

奥むめお氏

普選が通過しましても民衆がよくこれを生かして用ふることが、何より肝要だと思ひます。殊に婦人の立場から一層痛切に、それを感じてゐる者です。治法の通過はとにかく、困つたことだと思ひますが、これも大衆の力が、あつて無きに等しいものに蹴飛ばすことを信じたいものです。

「思想團體」と治案維持法

ある意味で現在に存在してゐる『思想團體』を一つの組織ある實行機關であるとは言ひ難いかも知れぬ。だが嚴密に云へば、思想と行動とを離して考へられない如く勝利の時が來るまであらゆる壓迫を蒙るべき、吾々無產階級の行動が、合法的常に現在に於けるの範圍に、その表面上の運動を限定せねばならぬが故に、吾々は思想團體と名がつくものと雖も、眞の目的が、思想の實現即ち實行にあることを知らねばならぬ。

然して吾々が議會主義乃至日和見主義でないことは暫らく論外としても原則としての吾々の目的實現のためにあらゆる戰術を用ひることも亦當然である。

近來所謂思想團體なるもの〻勢力即ちその活動範圍が、著しく狹少となつたかの如く思はれて居るのは事實である。

しかしながら、思想團體がその最も力強き影響を社會運動全般に與へ、その威力を示すべき時も亦現在に於ける事實である。今回の治安維持法案に對する各思想團體の活動は明かにこれを實證するものである。この異常の秋に當つて平素あまり往來せざる各團體も・少くともその大部分が一個の目的に向つて集中し狂奔した。地震以來とり殘されたるかの感ある思想團體が、復活の第一歩として、鬱積したる熱火の如き憤滿を、行動化すべき時は來たのである。それは單なる思想運動ではない。蓄へたる、理智と經驗とを通じて、男々しき現實化への門出である。それはブルジョア自由主義の際にかくれたる現實化の傾向に對する一個の挑戰であらねばならぬ。而して共產主義の名を冒す日和見主義に對する鬪ひでもある。ボルセビズムの戰術として、ブルジョア、デモクラットを利用し、ルンペンプロを矢面に立たして漁夫の利を占むることも、い〻方法ではあらう。だが常に民衆の中にあるべきコンミニズムが、勞せずして利益のみを獲得することは不可能だ。山川均氏に云はせると、この法案に規定せられたことなどは一九一七年のロシアや一九一八年のドイツあたりこそ初めて問題になるが現在日本の無產階級運動に取つては全然問題にならぬ問題ださうである。だが現在の日本は斯かる法案の出現を見るほど、左様に無產階級にとつて切迫した狀態にある。

試みにこの法案が、單なる一部修正によつて公布された場合、本質的に不合理を持つ、共產主義乃至無政府主義が、如何なる立場に立つか原則として議會主義即ち合法運動の立場にある無產政黨なるものが、與へられたる普通選擧の骨抜きによつて・如何なる態度をとるであらうか敵と味方は明瞭である。この法案の提出は當局者が影坊師に向つて弓を引くものでもなく、現代政治家が無智のためでもない。彼等こそ最も明白に敵の存在を知るものである。

吾々は此際特に、階級鬪爭の必然を意識し且味はふべきときではないか、吾々にとつて問題は、全部か然らずんば無である。

（田代常二）

社會的正義

社會的正義と云ふ言葉はよく近頃用ひられる。然し、その概念は曖昧であるばかりでなく、その內容も各時代によつて變遷して來てゐる。正義と云ふ言葉の支那に於ける起原は詳らかでないが、英語のヂャステスの國語的意味は、他人（個々）の生命、財產、人格、權利を尊重し傷けないといふことだ。社會主義は、私有財產を認めないから、元來のヂャステスの意味には、そはない譯だ。だが眞の社會的正義は非搾取の無產階級の社會に於て概念も內容も決定される譯だ。

奴は〜・」

軍事教育

國防上の見地から、陸軍兵器本廠付軍用自動車調査委員陸軍少將山川良三氏が大道電氣局長を訪問し陸軍側の意向として、補助金及び獎勵金を下付するからフォードの代りに軍用自動車を使用してくれるやう懇願したとある。

それ見たことか。何處の國でもとうにあることだ。素人でも知つてゐる。ヨーロッパの圓太郎は私營、官營に拘はらず大抵、戰時に食糧を運搬する軍用自働車にあてはまつてゐる。だから、高さも、濶さも、入口もが肉をぶら下げても都合のい〻やうにちやんと設計が出來てゐる。日本の陸軍は今後何に使用する積りか知らないか、今ごろ露骨に軍用自働車とはなんだ。だから、とかく、軍人の頭は鳩一から云々される、加藤首相の程度に比較される。軍事研究にだつて、海軍は、うんともすんともいはせず、學生を艦上に丸め込むし、陸軍ではあの騷ぎだ。とかく陸軍のやり方は、おそくて露骨すぎる。だから、軍事教育なんかより差あたり、軍人教育が急務な所以だ。

「婦人の國」に參政權なく「キング」不敬ならず、題號禁止の「赤旗」の事實上の飛揚も近き將來だらう。（二月末）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無産政黨壓迫の法案

松下芳男

一

執念深き事蛇の如く、新興階級壓迫の具と目さるゝ所謂治安維持法案は、又々三度目の姿を現はして、我々に臨んでゐる。内閣は變る事正に五代、而も支配階級は常に同一なる事を思へは、此事實又敢て怪しむにも足りまい。

大正十一年春、時の高橋内閣は過激社會運動取締の名と稱する法案を議會に提出した時、輿論は憤然として之れが反對の烽火を擧げた。而もそれは言論の自由を奪ふものとし、各新聞社雜誌社が第一線に立つて奮鬪し、遂にそれは流産に終つたのであつた。越えて十二年、春の議會に、又々それが白晝の妖怪といはれて提出さるゝの氣振りがあつたが、流石に輿論に恐れてか、實現を見るに至らなかつた。

然るに十二年九月、關東の大震災起り、流言蜚語は風よりも疾く飛び、それが漸く天下の治安を亂すと見るや、山本内閣は流言浮説取締令乃至治安維持令と呼はるゝ勅令を發布して、急に對應したのである。併し之れは一時の法令にして、常用的ではない。而も政府は震災當時の幾多の緊急勅令を間もなく廢したにも拘はらず、此法令のみは廢さなかつた。火事場泥棒的に、新興階級の壓迫法令をウマ〳〵せしめたといはざるを得なかつたのである。

而して今三度、堂々法律として治安維持法を出さんとするものである。

二

私は新興階級壓迫の具と見て、以上三法を抽象して同一のものと云ふのであるが、其内容主旨は決して同一のものではないと思ふ。過激法案といへ、治安維持法といへ何れも當時の社會の或事象が、それが立案乃至發布を促したやうに今回の治安維持法亦同じく社會事象が、此事を促進せしめたといはねばならぬ。然らばそれは何であるか、私はやがて實施されんとする普選法に基き、必ずや大に擡頭すべき無産政黨の壓迫なりと信ずる。私は之れを以て大殺し的法案と呼ぶ。政府は無産階級に普選法と稱する飴を與へ、而もそれを喰はんとするや、その喰ひやうに依つては直に一撃を加ふべき大殺し器たる、此治安維持令を懷に持つからである。

三

發表されたる治安維持法案第一案は「國體を變革し又は不法の手段を以て憲法上の統治組織及び兵役、納税、私有財産の制度を變革する目的を以て結社を組織し又は其の情を知つて之に加入したるものは七年以下の懲役又は禁錮に處す」

といふのであつて、一見頗る明瞭であり、尤も至極である。以上を更に分解して見れは、

一、「國體を變革」する目的のものは絶對に不可である。

二、「憲法上の統治組織及び兵役納税、私有財産の制度を變革」する事を「不法の手段を以て」する目的はいけないといふのである。

（一）に就いては暫らく措く。

（二）に就いて見れは「憲法上の統治組織云々」を「不法の手段」なれは不可なるも「合法の手段」なれは可なりといふのである。

さて普選法實施の曉、擡頭すべき無産政黨は抑そも如何なる政治綱領を掲ぐるであらうかは、素より豫知すべからずと雖も、恐らくは、憲法上の統治組織及び兵役納税、私有財産制度に於いて、全部若しくは少くも一部に就いて變革を目的とすべきは、豫想に難からざる所である。そしてそれは「合法の手段」に據らんとすべきは云ふまでもない。當部より「不法の手段」に據らんとするが如き結社も、或はあるかも知れない。さりながら今日の社會運動の趨勢、勞働運動の傾向は、頗る現實的になり、議會中心主義になりつゝあるを見る時、我々は斯樣な結社がよしんば出來たにしても、それは極めて稀有の例外たるべきを確信するものである。

併しながら、物には勢ひといふもの、場合といふものがある。斯樣な合法的目的を有する團體と雖も、從來の如き當局の不斷の壓迫ある場合、勢ひの赴くがまゝに、時に不法の手段に出でざるとも限らない。即ち目的は「合法の手段」であつたが、結果に於いて「不法手段」になつたのである。此場合に、當局は恐らくは直に本法第一策を以て臨むであらう。そして此團體を「不法の手段」を目的とするものと斷ずるであらう。否、その豫想は少しく無理ならは、此兩目的の區別は、只裁判官に依つて如何樣にも認定さるゝところのものである。

されは本法は、新興階級の何れの團體にとつても、極めて危險多き陷穽なりといはねはならぬ。

四

次に考へねはならぬのは、「不合」といふことである。不法とは「合法」でない事であつて、意義頗る明瞭のやうなれども、考へねはならぬ多くのことがある。

不法は頗る廣い範圍であつて、大不法から小不法まである。（勝手な命名ではあるが意味は分らうと思ふ）其大不法は勿論云ふまでもないが、小不法に至つては、それと合法とは、僅か紙一枚の隔たりしかないものもある。殊に社會事象の進展は、昨は社會萬人が目して以て不法行爲となすと雖も、今は不法行爲には相違なきも、それは既に法律を以て認めねはならなくなつたものが、現はれて來るやうになる。勞働問題に於て、小作問題に於て、又借家借地問題に於て、其の他社會下端のものに於て、斯樣なる事象は決して少しとしないのである。それはやがて間もなく合法化するものである。

私は、といつても、合法化するに近い小不法を合法と認めないといふのではない。不法は何處までも不法であつて、紙一枚の差と雖も、默認することは法律の賊なるを信ずるものである。さりながら

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

斯様に内容を異にする不法を、本法の如き重刑を以て臨むといふは刑事政策上果して適當なるべきやを問はんとするものである。

五

次に第二條であるが、それには

「前條の目的を以て多數共合し其の事項の實行を協議したるものは云々」

とある。之れも前に述べた通りである。目的は合法的であつても多數集合して協議した時に、之も勢ひと場合との爲めに、不法の手段にまで口走らないとも限らない。之れを以て直に本法を適用するに至つては、新興階級の團體は總崩れであらう。否、初めから之れを目的として、本法を制定したと見ても、恐らく辯解の辭はあるまいと思ふ。

而も第六條には何とあるか。

「本法に規定する犯人にして未だ官に發見せられざる以前に自首し出でたるものに對しては其の刑を輕減又は免除することある可し」

とある。是れスパイ奨勵であり、スパイの爲の逃し道である。恐るべき陥穽であると云はねばならない。

六

或は當局は云ふかも知れぬ「立法の主旨は云々であるから、それ以上の心配も懸念もない」と。然れども、其立法の主旨なるものが必ずしも地方官憲又は司法官に徹底するものではない、又其解釋も要するに現はれたる明文にある以上、時としては故意に、ある種の解釋を以て臨まれないとは限らない。否、我々は不幸にして、從來むしろ下級官憲の間に、此種の解釋適用の不當多きを豫想する多くの理由を有するのである。

加之、結局に於ては無罪になるにしても、未決のまゝで、有罪同樣の收監に處せらるゝ憂ひ期してしないのである。勞働運動や社會運動に在つては、有罪無罪といふ形式的のものよりも、實際に收監さるゝといふ事、(それが重要の地位にある鬪士指導者の場合は殊にそうである)が、如何に運動の成果に影響するかはいふまでもあるまいと思ふ。

七

我々は現行法令の夥多なるに、實は滿腹してゐるものである。これ以上の屋上更に屋を架するやうな法律の必要は、毫末も認めないものである。

或者は、大急ぎて日比谷電車交叉點を越えんとしたら、浮浪罪に問はれてゐる。家あり、仕事ある大急ぎのものが浮浪である。

又或者は、寢込を襲はれて、自殺の惧れありとして、引致された眠りから醒めるか醒めないものが夢て見た恐ろしい自殺を、早くも警官の官能に覺られて、自殺の惧れありとされたのである！

これほどの周倒なる法律、これほどの敏感の警官を有するものに治安維持法は抑々何の必要ぞ。是れ現行法律と警官とを多分侮辱するものでなくて何であらうか！

我々は、何れより見るも有害無用なる治安維持法案を、一日も早く昨日の夢として、一蹴し去らん事を切望するものである。

けれども私は最後に附記せねばならぬのは、我々は治安維持法を一蹴して、其罰せらるべかりしものを行はんとするといふやうなべラボウの大それた考へでは毛頭ない。我々は國民の福祉を希ふの情切に、安んぞ安寧秩序の紊亂を喜はんやである。然も此法案反對の理由は、本法は立法の主旨を却て反對に、社會民心に不安險惡なる何ものかを醸すべき事を信じて疑はないからである。

私は、眞に社會を愛ふるものと共に此反對の聲を合せたいと希ふものである。

註、松下氏の本文も又、先に上呈されると報導された「不法手段に依る」なる條文に依られたものであることを附記して置く

(編輯子)

◇淋しきまゝに

つじやまよしを

三越の五階の
窓より首を出し
唾吐きて見し、この夏のこと。

×

ばくだんの二ツもあらはと
赫き炭を眺めツ
想ふ心はさびし。

×

ゴルキイの
歌高らかに
赤坂の夜の霧ふみて
街にかへれり。

×

終日をよた話のみに
すごす男―
彼にもやはり惱みあるらん。

×

新開地のガードの上の
樹の下に
日の暮るゝまで物を思へり。

×

「變りなく無事で
暮らして居ますか。」と
今日も短き母よりの音信。

×

去年の秋
松江で友のかの家に
あまた集ひし日の深く記憶る。—

×

啄木の歌集擴けて
しみじみと
我れの淋しき此頃を思ふ。

×

よく喰らひ
よく働けとことごとに
父は云ひたり、今はおはさず。

×

宍道湖の入り日なつかし
赫か赫かと
秋風さびし城山に照る。

×

十月の蒼空澄き
日の午後を
宍道湖の水にたはむる男かな。

×

かなしきは
かの墓よな、墓石くづれ
夜ふけて寂く蒼白く寢る。

(進め社内)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大庭

片山

トロツキー

大庭君を——殺したものは誰か

山崎今朝彌

「大庭君を殺した者は誰か」廿一日であつたか、二十二日であつたか少々頭の具合が惡いので風を引いた事にして夜早く八時頃から寢てゐると、何時頃であつたか「東京日日」より「今、大庭柯公氏がロシヤで殺されたといふ電報があつたが事實だらうか」といふ電話があつた安眠して頭を取返そうといふ計畫がフイになつて其の夜はとう〳〵昂奮して眠れなんだ。出發の際見送つたは僕一人であつたこと、大庭君が何となく淋しそうに見えた事、遺言めいた傳言があつた事など順々と思ひ出されたどうせロシヤ電報であらうとは思つても、一度言つて置きたい〳〵と思ひながら、今暫らく〳〵だとつい躊躇してコンナ事がある迄言はなんで口惜しかつた事が僕を極度に昂奮させた。

僕はエライ人でもなし、干からびた人間でもないから、知らないレーニンが二度や三度殺されても　ヨツフエが一人や二人殺されても、ビクともしないが、知つてゐる堺君が刺されたの大庭君が殺されたのときけば、ショックもする、腹も立つ大庭君が軍事探偵であり、怪しい人間であると思ふなら格別だが、若しさうでないと信じてゐるなら、モツト早く何とか方法があつたと思ふ、ロシア人はエライに相違あるまいが、日本人だつて家來はかりぢやない。何もロシア人の鼻息を伺ふ必要がないとしたら、久しく牢屋に打込まれてゐる間に何んとか抗議救ひ出しの方法がなかつた筈がない、ロシアの飢民も、ルールの占領も大事件に相違ないから抗議も電報も救濟も示威運動も差支あるまいが、ナゼ同志だ、仲間だ、同盟だ、子がある、妻があるといふ大庭君の保證位が恐いだらう。抗議も保證も役立たぬといふなら、報復手段の方法はいくらもある、對等なる報復手段の採れない筈がない、片山君なら判らない、仕方がない筋が違ふて通らうが。

コンナ事が判らない譯がないのに、コンナ事になつたのは、蓋し大庭君を怪しいと思つたからではない、ドウにも仕様がなかつたのでもない、少しも考へ及はないんだからでもない、先方には全く頭が上らなかつたからでもない、全く同情も人情もなかつたからでもない、僕はどうしてもコレハ、味方ではないものは、之を敵と視る秘法の罪であると思ふ。其味方を極狹くして、敵を餘りに識らない恐はがつた戰法であると思ふ。要するに仲間喧嘩のせいであると思ふ、春秋の筆はイザ知らず。夏冬の論法を以てしても、大庭君を殺した者は誰であらうか。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本の資本主義の前途

佐野袈裟美

一

現實の社會の經濟の事情及び政治の事情の變化して行くにつれ、無產階級の解放運動の戰術もまた變えて行かねはならない。だから吾々は常に現實をみつめてゐなければならないのである。そして現實の動きにつれて、それに適應した方策を立て、以て進化の最大可能性を發揮せしめるやうな途を選んで進むことを心掛けてゐなければならないのである。敵を打ち破らうとするならは、敵の陣營がどんな狀態にあるかを常に偵察し、それによつてこちらの戰術を絕えず立直して行かなければならないことは當然のことであるが、無產階級の運動に於ても、また資本主義の陣營がどんな狀態にあるか、更にどんな狀態にならうとしてゐるかを絕えず觀察し、深い知識を得ておく必要があり、そしてそれにつれて吾々のとるべき途をはつきりと計畫立てゝ行くことを怠つてはならないのである。

しからば吾々はオポチユニスト(日和見主義者)になれといふのであるか。さうではない。オポチユニストは浮草のやうなものである。風に吹かれてどちらへでもふは〳〵と動かされて行くのである。彼等には目的もなく、また彼等は自分の進むべき途も知らない。現實に徒らに迎合するものであつて彼等は現實の奴隷となつて甘んじてゐるものに外ならない。吾々と彼等とは關はるところがない。吾〳〵は現實を征服して行く爲めに、現實の事情に適應した方策を立てようとするのである。吾々の到達すべき目的を、吾々はいつもはつきりと彼方に見つめてゐる。吾〳〵はそれへ到達する爲めに、最も近い可能な道を辿らうとしてゐるのである。目的ばかり見つめてゐても、それが不可能な空想的な手段を夢見てゐるのであつてはならない。日本のこれ迄の革命家には、可なり空想的な飛躍に心をけ傾てゐたものが多かつたやうである。だが現實の事實は嚴然として吾々の前に立つてゐる。吾々はこれを征服して進むより外なゝ。されば吾々はオポチユニストもしりぞけると共に、空想的な革命家をもしりぞけるのである。

二

さて吾々は現實の事實に吾々の目を注ぐことにしよう。吾々の目はくもらされてはならない。常に透徹した光をもつて、現實の動きを的確に把持することを努めなくてはならない

日本の資本主義は短年月の間に長足の進步をとげた。しかし今日では最早資本主義のはたすべき使命は殆ど終つてゐるやうに思はれる。恐らく日本の資本主義は歐洲戰爭の後をうけた大正七八年頃から九年の前半期頃が、その繁榮の絕頂を示すものであらう。再びあの當時のやうな好景氣の來ることはなからう。日本には最早資本主義的に發展すべき條件があらゆる點から見てなくなつて來てゐる。たゞこれからはいつ迄この資本主義が持續されるかといふ點に吾々の興味はかゝつてゐるのである。

しからば日本の資本主義はどんな風に行き詰つて來てゐるのであるか。近來對外貿易に於て、ずつと輸入超過をつゞけて來てゐる。それで今日のところ輸出貿易を發展せしめる方策が殆と立たない有樣である。米國に對する生糸の輸出を發展せしめ得る望みの全然ないことは前月號にもちよつと述べておいたっ支那に於ける日英米の經濟戰は、目下主として工業と通商の二方面で猛烈に行はれてゐるのであるが、日本は英米の資本主義に對して果して勝つ見込があるであらうか。なる程工業に於ては今のところ勝目であるやうに見えるたとへは紡績業に於て、支那に工場を設けてゐる日本の會社が十五あつて、そのつむ數百十三萬五千個で、大正十三年に支那全國のつむ數が三百四十七萬個であるからざつと三分の一を占めてゐるわけである。其外製糸、製革、製紙、製油などの工場も、日本の資本主義の支配のもとに建てられ てある。

然し貿易に於てだん〳〵英米に壓倒されやうとしてゐる。英米の大資本のもとに支那で生產出來ない精工品を生產し、大がゝりな販賣方法で食ひ入らうとしてゐるのであるから、日本は結局押しのけられてしまふことになるであらう支那粗工品の發達は日本對支の貿易の近來だん〳〵振はなくなつて行く原因であつて、日本は精工品をもつと新なる販路を求めなくてはならない破目になつてゐるのであるが、その精工品は英米と到底競爭し得る見込がないのである。

三

日露國交が開けて、貿易が行はれるやうになるところから、日本の資本主義の爲めに新なる發展の活路が開けるやうに思つてゐる人もあるやうであるが、しかし私の見るところでは、これが日本の資本主義に甚だ有利であつて、その生命を長からしめることにならうとは思はれない。寧ろより多く日本の無產階級の運動の上にその影響が及んで來ることにならう。

いづれを見遁しても日本の資本主義は今日以上に發展すべき可能を探し出すことが出來ない。一體資本主義的に繁榮するには、その國に豐富な鐵と石炭と石油との資源がなくてはならない。これ迄資本主義的に非常なる發展を示した

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

國は、イギリスにしても、ドイツにしても、アメリカにしても鐵と石炭を豐富に持つてゐた。そして今日では石油が更に重大な役目をするやうになつた。

日本には鐵と石炭がすくなく、更に石油は一層すくない。アメリカの資本主義と日本の資本主義とは到底競爭することの出來ない狀態にある。今少しく比較を試みて見よう。鐵は今日日本で一年に二百萬噸ほど產出されてゐる。然しこれはかりでは到底日本の鐵の需要に應ぜられない。昨年などは二億圓以上鐵を輸入してゐる。岩手縣の久慈灣附近に砂鐵の鑛地があつて十五億噸からの埋藏量があるやうに新聞で報ぜられたが、精鍊の方法もまだ十分ではないらしいから、果してどの位產出することが出來るやうになるか疑問である。

然るに米國では一九二三年に四千三百萬噸を產出し、實に世界總產額六千八百萬噸の六割三分を占めてゐるやうな有樣で、日本はその二十分の一にも當らないのである。石炭にしても米國は一九二三年に六億四千萬噸を產し、實に世界石炭の總產額十億九千五百萬噸の五割五分に當る。然るに日本では年產額三千萬噸弱で、やはり米國の二十分の一にも當らなく、しかも日本の石炭は今後五十年もすれば掘りつくされることになつてゐる。之に反し米國の石炭の埋藏量は三兆八千三百八十六億餘噸と推算され、人後二千年の命脈は十分にたもち得るといふ。

石油に於ても米國は非常に豐富で、世界の總產額年に十億一千百萬バーレルに對し、米國は七億三千五百萬バーレルを產してゐる。然るに日本の年產額は百七十萬バーレルで米國の四百三十分の一にも當らない。そして日本の一年の消費量は四百萬バーレルであるから、產額の二倍半に當る。しかも日本の石油產額は年々減少するばかりである。今度北樺太には油田の利權を得たにしても、日本の消費を十分に補ふことが出來るものではない。

四

かく鐵、石炭、石油について米國と比較し來るとき、米國は十分にまだ資本主義的に發展し得る條件を備へてゐるのであるが、日本には最早それがないといふことになる。資本主義的な國際競爭に於て到底日本は米國に勝てるものではない。支那に於ける鐵道その他の利權の獲得に於て今のところ日英米佛等聯合に協調を保つてゐるやうであるが、しかしそれはいつ破れるとも分らない。各國の資本主義の發展し行く必然の結果、利害の衝突が國際戰爭を生むことにならう。このまゝ資本主義的經濟が進んで行く限り、必ずや支那を舞臺にして、第二の世界戰爭が現出するであらう。

日本はその時どうなるか豫測するに難くない。薄弱な日本の資本主義は、强大な殆んど無限の底力を有するアメリカの資本主義に結局打ち毀されることになるであらう。さうなれば日本の資本主義は崩壞の危機に面することになるのは明かである。

たとひ國際戰爭が起らないにしても、日本の資本主義は既に行き詰りかけてゐるのであるから、その組織のもとでは民衆の生活を保障し得ない時期が來るに違ひない。年々七十萬人から人口が增加し、今日でも三百萬石以上外國から米を輸入しなければならず昨年の如く米の產額がすくない時は、今年は四百萬石以上輸入しなければならないことになつてゐるが、四十年後は一億人に日本の人口が增加するとすれば、四千萬石以上も外國から米を輸入しなければならないことになるであらうが、そんなことは到底不可能なことである。

いづれにしても今日のまゝの經濟組織は、さう長くは保ち得ない必然の運命が其處に横たはつてゐるものと見なくてはならない。豫言するといふことはむづかしいことである。然し私の見るところでは、こゝ二三十年の間に經濟組織に大なる變革がもたらされなければならない切迫した事情がだんだん濃厚になつて行きつゝあるやうに思はれる。日本の資本主義は既にその大部分の役目を果してしまつてゐると見ても差し支へないであらう。日本の資本主義の前途も大凡見極めがついた。

五

かく見來るとき、日本の無產階級の使命は重い。新しい經濟組織を建設すべき任務をもつてゐる日本の無產階級は今から準備をとゝのへておく必要がある。日本の無產階級はその歩みを可なり急速にしなければならない時機がさう遠くないうちに來るであらう。その用意が出來て居るか。またその時機に投ずる決心が出來て居る。うつかりしてはゐられない。それに日本の無產階級は國際的に特別な地位におかれて居る。日本の無產階級の政治力が進展するにつれロシアと固い握手をするやうにしなくてはならない。今はブルジョアの政府がロシアと國交を結んだとして、それは要するに商品の販路を求め、利權を得んとする慾心からに外ならない。狼と羊の握手だ。眞の握手ではない。たゞ日本の無產階級のみ眞の握手をすることが出來る。

そして支那を搾取することを止め、これともしつかりと握手を結ぶ必要がある。それは何の爲めか印度及支那を搾取してゐるイギリスの資本主義、支那其の他を搾取しようとしてゐるアメリカの資本主義を亞細亞から驅逐してしまはなくてはならないからだ。

アメリカの資本主義は最後まで殘るであらう。然しアメリカの資本主義が儼然として存在する限りやはり世界は救はれない。いづれにしてもアメリカの資本主義は强敵である。（完）

アマカスゾ

さあ、「社會主義者を、殺せ、殺せ！」こんな宜い商賣は無えぞ、三人も殺してさ、それも女子供までも、裸かにして古井戸の中に投げてさ、それで「疊付」の座敷に坐つて「午前午後運動して」、「佛書をひもどき」、僅か二年位ひで出て來て——それから有田ドラックから二萬圓、參謀本部から一萬圓貰つてか——喃う、宜い商賣じやねえか。今日此頃は俺達無產階級は碌に飯も食はない不景氣だ。こんな世の中に居るよりは、一層のこと社會主義者でも殺して監獄に行つた方が宜いぞ。喃う、兄弟！

（放浪プロ）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

コンミユニズムは常に大衆の中に

新藤進

（一）

現今、各勞働組合の會合や其他の會合で、今後吾々の執る可き運動方針は、量か質かと云ふ事が大分やかましい問題となつて提供された。

或る人は、勞働組合の擴大のために質を失つても量を獲得せねばならぬと主張し、又或者は、量を失つても戰鬪的乃至は指導的質の運動に成功せねばならぬと反對の意見を表明した。しかし、この量か質かと云ふ問題は吾々にはすでに原則として定まつた問題がある少くとも、コンミユニストには、動かすことの出來ない原則として見做されてある問題である。即ちコンミユニズムは、常に大衆の中にのみ存在するのである。同様に吾々プロレタリア運動の指導原理は、コンミユニズムの中にのみ存在するのである。

量か質かの問題は、コンミユニストには、共通の問題で不可分の問題である。量でないコンミユニズム存在し得ないと同様に質でないコンミユニズムは存在し得ない。同一の理由からして、量だけを、或は質だけを運動の主動的指導精神に置くと云ふ運動は、存在し得ない。少くとも、原則的には存在し得ない譯である。

（二）

原則的には、斯く簡單な明瞭な事柄であるが實際に適用される場合には可成りの困難が控へてゐるやうに思はれる。或は、又、非常な誤解や見當違ひが付き纏ふてゐるやうである。さきに提供した量か質かのやうな論爭も、多分この見當違ひの有力なものに相違ない。

では、一體具體的な、事柄に突き當つて、どう云ふ態度方針を執つたらよいであらうか。

例へは、こゝに議會主張のプロレタリア政黨がある。又組合主義者萬能、乃至は、勞資協調の勞働組合が存在するとする。しかも、これ等の運動は、現に大衆が要求しつゝある程度の運動だとする。この場合、コンミユニストの執る可き態度は、議會主義の運動の中にあつて、これ等の運動を議會主張の運動、勞資協調の運動に止まらしめず歷史的必然の××××××××に轉換せしめるために努力すべきである。

同様に、自由主義の運動に對しても、自由主義運動が現に大衆運動であるとしたならば、コンミユニストは自由主義運動の中に立ち働いて、自由主義の運動を、運動に轉化せしめるのである。こゝで注意すべきは、簡單に轉化と云つたがこの意味は、分解作用を起さしめて或部分を、或は又主動的勢力を全部轉化せしめる場合も、包含しての謂ひである。

斯くて、コンミユニズムは常に大衆の中に存在するのである。

（三）

しかし、常に大衆の中に存在すると云ふ所以は、逆に大衆的運動は常に總て、コンミユニズムの運動であると云ふことを意味しない。

例へは、現在プロレタリアの改良主義的運動が大衆運動として擡頭して來た事實に鑑みて、改良主義運動こそ、コンミユニズムの運動だと斷じたならば、それは、最早日和見主義者の典型的なものに墮したものである。このことは同様に議會主義運動に對しても謂ひ得る言葉である。

日和見主義の常套語は、個々の事柄についても經濟的乃至は社會的條件の成熟に從つて行動するのである。從つて彼等に云はしむれば、議會主義運動が起きるには、それだけの必然的經濟的乃至は社會的條件が成熟したからである。されはこの必然の潮流に從つて、議會主義の運動に全力を傾注するのが當然であるとなすのである。

しかして、彼等は巧に、センチカリズムから、ボルセヴイズムへ、ボルセヴイズムからパーリアメンタリズムへ其他等々と、渡り歩くことに浮き身をやつすのである。

コンミユニズムの運動は、議會主義乃至は改良主義其の他の運動の中にあつて、それ等の運動を、歷史的使命の運動化することに活動することは少しも原則に反しないが、議會主義乃至は改良主義的運動を、大衆が現在要求しつゝあるからと云つて、それ等の運動を謳歌することは、コンミユニズムの原則に反するものである。

コンミユニズムの運動は斷じて日和見主義、オポチユニストの運動ではあり得ない。

同様に、コンミユニズムは大衆から孤立しては存在し得ない。更に現在の目標として云へは、むしろ無定見な、或は保守的な大衆に迎合し追從することでも又は××を絶叫して敢て大衆から孤立することを名譽とする小兒病的運動でもない。現在の無組織、無定見、保守的な大衆の運動の中に立ち働いて、組織的、進歩的、必然的××的な運動に誘導する運動こそコンミユニズムの運動である。

治法と奇怪な口實

◆「今日治安維持法案など出す具體的必要があるのか」と云ふ議會に於ける代議士の質問に對して、政府はきつと「秘密結社」なるものを開いて、日本に於ける一部の社會主義者の諸君がロシアからその運動費乃至生活費を仰いで居る事實を示し、「これこの通り」とある。

◆如何にも日本社會主義者の一部の諸君即ち「日本共產黨」と自稱する諸君が、ロシア運動費乃至生活費を仰いで居た乃至居ると云ふ事は、今では日本無產階級的解放運動界公然の事實であらう。いづれどうせ時日の經過は、我々一般日本無產階級者にも、この特殊社會主義者階級諸君の雲の上のやんごとなきカラクリをはつきり知らして與れることだらう。

◆がそれにしても「それだら治安維持法案を出す必要があるんだ」と云ふ政府の口實は奇怪極まる。ロシアから金を貰つて居る社會主義者は、日本社會主義者全體から見る時は極めて少數だ。所謂「日本共產黨」の黨員諸君は五十餘名とも噂され、或は百五十餘名とも

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

先づ大衆教化の實際手段を研究せよ

渡邊信義

社會主義の運動、無産階級を解放する運動が、無産大衆の理解と支持なくして爲し得るものでないのは論ずる迄もない。社會主義の理論が如何に歴史的必然の進化の上に基礎を置いて科學的に完全な精到な理論であつたにしても、それがただ謂ふ所の主義者間のものである限り、それは架空的價値を有するものに過ぎない。

それならば、現在日本の無産大衆は、社會主義に對してどれ程の理解を持つてゐるであらうか。現狀を考へるならば、悲しい情ない事だが、吾々は彼等が社會主義を理解してゐないと云ふ事を告白しなければならない。

それを最も痛々しく見せつけられたのが、あの一昨年九月一日に起つた關東震災當時だ。あの時、單なる社會主義者なる嫌疑の下に加へた慘虐極はまる一般大衆の行爲が、それだ。また昨年大阪市電の罷業に際して、所謂「公共の爲め」にその名目によつて罷業を妨害した市民の行爲が、それだ。それはブルの手先になつてゐる一部の反動主義に過ぎないと云ふも、實際は大衆が社會主義の運動を理解してゐないと云ふ事を物語る有力な證據の外何ものでもない。

吾々田舎に生活してゐる者にとつては、殊にこの感が深い。實際農村大衆の現狀を見ると胸を悶まらされる。昔から永い間虐げられ通しの酬ひられぬ生活は、拔く事が出來ないほど迄に、彼等の心を何とも云へない嫌なものにしてゐる。估息因循、窮屈、私有慾の權化のやうにしてゐる。自分等の生活を虐げてゐる者の何なるかを知つたにしても、長い者には卷かれろと、事なかれ主義をとつてゐる。そしてそればかりではない、反動主義者の尻馬に乘る事が多い。

吾々の當面してゐる大衆はかくの如きである。吾々はこの解らぬ無自覺の大衆をして社會主義を理解せしめ、味方としなければならぬ。これらの大衆を考へることなくして、ただ概念の大衆をもつてところで進められるものでもなければ、況して革命運動を起さうとしたからとて決して出來るものではない。よし一時特異な何かの機會到達によつて、それをなしえたにしても、その結果は知れてゐる。ロシア革命後の狀態がよくそれを語つてゐるやうに思ふ。

吾々は、概念によつて大衆を考へる事なく、この現實の大衆をしつかり見定め、そして吾々の運動の歩武を近めなければならぬ。大衆教化の聲は喧しい。しかし吾々の問題は、その大衆教化を自覺し叫ぶ事ではなくして、この解らぬ無自覺の大衆を如何にしたら社會主義を理解させ、味方に引き入れるかゞ問題である。大衆教化の實際有効手段が問題だ。それを研究し、實行するかの問題が焦點だ。

この意味からして、本誌に限らず、主義雜誌にもつともつと宣傳記事の多きを欲する。吾々の雜誌が單に主義者間の機關誌であつてはならぬ。機關誌であると共に、未だ社會主義を理解しない者への雜誌でなければならぬ。現在見るところによると、この主義者間の機關誌であるやうに思はれてならない。

吾々は凡ゆる機會を捉へて、社會主義を理解せしめ徹底せしめなければならぬ。日本流の社會主義の聲もこの現在の解らぬ無自覺の大衆に喰ひ入り味方とするためのよりよき方法を見出さんとしてのそれである。だが、大衆の事情狀態によつて、右傾し媚びるやうな態度をもつて、やるのは絶對に禁物である。それは單に大衆を眞に味方に引入れないばかりでなく、何時かはそれ自身の運動を堕落させ汚してしまふばかりである。革命的社會主義を徹底さすべきのみである。

「社會革命は政治革命である」とは、プロレタリアが革命の時、權力を握り、ブルジョア國家組織の一切を掃蕩して、それ自身の社會組織を建設するその必然の經路を云ひ現はしたものである。(完)

うめくさ

社會と云ふ言葉の東洋語的起原は、昔支那で五穀豐穰を祈るため社前に會し飲食を共にし、耕作に關する意見の交換をしたことから初るさうだ。又、社は支那にしろ日本にしろ、土地を祀することから初つてゐると云ふ話しだが、此點はドイツのクルツール(文化)の母胎であるクルツスと相通づる所がある。ウメクサとしていおとりつぎまで(牧)

噂されるが、いづれにしろ日本の社會主義者が皆ロシアから金を貰つて居る譯じやない。こんな少數社會主義者の爲に、あんな暴虐極まる無産階級壓迫法案を出されては日本無産階級こそ宜い面の皮ではないか。

◆政府はこんなことしてそれで無産階級に濟むと思つて居るのか。噫日本無産階級は禍なる哉だ。

◆政府に對すると同時に所謂「共産黨」の諸君に對しても、此際一言なき能はない。我々も又嚴密な意味即ち「マルキシスト」の意味に於ては諸君と同じく「共産主義者」だ。がインタナショナルとは、外國から金を貰つて「私黨」に近きものを組み、笑止千萬にも最早政權を取つた積りで内心民衆に君臨するものぢやあるまい。

◆忘れもしまい、ロシアの飢饉の時だ。諸君はなんと云つた「飢たるロシアを救へ」その時は我々もあるなしの財布の底を叩いて心の底から涙ぐましい氣持で寄附した而も諸君はさう叫んだ袖の下から我々日本無産階級が貧しい財布を振つて醵金したその金の何倍乃至何十倍に當る金をそつとロシアから貰つて居たのだ。そしてその時ロシアの無産階級は食ふに食なくボルガの邊に飢死しつゝあつたのだ。(雲助)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

お互の考へ様

千葉亀雄氏

(一)普選が通過しないことが大體無いと思はれます。通過したなら普選による無産階級の政治運動の促進が當然でありませう。

(二)治安維持法が通過せぬならそれでよいでせう。けれども通過しないだけで濟まして居る政府ではありませんから、どうせ手をかへ、品をかへ同じ様なものが出るのでせう。それに對する態度はその時によります。又通過したとしたら、それに對して、どうするかといつても、それはお互の考へ様と云ふ外は無いと思ひます。

力ー力ー

春月止氏

「普選」と「治法」に實行上密接な關係があるでせうが、普選運動の可否の問題になると別に考へられます。無産者解放の運動は「力」の運動です。頭腦と頭腦の鬪ひ以上に力と力の鬪ひです。須らく議會に侵入すべしです。只「治法」はその適用範圍如何によつて、無産運動に對する無産者の豫定の態度以外の事態を齎すでせう。力ー力ー。

さうなればまた覺悟も出來る

佐野袈裟美氏

(一)「普選」の飴をなめさせられ、「治法」でうしろからなぐり倒されて腰を抜かされてしまつてはやり切れたものではない。口がうまいと思つていゝ氣になつてゐてはいけない。機會あることに「治法」反對の運動をするにある。

(二)災はひなる哉。手も足も出ないことになる。さうなればまた覺悟もきまる。

(三)「普選」を利用して極力無産階級の政治運動を進めること

議會も有効に利用すべし

片岡鐵兵氏

普選は吾々のプロ階級の一つの武器である。治法は、ブルの壓迫であるから、普選を通過さしたら、治法も通過さすだらう。而して其時の運動態度と云つた様なものに就ては、今僕には斯うと云ふ纏まつた考へはないが、兎に角、普選が施かれたら出來る限り議會も有効に利用すると云ふことも一つの方策ではあるまいか。

(二)若し普選が通過せずに、治法のみ通過したとしたなら、其惡法の下に多くの犠牲者が出るでせうが、然し、さうなれば、こつちの運動、態度といつた様なものが何分今茲で發表が出來ないでせう。

(三)普選のみ通過して治法の通過せざる場合は餘り考へる必要がないと思ふ。

頗る結構だ 惡法革命促進

吉田只次氏

(一)そんなことはどうでもよい。

(二)頗る結構、何故なれば、それによつて政治的野心家と、浮腰の連中が篩落されてしまつて、運動者が眞劍なものばかりになるのと、惡法は却て革命を促進する潜在力があるからだ。

(三)浮腰の連中や野心家は萬歳を三唱するだらうが、眞劍なものは入營者に對する萬歳の聲を聞く様な感じがするだらう。

實力養成が先決

北澤新次郎氏

三項の御質問に對しては要するに何れの場合におきましても無産階級の實際勢力の養成が必要で、それさへ充分に出來上れば無産階級の解放は期してまつ事が出來ると思ひます。

手段と目的とを取違へぬこと

山川亮氏

「普選」と「治法」の問題に就ては、それが通過しやうが、しまいが、無産階級運動の態度(決心と云ふ程の意味)には些かのゆるみもあつてはならないし、また、なるべき筈ではありませんが「態度」と云ふ意味を、運動の「方法」と云ふ意味に解するならば、(一)、(二)、(三)の場合夫々多少の相違はありませうが、結局の手段は、何時しか目的となつて終らない様に、絶えず戒心してさへ行けば、間違ひはないのだと思ひます。甚だ月並乍ら右迄。

我々の得意の時代來る!

服部芳象氏

(一)普選ばかり通過したる時は、吾々は國家の政治上に向つて活動する外なし。

(二)普選通過せず治法のみ通過したる時は吾々は只決死的行動を執るのみ。

(三)普選も通過し治法も通過せる時が吾々が最も得意の時代に

縣下の食堂巡査の妻女でないかと人ごとでなく氣にしたが、身元を調べて見たところ府下世田ケ谷邊の御人と判明した。原因は家庭不和からヒステリーが昂じたため。これで、食堂問題にならずに濟んだが、節約勵行といへば三飯三鹽主義までして私有財産の不寢番をせねばならぬ巡査の家庭は哀れといへばあはれなものだ。三飯食鹽の結果自殺者でも出來たらそれこそヒステリー以上の人道問題だ。

化物と間違へられて

怖い怖いで氣が狂ひ、化物と間違へ母を慘殺した男がある。千葉縣香取郡豐和村飯塚[illegible]の長男和と稱する當年廿五歳のあたら青年だが、同人の母、寺本ゆき([illegible]七)なる者を二月廿一日午後十一時頃自宅八疊の間に於て、あな怖ろしや頸部を眞つ二つに切斷し無慘の最後を遂げさせた。その後犯人は小見川分署に逮捕されたさうだが、原因は和は日頃から非常に臆病もので、夜化者が出ると稱し、日本刀を懐いて寢てゐたが、同夜も何かに脅へ精神に異常を來し前記の所爲に及んだものらしいといふことだ。

守衛の一人に「どなたです」と誰何され、「司法大臣小川平吉」と向直りの幕切的大見得切つた「

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

して大活動の期至るものとす。

トテモ承知が出來ぬ

淺原健三氏

(一)普選は頂戴すべし、治法は御遠慮申すべし。

その治法撤廢の武器として、早速普選が利用さるれば尙結構。

(二)トテモ承知が出來ぬ。

(三)第一條、第一項に準ず。

暫く逆戾りだ

山崎今朝彌氏

(一)天變地異のなき限り大概(一)と相場はきまつてゐる。治法は檢束法即決例程恐いものではないが、充分恐怖には役立つ。で少くとも一時は、右と左が益々左右に分解する。

(二)こゝ暫らくは逆戾りとある。

(三)今の形勢で進んで行く。

農民運動をやれ

室伏高信氏

(一)普選法成立を機會に大々的農民運動を起したし。

自力鍛錬第一

藤井眞澄氏

「普選」にしろ「治法」にしろ無產階級の解放には何程の効果も示すものでない。矢張り野心政治家や、ブローカーや賣名運動者のくいものに當分終るであらう。たとへ、何う云ふ惡法善法が布かれようとも、無產者各人が眞の利口さと眞の力を蓄つてゐない限り、それけ問題ではない。自力の鍛錬が何よりも第一義だ。

多少爆破的な覺悟を要す

新居格氏

(一)普選を無產者の立場から巧みに利用する事、治法にたいしては効果あるなしに拘はらず反對運動を繼續の事。

(二)經濟運動を中心に多少爆破的な覺悟を要す。

(三)これから萬事よし。無產大衆は政治的前進を具體化にすべし(少數運動の徒はこの限りに非ず。)

基本的政策に變りなし

前田河廣一郎氏

一、二、三、の場合、引くるめて無產階級社會運動の基本的タクテイツクスに些かも變動を來さずと認めます。それらは餘りに明かである。

民衆○○機關 野心家驅逐せ

宮村江東氏

一、最も今日(二月十日)の政界の雲行では普選實施の交換條件の意味に於て、ロシヤを承認した事だから一緒に通過するだらう。

普選を云ふ前に議會等に云ふものは、デモクラシー的思想が散漫した結果、一部の煽動する奴が輿論とか國論とか民衆をダシに喧しく言ふので丁度泣く赤ン坊にガラン〳〵玩具で騙まかすと同樣に、民衆を△△する一ツの機關だ立憲政治もヘチマもあつたものでない。形式的なもの欺瞞的なものが即ち議會だ。日本のみでなく露國共產だ而し私は議會否定論者でなく民衆を△△の意味に於ける現在では必要論者だ。斯うした理由と觀念の下に最も有効に巧妙に行使すべし。ただ「治法」の方はその適法すべき範圍及び行使の程度(消極的?積極的?)に依つてゞあるが、兩方とも通過後に於ける空氣の如何でなければ決定等は出來ない。

二、普選が通過せなければ大抵上程せないと思ふが、赤化恐怖病に罹つてゐるから斷言は出來ない普選も實施せずして、そんな暴法を施行するなら必然、合法的運動から非合法的運動にならざるを得ないであらう。

三、普選が斷行される無產政黨が出來ると言ふ空氣が漂つて來たら、ブルジョア政治屋の仲間に入れなかつた!落伍者普選實施を豫想して無產階級にコビを呈しゐた政治的野心のある智識階級者―過去の激烈なる無產運動から卑怯下劣にも逃避した者―等が頻りに蠢動し始めた、そして再び社會主義だのプロレタリアだのと大きな顏して出て來たらんとしてゐる、こんな輩思ふと全く不愉快でならない。過渡期だから、政治的勢力を得る雄大な時だから、と諦めて忍んで居らうと思ふても、どうもムカくして仕方がない。彼等は警戒せぬと危險な奴だ、背負投げ喰らはされぬ樣に、彼等に對する態度を決定する事が亦必要だ!其他海千山千で狡猾な奸智のブルジョア政治家と、純プロレタリアと議會に於いて選擧場に於いての、掛引等未だ〳〵普選後にも一苦勞だ

(二、一〇、稿)

テロリズム化す

山根津守氏

(一)普選、治法共に通過せばデモ的運動と革命的運動とが全プロ階級の上に顯著に分れて來るから、片手に經典、片手に劍と云ふ寧子よろこべ億千死んだぞよ」法相、これも日頃からの臆病者でか每晩お化が出ると、若い奧さんあるに懲り性もなく治安維持法をすつぼりと懷き寢、內容的表現諷刺家岡本一平氏のいはゆる「一夜漬答辯」を捻出した。そして、眞向上段にふりかざした迷刀は見事共產、無政府のまつ二つに割れた。それから私有財產、政治的變革とはらはらに飛び散つた。が、肝心要目の法相一つの解釋に苦しむにや、詳しい解釋は司法官にまかすそうだが上にこの迷相を戴く司法官だ。この化物法案を適用する前に、須らく全國司法官のメンタルテストから始めてもらひたい

メンタルテスト

小學校に通つてゐる弟。僕の學校に「メンタルベストごつこ」といふ新しい遊戲が流行つてゐるよ。と、その弟がいふ。

「でも不思議だね、兄さん、私有財產つて、そんなもの日本にあるのかいだつて、日本のもの何でもみんな天皇陛下のもんだらう。怪しいぞ日本の國民が私有財產なんて。と悲しい哉、私有財產は土地・財產に限つたことでない。猫杓子もだ。

そこで、俺は、「それかい、お前たちのメンタル・ベストごつこで

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

態度が、或はテロリズム化する。然して吾々プロのとる道は只テロにあるのみだ。

(二)、治法のみ通過せはブルのテロに對する、プロのテロあるのみ。

(三)純デモ・又はデモ的に墜ちぬ様緊縮する。

多少變化の必要あるのみ

神道久三氏

(一)(二)(三)、の場合ともに、吾々プロレタリアートが解放される其日迄は、無産階級の態度に、變化があるべきで無いと思ふ。只、戰術傾向分野には、夫々に應ずるだけの變化があらう。

生かして用ふることが肝要

奥むめお氏

普選が通過しましても民衆がよくこれを生かして用ふることが、何より肝要だと思ひます。殊に婦人の立場から一層痛切に、それを感じてゐる者です。治法の通過はとにかく、困つたことだと思ひますが、これも大衆の力が、あつて無きに等しいものに蹴飛ばすことを信じたいものです。

「思想團體」と治案維持法

ある意味で現在に存在してゐる「思想團體」を一つの組織ある實行團體であるとは言ひ離いかも知れぬ。だが嚴密に云へば、思想と行動とを離して考へられない如く勝利の時が來るまであらゆる壓迫を蒙るべき、吾々無産階級の行動が、合法的常に現在に於ける範圍に、その表面上の運動を限定せねばならぬが故に、吾々は思想團體と名がつくものと雖も、其の目的が、思想の實現即ち實行にあることを知らねばならぬ。

然して吾々が議會主義乃至日和見主義でないことは斷らく論外としても原則としての吾々の目的實現のためにあらゆる戰術を用ひることも亦當然である。

近來所謂思想團體なるものゝ勢力即ちその活動範圍が、著しく狹少となつたかの如く思はれて居るのは事實である。

しかしながら、思想團體がその最も力強き影響を社會運動全般に與へ、その威力を示すべき時も亦現在に於ける事實である。今回の治安維持法案に對する各思想團體の活動は明かにこれを實證するものである。この異常の秋に當つて平素あまり往來せざる各團體も、少くともその大部分が一個の目的に向つて集中し狂奔した。地震以來とり殘されたるかの感ある思想團體が、復活の第一步として、鬱積したる熱火の如き憤滿を、行動化すべき時は來たのである。それは單なる思想運動ではない。蓄へたる、理智と經驗とを通じて、男々しき現實化への門出である。それはブルジョア自由主義の傾向にかくれたる現實化の傾向に對する一個の挑戰であらねばならぬ。而して共産主義の名を冒す日和見主義に對する闘ひでもある。ボルセビズムの戰術として、ブルジョア、デモクラットを利用し、ルンペンプロを矢面に立たして漁夫の利を占むることも、いゝ方法ではあらう。だが常に民衆の中にあるべきコンミニズムが、勞せずして利益のみを獲得することは不可能だ。山川均氏に云はせると、この法案に規定せられたことなどは一九一七年のロシアや一九一八年のドイツあたりこそ初めて問題になるが現在日本の無産階級運動に取つては全然問題にならぬ問題ださうである。だが現在の日本は斯かる法案の出現を見るほど、左樣に無産階級にとつて切迫した狀態にある。

試みにこの法案が、單なる一部修正によつて公布された場合、本質的に不合理を持つ、共産主義乃至無政府主義が、如何なる立場に立つか原則として議會主義即ち合法運動の立場にある無産政黨なるものが、與へられたる普通選擧の骨抜きによつて、如何なる態度をとるであらうか敵と味方は明瞭である。この法案の提出は當局者が影坊師に向つて弓を引くものでもなく、現代政治家が無智のためでもない。彼等こそ最も明白に敵の存在を知るものである。

吾々は此際特に、階級鬪爭の必然を意識し且味はふべきときではないか、吾々にとつて問題は、全部か然らずんば無である。

(田代常二)

社會的正義

社會的正義と云ふ言葉はよく近頃用ひられる。然し、その概念は曖昧であるばかりでなく、その內容も各時代によつて變遷して來てゐる。正義と云ふ言葉の支那に於ける起原は詳らかでないが、英語のヂヤステスの國語的意味は、他人(個々)の生命、財産、人格、權利を尊重し傷けないといふことだで、社會主義は、私有財産を認めないから、元來のヂヤステスの意味には、そはない譯だ。だが眞の社會的正義は非搾取の無産階級の社會に於て概念も內容も決定される譯だ。

奴は…」

軍事教育

國防上の見地から、陸軍兵器本廠付軍用自動車調査委員陸軍少將山川良三氏が大道電氣局長を訪問し陸軍側の意向として、補助金及び奨勵金を下付するからフォードの代りに軍用自動車を使用してくれるやう懇願したとある。

それ見たことか。何處の國でもとうにあることだ。素人でも知つてゐる。ヨーロッパの[illegible]は私營・官營に拘はらず大抵・戰時に食糧を運搬する軍用自働車にあてはまつてゐる。だから、高さも、廣さも、入口もが肉をぶら下げても都合のいゝやうにちやんと設計が出來てゐる。日本の陸軍は今後何に使用するつもりか知らないか、今ごろ露骨に軍用自働車とはなんだ。だから、とかく、軍人の頭は鳩と一から云々される、加藤首相の程度に比較される。軍事研究にだつて、海軍は、うんともすんともいはせず、學生を艦上に丸め込むし、陸軍ではあの騷ぎだ。とかく陸軍のやり方は、おそくて露骨すぎる。だから、軍事教育なんかより差あたり、軍人教育が急務な所以だ。

「婦人の國」に參政權なく「キング」「不敬ならず、題號禁止の「赤旗」の事實上の飛揚も近き將來だらう。(二月末)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無產政黨壓迫の法案

松下芳男

一

執念深き事蛇の如く、新興階級壓迫の具と目さるゝ所謂治安維持法案は、又々三度目の姿を現はして、我々に臨んでゐる。内閣は變る事正に五代、而も支配階級は遂に同一なる事を思へは、此事實又敢て怪しむにも足りまい。

大正十一年春、時の高橋内閣は過激社會運動取締の爲と稱する法案を議會に提出した時、輿論は憤然として之れが反對の烽火を擧げた。而もそれは言論の自由を奪ふものとし、各新聞社雜誌社が第一線に立つて奮闘し、遂にそれは流產に終つたのであつた。越えて十二年、春の議會に、又々それが白晝の妖怪といはれて提出さるゝの氣振りがあつたが、流石に輿論に恐れてか、實現を見るに至らなかつた。

然るに十二年九月、關東の大震災起り、流言蜚語は風よりも疾く飛び、それが漸く天下の治安を亂すと見るや、山本内閣は流言浮說取締令乃至治安維持令と呼はるゝ勅令を發布して、急に對應したのである。併し之れは一時の注射劑にして、常用劑ではない。而も政府は震災當時の幾多の緊急勅令を間もなく廢したにも拘はらず、此法令のみは廢さなかつた。火事場泥棒的に、新興階級の壓迫法令をウマ／＼せしめたといはざるを得なかつたのである。

而して今三度、又々法律として治安維持法を出さんとするものである。

二

私は新興階級壓迫の具と見て、以上三法を抽象して同一のものと云ふのであるが、其内容主旨は決して同一のものではないと思ふ。過激法案といへ、治安維持法といへ何れも當時の社會の或事象が、それが立案乃至發布を促したやうに今回の治安維持法亦同じく社會事象が、此事を促進せしめたといはねばならぬ。然らばそれは何であるか、私はやがて實施されんとする普選法に基き、必ずや大に擡頭すべき無產政黨の壓迫なりと信ずる。私は之れを以て大殺し的法案と呼ぶ。政府は無產階級に普選法と稱する飴を與へ、而もそれを喰はんとするや、その喰ひやうに依つては直に一擊を加ふべき大殺しを構たる、此治安維持令を讓しに持つからである。

三

發表されたる治安維持法案第一案は「國體を變革し又は不法の手段を以て憲法上の統治組織及び兵役、納稅、私有財產の制度を變革する目的を以て結社を組織し又は其の情を知つて之に加入したるものは七年以下の懲役又は禁錮に處す」

といふのであつて、一見頗る明瞭であり、尤も至極である。以上を更に分解して見れは、

一、「國體を變革」する目的のものは絕對に不可である。

二、「憲法上の統治組織及び兵役納稅、私有財產の制度を變革」する事を「不法の手段を以て」する目的はいけないといふのである。

（一）に就いては暫らく措く。

（二）に就いて見れは「憲法上の統治組織云々」を「不法の手段」なれは不可なるも「合法の手段」なれは可なりといふのである。

さて普選法實施の曉、擡頭すべき無產政黨は抑そも如何なる政治綱領を揭ぐるであらうかは、素より豫知すべからずと雖も、恐らくは、憲法上の統治組織及び兵役納稅、私有財產制度に於いて、全部若しくは少くも一部に就いて變革を目的とすべきは、豫想に難からざる所である。そしてそれは「合法の手段」に據らんとすべきは云ふまでもない。當部より「不法の手段」に據らんとするが如き結社も、或はあるかも知れない。さりながら今日の社會運動の趨勢勞働運動の傾向は、頗る現實的になり、議會中心主義になりつゝあるを見る時、我々は斯様な結社が、よしんは出來たにしても、それは極めて稀有の例外たるべきを確信するものである。

併しながら、物には勢ひといふもの、場合といふものがある。斯様な合法的目的を有する團體と雖も、從來の如き當局の不斷の壓迫ある場合、勢ひの赴くがまゝに、時に不法の手段に出でざるとも限らない即ち目的は「合法の手段」であつたが、結果に於いて「不法手段」になつたのである。此場合に、當局は恐らくは直に本法第一策を以て臨むであらう。そして此團體を「不法の手段」を目的とするものと斷ずるであらう。否、その豫想は少しく無理ならば、此目的の區別は、只裁判官に依つて如何様にも認定さるゝところのものである。

されば本法は、新興階級の何れの團體にとつても、極めて危險多き陷穽なりといはねばならぬ。

四

次に考へねばならぬのは、「不合」といふことである。不法とは「合法でない事」であつて、意義頗る明瞭のやうなれども、考へねばならぬ多くのことがある。

不法は頗る廣い範圍であつて、大不法から小不法まである。（勝手な命名ではあるが意味は分らうと思ふ）其大不法は勿論云ふまでもないが、小不法に至つては、それと合法とは、僅か紙一枚の隔たりしかないものもある。殊に社會事象の進展は、昨は社會萬人が目して以て不法行爲となすと雖も、今は不法行爲には相違なきも、それは既に法律を以て認めねばならなくなつたものが、現はれて來るやうになる。勞働問題に於て、小作問題に於て、又借家借地問題に於て、其の他社會下端のものに於て、斯様なる事象は決して少しとしないのである。それはやがて間もなく合法化するものである。

私は、といつても、合法化するに近い小不法を合法と認めないといふのではない。不法は何處までも不法であつて、紙一枚の差と雖も、默認することは法律の賊なるを信ずるものである。さりながら

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

斷禁に內容を異にする不法を、本法の如き重刑を以て臨むといふは刑事政策上果して適當なるべきやを問けんとするものである。

五

次は第二條であるが、それには

「前條の目的を以て多數共合し其の事項の實行を協議したものは云々」

とある。之れも前に述べた通りである。目的は合法的であつても多數集合して協議した時に、之も勢ひと場合との爲めに、不法の手段にまで口走らないとも限らない。之れを以て直に本法を適用するに至つては、新興階級の團體は總崩れであらう。否、初めから之れを目的として、本法を制定したと見ても、恐らく辯解の辭はあるまいと思ふ。

而も第六條には何とあるか。

「本法に記載する犯人にして未だ官に發見せられざる以前に自首し出でたるものに對しては其の刑を輕減又は免除することある可し」

とある。是れスパイ賞揚であり、スパイの爲の逃し道である。恐るべき陷穽であると云はねばならない。

六

或は當局は云ふかも知れぬ「立法の主旨は云々であるから、それ以上の心配も懸念もない」と。然れども、其立法の主旨なるものが必ずしも地方官憲又は司法官に徹底するものではない、又其解釋も要するに現はれたる明文にある以上、時としては故意に、ある種の解釋を以て臨まれないとは限らない。否、我々は不幸にして、從來むしろ下級官憲の間に、此種の解釋適用の事實多きを豫想する多くの理由を有するのである。

加之、結局に於ては無罪になるにしても、未決のまゝで、有罪同樣の收監に處せらるゝ憂ひ期してしないのである。勞働運動や社會運動に在つては、有罪無罪といふ形式的のものよりも、實際に收監さるゝといふ事、(それが重要の地位にある闘士指導者の場合は殊にそうである)が、如何に運動の成果に影響するかはいふまでもあるまいと思ふ。

七

我々は現行法令の夥多なるに、實は滿腹してゐるものである。これ以上の屋上更に屋を架するやうな法律の必要は、毫末も認めないものである。

或者は、大急ぎて日比谷電車交叉點を越えんとしたら、浮浪罪に問はれてゐる。家あり、仕事ある大急ぎのものが浮浪である。

又或者は、寢込を襲はれて、引致された、自殺の惧れありとして、眠りから醒めるか醒めないものが夢で見た恐ろしい自殺を、早くも警官の官能に發見られて、自殺の惧れありとされたのである―

これほどの周倒なる法律、これほどの敏感の警官を有するものに治安維持法は抑々何の必要ぞ。是れ現行法律と警官とを多分侮辱するものでなくて何であらうか―

我々は、何れより見るも有害無用なる治安維持法案を、一日も早く昨日の夢として、一蹴し去らん事を切望するものである。

けれども私は最後に附記せねばならぬのは、我々は治安維持法を一蹴して、其罰せらるべかりしものを行はんとするといふやうなベラボウの大それた考へでは毛頭ない。我々は國民の福祉を希ふの情切に、安んぞ安寧秩序の紊亂を喜ばんやである。然も此法案反對の理由は、本法は立法の主旨を却て反對に、社會民心に不安險惡なる何ものかを醸すべき事を信じて疑はないからである。

私は、眞に社會を憂ふるものと共に此反對の聲を合せたいと希ふものである。

註、松下氏の本文も又、先に上程されると報導された「不法手段に依る」なる條文に依られたものであることを附記して置く（編輯子）

◇淋しきまゝに

つじやま・よしを

三越の五階の
窓より首を出し
唾吐きて見し、この夏のこと。

×

ばくだんの二ツもあらばと
赫き炭を眺めツ
想ふ心はさびし。

×

ゴルキイの
歌高らかに
赤坂の夜の霧ふみて
宿にかへれり。

×

終日をよた話のみに
すごす男―
彼にもやはり惱みあるらん。

×

新開地のガードの上の
樹の下に
日の暮るゝまで物を思へり。

×

「變りなく無事で
暮らして居ますか。」と
今日も短き母よりの音信。

×

去年の秋
松江で友のかの家に
あさた集ひし日の深く記憶る。―

×

啄木の歌集披けて
しみじみと
我れの淋しき此頃を想ふ。

×

よく喰らひ
よく働けとことごとに
父は云ひたり、今はおはさず。

×

宍道湖の入り日なつかし
赫か赫かと
秋風さびし城山に照る。

×

十月の薄空晴き
日の午後を
宍道湖の水にたはむる男かな。

×

かなしきは
かの[illegible]よな、墓石くづれ
夜ふけて[illegible]く[illegible]く寢る。

（進め社內）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

大庭

トロツキー

片山

大庭君を殺したものは誰か

山崎今朝彌

「大庭君を殺した者は誰か」廿一日であつたか、二十二日であつたか少々頭の具合が惡いので風を引いた事にして夜早く八時頃から寢てゐると、何時頃であつたか「東京日日」より「今、大庭柯公氏がロシヤで殺されたといふ電報があつたが事實だらうか」といふ電話があつた安眠して頭を取返そうといふ計畫がフイになつて其の夜はとう〱昂奮して眠れなんだ。出發の際見送つたは僕一人であつたこと、大庭君が何となく淋しそうに見えた事、遺言めいた俟言があつた事など順々と思ひ出されたどうせロシヤ電報であらうとは思つても、一度言つて置きたい〱と思ひながら、今暫らく暫らくだとつい遠慮してコンナ事がある迄言はなんで口惜しかつた事が僕を極度に昂奮させた。

僕はエライ人でもなし、干からびた人間でもないから、知らないレーニンが二度や三度殺されても　ヨツフエが一人や二人殺されても、ピクともしないが、知つてゐる堺君が刺されたの大庭君が殺されたのときけは、ショツクもする、腹も立つ大庭君が軍事探偵であり、怪しい人間であると思ふなら格別だが、若しさうでないと信じてゐるなら、モツト早く何とか方法があつたと思ふ、ロシア人はエライに相違あるまいが、日本人だつて家來はかりぢやない。何もロシア人の鼻息を伺ふ必要がないとしたら、久しく牢屋に打込まれてゐる間に何んとか抗議救ひ出しの方法がなかつた筈がない、ロシアの飢民も、ルールの占領も大事件に相違ないから抗議も電報も救済も示威運動も差支あるまいが、ナゼ同志だ、仲間だ、同盟だ、子がある、妻があるといふ大庭君の保證位が恐いだらう。抗議も保證も役立たぬといふなら、報復手段の方法はいくらもある、對等なる報復手段の採れない筈がない、片山君なら判らない、仕方がない筋が違ふで通らうが。

コンナ事が判らない譯がないのに、コンナ事になつたのは、蓋し大庭君を怪しいと思つたからではない、ドウにも仕様がなかつたのでもない、少しも考へ及はないんだからでもない、先方には全く頭が上らなかつたからでもない、全く同情も人情もなかつたからでもない、僕はどうしてもコレハ、味方ではないものは、之を敵と視る秘法の罪であると思ふ。其味方を極狹くして、敵を餘りに認らない恐はがつた戰法であると思ふ。要するに仲間喧嘩のせいであると思ふ、春秋の筆はイザ知らず。夏冬の論法を以てしても、大庭君を殺した者は誰であらうか。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本の資本主義の前途

佐野袈裟美

一

現實の社會の經濟の事情及び政治の事情の變化して行くにつれ、無產階級の解放運動の戰術もまた變えて行かねばならない。だから吾々は常に現實をみつめてゐなければならないのである。そして現實の動きにつれて、それに適應した方策を立て、以て進化の最大可能性を發揮せしめるやうな途を選んで進むことを心掛けてゐなければならないのである。敵を打ち破らうとするならば、敵の陣營がどんな狀態にあるかを常に偵察し、それによつてこちらの戰術を絕えず立直して行かなければならないことは當然のことであるが、無產階級の運動に於ても、また資本主義の陣營がどんな狀態にあるか、更にどんな狀態にならうとしてゐるかを絕えず觀察し、深い知識を得ておく必要があり、そしてそれにつれて吾々のとるべき途をはつきりと計畫立てゝ行くことを怠つてはならないのである。

しからば吾々はオポチユニスト（日和見主義者）になれといふのであるか。さうではない。オポチユニストは浮草のやうなものである風に吹かれてどちらへでもふは／＼と動かされて行くのである。彼等には目的もなく、また彼等は自分の進むべき途も知らない。現實に徒らに迎合するものであつて彼等は現實の奴隸となつて甘んじてゐるものに外ならない。吾々と彼等とは關はるところがない。吾々は現實を征服して行く爲めに、現實の事情に適應した方策を立てようとするのである。吾々の到達すべき目的を、吾々はいつもはつきりと彼方に見つめてゐる。吾々はそれへ到達する爲めに、最も近い可能な道を辿らうとしてゐるのである。目的はかり見つめてゐても、それが不可能な空想的な手段を夢見てゐるのであつてはならない。日本のこれ迄の革命家には、可なり空想的な飛躍に心をけ傾てゐたものが多かつたやうである。だが現實の事實は儼然として吾々の前に立つてゐる。吾々はこれを征服して進むより外なゝ。されはオポチユニストもしりぞけると共に、空想的な革命家をもしりぞけるのである。

二

さて吾々は現實の事實に吾々の目を注ぐことにしよう。吾々の目はくもらされてはならない。常に透徹した光をもつて、現實の動きを的確に把持することを努めなくてはならない

日本の資本主義は短年月の間に長足の進步をとげた。しかし今日では最早資本主義のはたすべき使命は殆ど終つてゐるやうに思はれる。恐らく日本の資本主義は歐洲戰爭の後をうけた大正七八年頃から九年の前半期頃が、その繁榮の絕頂を示すものであらう。再びあの當時のやうな好景氣の來ることはなからう。日本には最早資本主義的に發展すべき條件があらゆる點から見てなくなつて來てゐる。たゞこれからはいつ迄この資本主義が持續されるかといふ點に吾々の興味はかゝつてゐるのである。

しからば日本の資本主義はどんな風に行き詰つて來てゐるのであるか。近來對外貿易に於て、ずつと輸入超過をつゞけて來てゐる。それで今日のところ輸出貿易を發展せしめる方策が殆と立たない有樣である。米國に對する生糸の輸出を發展せしめ得る望みの全然ないことは前月號にもちよつと述べておいた。支那に於ける日英米の經濟戰は、目下主として工業と通商の二方面で猛烈に行はれてゐるのであるが、日本は英米の資本主義に對して果して勝つ見込があるであらうか。なる程工業に於ては今のところ勝目であるやうに見えるたとへは紡績業に於て、支那に工場を設けてゐる日本の會社が十五あつて、そのつむ數百十三萬五千個で、大正十三年に支那全國のつむ數が三百四十七萬個であるからざつと三分の一を占めてゐるわけである。其外製糸、製革、製紙、製油などの工場も、日本の資本主義の支配のもとに建てられ てある。

然し貿易に於てだん／＼英米に壓倒されやうとしてゐる。英米の大資本のもとに支那で生產出來ない精工品を生產し、大がゝりな販賣方法で食ひ入らうとしてゐるのであるから、日本は結局押しのけられてしまふことになるであらう支那粗工品の發達は日本對支の貿易の近來だん／＼振／＼はなくなつて行く原因であつて、日本は精工品をもつと新なる販路を求めなくてはならない破目になつてゐるのであるが、その精工品は英米と到底競爭し得る見込がないのである。

三

日露國交が開けて、貿易が行はれるやうになるところから、日本の資本主義の爲めに新なる發展の活路が開けるやうに思つてゐる人もあるやうであるが、しかし私の見るところでは、これが日本の資本主義に甚だ有利であつて、その生命を長からしめることにならうとは思はれない。寧ろより多く日本の無產階級の運動の上にその影響が及んで來ることにならう。

いづれを見渡しても日本の資本主義は今日以上に發展すべき可能を探し出すことが出來ない。一體資本主義的に繁榮するには、その國に豐富な鐵と石炭と石油との資源がなくてはならない。これ迄資本主義的に非常なる發展を示した

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

國は、イギリスにしても、ドイツにしても、アメリカにしても鐵と石炭を豐富に持つてゐた。そして今日では石油が更に重大な役目をするやうになつた。

日本には鐵と石炭がすくなく、更に石油は一層すくない。アメリカの資本主義と日本の資本主義とは到底競爭することの出來ない狀態にある。今少しく比較を試みて見よう。鐵は今日日本で一年に二百萬噸ほど産出されてゐる。然しこれはかりでは到底日本の鐵の需要に應ぜられない。昨年などは二倍以上鐵を輸入してゐる。岩手縣の久慈灣附近に砂鐵の鑛地があつて十五億噸からの埋藏量があるやうに新聞で報ぜられたが、精鍊の方法もまだ十分ではないらしいから、果してどの位産出することが出來るやうになるか疑問である。

然るに米國では一九二三年に四千三百萬噸を産出し、實に世界總産額六千八百萬噸の六割三分を占めてゐるやうな有樣で、日本はその二十分の一にも當らないのである。石炭にしても米國は一九二三年に六億四千萬噸を産し、實に世界石炭の總産額十億九千五百萬噸の五割五分に當る。然るに日本では年産額三千萬噸弱で、やはり米國の二十分の一にも當らなく、しかも日本の石炭は今後五十年もすれば掘りつくされることになつてゐる。之に反し米國の石炭の埋藏量は三兆八千三百八十六億餘噸と推量され、今後二千年の命脈は十分にたもち得るといふ。

石油に於ても米國は非常に豐富で、世界の總産額年に十億一千百萬バーレルに對し、米國は七億三千五百萬バーレルを産してゐる。然るに日本の年産額は百七十萬バーレルで米國の四百三十分の一にも當らない。そして日本の一年の消費量は四百萬バーレルであるから、産額の二倍半に當る。しかも日本の石油産額は年々減少するばかりである。今度北樺太には油田の利權を得たにしても、日本の消費を十分に補ふことが出來るものではない。

四

かく鐵、石炭、石油について米國と比較し來るとき、米國は十分にまだ資本主義的に發展し得る條件を備へてゐるのであるが、日本には最早それがないといふことになる。資本主義的な國際競爭に於て到底日本は米國に勝てるものではない。支那に於ける鐵道その他の利權の獲得に於て今のところ日英米佛等割合に協調を保つてゐるやうであるが、しかしそれはいつ破れるとも分らない。各國の資本主義の發展し行く必然の結果、利害の衝突が國際戰爭を生むことにならう。このまゝ資本主義的經濟戰が進んで行く限り、必ずや支那を舞臺にして、第二の世界戰爭が現出するであらう。

日本はその時どうなるか豫測するに難くない。薄弱な日本の資本主義は、強大な殆んど無限の底力を有するアメリカの資本主義に結局打ち毀されることになるであらう。さうなれは日本の資本主義は崩壞の危機に面することになるのは明かである。

たとひ國際戰爭が起らないにしても、日本の資本主義は既に行き詰りかけてゐるのであるから、その組織のもとでは民衆の生活を保障し得ない時期が來るに違ひない。年々七十萬人から人口が增加し、今日でも三百萬石以上外國から米を輸入しなければならず昨年の如く米の産額がすくない時は、今年は四百萬石以上輸入しなければならないことになつてゐるが、四十年後は一億人に日本の人口が增加するとすれば、四千萬石以上も外國から米を輸入しなければならないことになるであらうが、そんなことは到底不可能なことである。

いづれにしても今日のまゝの經濟組織は、さう長くは保ち得ない必然の運命が其處に横たはつてゐるものと見なくてはならない。豫言するといふことはむづかしいことである。然し私の見るところでは、こゝ二三十年の間に經濟組織に大なる變革がもたらされなければならない切迫した事情がだんだんと濃厚になつて行きつゝあるやうに思はれる。日本の資本主義は既にその大部分の役目を果してしまつてゐると見ても差し支へないであらう。日本の資本主義の前途も大凡見極めがついた。

五

かく見來るとき、日本の無産階級の使命は重い。新しい經濟組織を建設すべき任務をもつてゐる日本の無産階級は今から準備をとゝのへておく必要がある。日本の無産階級はその歩みを可なり急速にしなければならない時機がさう遠くないうちに來るであらう。その用意が出來て居るか。またその時機に投ずる決心が出來て居る。うつかりしてはゐられない。それに日本の無産階級は國際的に特別な地位におかれて居る。日本の無産階級の政治力が進展するにつれロシアと固い握手をするやうにしなくてはならない。今はブルジョアの政府がロシアと國交を結んだとして、それは要するに商品の販路を求め、利權を得んとする慾心からに外ならない。狼と羊の握手だ。眞の握手ではない。たゞ日本の無産階級のみ眞の握手をすることが出來る。

そして支那を搾取することを止め、これともしつかりと握手を結ぶ必要がある。それは何の爲めか印度及支那を搾取してゐるイギリスの資本主義、支那其の他を搾取しようとしてゐるアメリカの資本主義を亞細亞から驅逐してしまはなくてはならないからだ。

アメリカの資本主義は最後まで殘るであらう。然しアメリカの資本主義が儼然として存在する限りやはり世界は救はれない。いづれにしてもアメリカの資本主義は強敵である。（完）

アマカスゾ

さあ、「社會主義者を、殺せ、殺せ！こんな宜い商賣は無えぞ、三人も殺してさ、それも女子供までも、裸かにして古井戸の中に投げてさ、それで『疊付』の座敷に坐つて、『午前午後運動して』、『佛書をひもどき』、僅か二年位ひで出て來て——それから有田ドラックから二萬圓、參謀本部から一萬圓貰つてか——喃う、宜い商賣じやねえか。今日此頃は俺達無産階級は碌に飯も食はない不景氣だ。こんな世の中に居るよりは、一層のこと社會主義者でも殺して監獄に行つた方が宜いぞ。喃う、兄弟！

（放浪プロ）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

コンミユニズムは常に大衆の中に

新藤進

（一）

現今、各勞働組合の會合や其他の會合で、今後吾々の執る可き運動方針は、量か質かと云ふ事が大分やかましい問題となつて提供された。

或る人は、勞働組合の擴大のために質を失つても數を獲得せねばならぬと主張し、又或者は、量を失つても戰鬪的乃至は指導的質の運動に成功せねばならぬと反對の意見を表明した。しかし、この量か質かと云ふ問題は吾々にはすでに原則として定まつた問題がある。少くとも、コンミユニストには、動かすことの出來ない原則として提起されてある問題である。即ちコンミユニズムは、常に大衆の中にのみ存在するのである。同様に吾々プロレタリア運動の指導原理は、コンミユニズムの中にのみ存在するのである。

量か質かの問題は、コンミユニストには、共通の問題で不可分の問題である。量でないコンミユニズム存在し得ないと同様に質でないコンミユニズムは存在し得ない。同一の理由からして、量だけを、或は質だけを運動の主動的指導精神に置くと云ふ運動は、存在し得ない。少くとも、原則的には存在し得ない譯である。

（二）

原則的には、斯く簡單な明瞭な事柄であるが實際に適用される場合には可成りの困難が控へてゐるやうに思はれる。或は、又、非常な誤解や見當違ひが付き纏ふてゐるやうである。さきに提供した量か質かのやうな論爭も、多分この見當違ひの有力なものに相違ない。

では、一體具體的な、事柄に突き當つて、どう云ふ態度方針を執つたらよいであらうか。

例へば、こゝに議會主張のプロレタリア政黨がある。又組合主義者萬能、乃至は、勞資協調の勞働組合が存在するとする。しかも、これ等の運動は、現に大衆が要求しつゝある程度の運動だとする。この場合、コンミユニストの執る可き態度は、議會主義の運動の中にあつて、これ等の運動を議會主張の運動・勞資協調の運動に止まらしめず歴史的必然の××××××に轉換せしめるために努力すべきである。

同様に、自由主義の運動に對しても、自由主義運動が現に大衆運動であるとしたならば、コンミユニストは自由主義の運動の中に立ち働いて、自由主義の運動を、運動に轉化せしめるのである。こゝで注意すべきは、簡單に轉化と云つたがこの意味は、分解作用を起さしめて或部分を轉化せしめる場合も、或は又主動的勢力を全部轉化せしめる場合も、包含しての謂ひである。

斯くて、コンミユニズムは常に大衆の中に存在するのである。

（三）

しかし、常に大衆の中に存在すると云ふ所以は、逆に大衆的の運動は常に總て、コンミユニズムの運動であると云ふことを意味しない。

例へば、現在プロレタリアの改良主義的運動が大衆運動として擡頭して來た事實に鑑みて、改良主義運動こそ、コンミユニズムの運動だと斷じたならば、それは、最早日和見主義者の典型的なものに墮したものである。このことは同様に議會主義運動に對しても謂ひ得る言葉である。

日和見主義の常套語は、個々の事柄についても經濟的乃至は社會的條件の成熟に從つて行動するのである。從つて彼等に云はしむれば、議會主義運動が起きるには、それだけの必然的經濟的乃至は社會的條件が成熟したからである。されはこの必然の潮流に從つて、議會主義の運動に全力を傾注するのが當然であるとなすのである。しかして、彼等は巧に、センチカリズムから、ボルセヴイズムへ、ボルセヴイズムからパーリアメンタリズムへ其他等々と、渡り歩くことに浮き身をやつすのである。

コンミユニズムの運動は、議會主義乃至は改良主義其の他の運動の中にあつて、それ等の運動を、歴史的使命の運動化することに活動することは少しも原則に反しないが、議會主義乃至は改良主義的な運動を大衆が現在要求しつゝあるからと云つて、それ等の運動を謳歌することは、コンミユニズムの原則に反するものである。

コンミユニズムの運動は斷じて日和見主義、オポチユニストの運動ではあり得ない。

同様に、コンミユニズムは大衆から孤立しては存在し得ない。更に現在の目題として云へば、むしろ無定見な、或は保守的な大衆に迎合し追從することでも又は××を絶叫して敢て大衆から孤立することを名譽とする小兒病的運動でもない。現在の無組織、無定見、保守的な大衆の運動の中に立ち働いて、組織的、進歩的、必然的××的な運動に誘導する運動こそコンミユニズムの運動である。

治法と

奇怪な口實

◆「今日治安維持法案など出す具體的必要があるのか」と云ふ議會に於ける代議士の質問に對して、政府はきつと「秘密會」なるものを開いて、日本に於ける一部の社會主義者の諸君がロシアからその運動費乃至生活費を仰いで居る事實を示し、「これこの通り」とある。

◆如何にも日本社會主義者の一部の諸君即ち「日本共産黨」と自稱する諸君が、ロシア運動費乃至生活費を仰いで居たと云ふ事は、今では日本無產階級的解放運動界公然の事實であらう。いづれどうせ時日の經過は、我々一般日本無產階級者にも、この特權社會主義者階級諸君の頭の上のやんごとなきカラクリをはつきり知らして吳れることだらう。

◆がそれにしても「それだら治安維持法案を出す必要があるんだ」と云ふ政府の口實は奇怪極まる。ロシアから金を貰つて居る社會主義者は、日本社會主義者全體から見る時は極めて少數だ。所謂「日本共産黨」の黨員諸君は五十餘名とも噂され、或は百五十餘名とも

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

先づ大衆教化の實際手段を研究せよ

渡邊信義

社會主義の運動、無産階級を解放する運動が、無産大衆の理解と支持なくして爲し得るものでないのは論ずる迄もない。社會主義の理論が如何に歴史的必然の進化の上に基礎を置いて科學的に完全な精到な理論であつたにしても、それがただ謂ふ所の主義者間のものである限り、それは架空的價値を有するものに過ぎない。

それならば、現在日本の無産大衆は、社會主義に對してどれ程の理解を持つてゐるであらうか。現狀を考へるならば、悲しい情ない事だが、吾々は彼等が社會主義を理解してゐないと云ふ事を告白しなければならない。

それを最も鮮々しく見せつけられたのが、あの一昨年九月一日に起つた關東震災當時だ。あの時、單なる社會主義者なる嫌疑の下に加へた慘虐極はまる一般大衆の行爲が、それだ。また昨年大阪市電の罷業に際して、所謂「公共の爲め」にその名目によつて罷業を妨害した市民の行爲が、それだ。それはブルの手先になつてゐる一部の反動毛義に過ぎないと云ふも、實際は大衆が社會主義の運動を理解してゐないと云ふ事を物語る有力な證據の外何ものでもない。

吾々田舍に生活してゐる者にとつては、殊にこの感が深い。實際農村大衆の現狀を見ると胸を閉まされる。昔から永い間虐げられ通しの酬ひられぬ生活は、抜く事が出來ないほど迄に、彼等の心を何とも云へない嫌なものにしてゐる。估息因循、窮屈、私有慾の權化のやうにしてゐる。自分等の生活を虐げてゐる者の何なるかを知つたにしても、長い者には卷かれろと、事なかれ主義をとつてゐる。

そしてそればかりではない、反動主義者の尻馬に乘る事が多い。

吾々の當面してゐる大衆はかくの如きである。吾々はこの解らぬ無自覺の大衆をして社會主義を理解せしめ、味方としなければならぬ。これらの大衆を考へることなくして、ただ概念の大衆をもつて社會主義運動を進めようとしたところで進められるものでもなければ、況して革命運動を起さうとしたからとて決して出來るものではない。よし一時特異な何かの機會到達によつて、それをなしえたにしても、その結果は知れてゐる。ロシア革命後の狀態がよくそれを語つてゐるやうに思ふ。

吾々は、概念によつて大衆を考へる事なく、この現實の大衆をしつかり見定め、そして吾々の運動の步武を進めなければならぬ。大衆敎化の聲は喧しい。しかし吾々の問題は、その大衆敎化を自覺し叫ぶ事ではなくして、この解らぬ無自覺の大衆を如何にしたら社會主義を理解させ、味方に引き入れるかゞ問題である。大衆敎化の實際有效手段が問題だ。それを研究し、實行するかの問題が焦點だ。

この意味からして、本誌に限らず、主義雜誌にもつともつと宣傳記事の多きを欲する。吾々の雜誌が單に主義者間の機關誌であつてはならぬ。機關誌であると共に、未だ社會主義を理解しない者への雜誌でなければならぬ。現在見るところによると、この主義者間の機關誌であるやうに思はれてならない。

吾々は凡ゆる機會を捉へて、社會主義を理解せしめ徹底せしめなければならぬ。日本現在の社會主義の醒もこの現在の解らぬ無自覺の大衆に喰ひ入り味方とするためのよりよき方法を見出さんとしてのそれである。だが、大衆の事情狀態によつて、右傾し媚びるやうな態度をもつて、やるのは絕對に禁物である。それは單に大衆を眞に味方に引入れないばかりでなく、何時かはそれ自身の運動を墮落させ汚してしまふばかりである。革命的社會主義を徹底さすべきのみである。

「社會革命は政治革命である」とは、プロレタリアが革命の曉、權力を握り、ブルジョア國家組織の一切を掃蕩して、それ自身の社會組織を建設するその必然の經路を云ひ現はしたものである。(完)

うめくさ

社會と云ふ言葉の東洋語的起原は、昔支那で五穀豐穰を祈るため社前に會し飲食を共にし、耕作に關する意見の交換をしたことから初るさうだ。又、社は支那にしろ日本にしろ、土地を祇することから初つてゐると云ふ話しだが、此點はドイツのクルツール(文化)の母胎であるクルツスと相通づる所がある。ウメクサとしてヽおとりつぎまで(牧)

噂されるが、いづれにしろ日本の社會主義者が皆ロシアから金を貰つて居る譯じやない。こんな少數社會主義者の爲に、あんな暴虐極まる無産階級壓迫法案を出されては日本無産階級こそ宜い面の皮ではないか。

◆政府はこんなことしてそれで無産階級に濟むと思つて居るのか。噫日本無産階級は禍なる哉だ。

◆政府に對すると同時に所謂「共産黨」の諸君に對しても、此際一言なき能はない。我々も又戰術なる意味即ち「マルキスト」の意味に於ては諸君と同じく「共産主義者」だ。がインタナショナルとは、外國から金を貰つて「私黨」に近きものを組み、笑止千萬にも最早戰術を取つた積りで內心民衆に君臨するものぢやあるまい。

◆忘れもしまい、ロシアの飢饉の時だ。諸君はなんと云つた「飢たるロシアを救へ」その時は我々もあるなしの財布の底を叩いて心の底から涙ぐましい氣持で寄附した。而も諸君はさう叫んだ袖の下から我々日本無産階級が貧しい財布を振つて醵金したその金の何倍乃至何十倍に當る金をそつとロシアから貰つて居たのだ。そしてその時ロシアの無産階級は食ふに食なくボルガの邊に飢死しつゝあつたのだ。(雲助)

プロレツトカルトとは何か（一）

梅津四郎

プロレツト、カルトとは、之を直譯的に言へば、無產階級敎化――プロレタリアン、カルトユアの事である。此の無產階級敎化即ちプロレツト、カルトと言ふ事は、現在資本主義國で行はれて居る社會政策的――溫情的勞働者敎育と混同される恐れがある。眞のプロレツト、カルトは無產階級それ自身がそれ自身の爲めに行ふ敎化である點に於て根本的に異なつて居る。此の無產階級に對して有產階級の敎化を、ブルジョア、カルトと云ふ。今迄我々が此の資本主義制度のもとに受けて來た敎化には決して斯樣な二種の敎化は無かつた。今迄は皆ブルジョア、カルトであつた。つまり宗敎に於ても、美術に於ても總ての敎化は、ブルジョアの權力を擁護する爲め、そして無產階級を驅使する爲めに都合よい樣にする敎化、即ちブルジョア、カルトであつた。

勿論かゝる敎化は資本主義制度に至つて初まつたものでは無い。封建制度――奴隷制度のもとに於ては、やはり武士階級、大名階級一言にして云へば支配階級を支持し讃美する奴隷的敎化――大名敎化等の存在して居た事は勿論である。夫が故に袴に泥をはねられたと云つては農民共の首をポン〳〵やつて武士は其の行爲を至當なるものとし農民も至當なる行爲として別に現在考へる程の不平もなく矛盾とも思はなかつたのである。いづれの制度に於ても支配階級は被支配階級をして彼等を偶像崇拜的に敎化をほどこすものであるが此の支配階級と被支配階級の分野が擴大さるゝにつれて、其の制度下にある、支配階級敎化は、著しく根强く發達して來るのである。現在の資本主義制度が漸く其の根幹を設定し、社會が有產階級と無產階級との二大陣營に分れるに至つて、此の隷屬の爲めの敎化は、著しい進步をしたのである。併し無產階級が自己の階級的立場を正視する事が出來なかつた時代にブルジョア、カルトが發達して來た樣に、今や無產階級が自己の階級意識に自覺して來るにあたつてブルジョア、カルトに對して强固なプロテストとして又自己の階級の目標實現手段として新に擡頭して來た運動がプロレツト、カルトである。

現在の不合理なる經濟組織のもとに打建てられた社會を齎したブルジョア制度は素より咀ふ可きものである。咀ふ可き所の此のブルジョア制度を設定させ、肯定させたと言ふ事は何を措いても、ブルジョア、カルトの力であると言ふ事は否定出來ない。

そこで眞の人類の社會を設定せん爲めに、プロレタリアの爲めの敎化が如何に必要であるかと言ふ事は言を俟たない。

手段や過程はさて措いて眞の目標の實現の爲めには一切の禍根たるブルジョア、カルトと離れた文化に俟たなければならない。然しブルジョア文化が今日の盛大をなす傍ら、其の發達道程中に於て自ら微々ながらも、プロレツト、カルトを培ひつゝあつたことは皮肉にも亦必然である。

たとへればブルジョア、カルトによつて資本家階級の土臺を築く反面に於て無產階級は益々貧のどん底に踏み落されて、知らず〳〵に今日の經濟組織の不合理を知り階級意識に眼覺めて來たといふこ

資本主義斷末魔の巷に往來して

小林實

◆資本主義社會の行きつまれる必然の結果として最も悲慘極まりなき失業者が增加して來た。

都會は勿論、地方は村に至るまで失業者は溢れる如く、行路病者は將棋倒しの如く生活難から來たる幾多の犯罪悲劇が續發する。

かくたる事實は都會に於て最も露骨に現はれて來るものである。

◆今、市內各所の勞働紹介所や職業紹介所又は立ん坊の寄り場に行つて見る。「每日數知れぬ最も悲慘極はまりなき哀れな勞働者がやつて來る。」宿泊所に居る者は未だしも、寢る處もない此等の者は公園の藤棚下のベンチや、御堂の下に一夜一夜を明かすのであるが彼等の衣類はボロ〳〵で多くはかゞとの出た足袋で、餓鬼の樣に飢て此の寒さにちぢんでゐる。

そして夜の明けるのを待ちかねて仕事にありつくか、ありつかないかあてにもならない事をあてにして、紹介所や寄場に集まる。

娘一人に聟八人。アブレは常であるのだ。

◆パンの一きれは誰か與へてくれるであらう、仕事もなし、避護される處を見出す事も出來ず、笑ひと云ふものは少しもなく、無言の內に凡てに飢へたる彼等は幻滅と悲哀と失望を感じながらいつ何處へとなく消へ行くのである、

◆職業紹介所の紹介狀を手にせる者は每日々々足をたこのやうにして顏色蒼ざめて、ほゝの肉は削げ、狼の如く目はかりへこまして市內を彷徨する。

彼等には休息する處もなく、使つてくれる處もない。やがて日が暮れる頃、思ひついた樣に力なく叫ぶその聲は「あゝ又今日も駄目か」と云ふのである。

◆彼等は家にかへれば何も知らぬ子供も居やう、泣き叫ぶ小兒を抱き、歸り遲き夫の吉凶を氣ヅカふ妻子もゐやう。長き病床に苦しむ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

とである。雪にうづもれた戰線の冬眠は若草にとつては苦しいことであらう　然し此の苦しい冬眠あればこそ樂しい春のうらゝかなる日の初芽の喜びがあるのである。

マルクスが無產階級經濟學をとなへ得たのも、アダム、スミスの資本主義經濟學の不合理なる點があつたからである。

ブルヂョア文化が爛熟の域に達し、その爆壓が、極度の威を振ふときにあたつて、その文化とは徹底的に相反するプロレットカルトが頭を擡げて新に強固な存在を主張せんとするのは歷史的必然の使命を荷へるものであつて決して偶然のことではない。然しプロレットカルトの存在は、ブルジョア、カルトの中に培養されて、やがてその階級に對する挑戰にはじまり遂にはそのカルトに執つて代らんとする一個の大いなる潮流である。

止めんとして止め得べき性質のものでない。大河の水の休みなく流るゝが如きものであり、必然に生ずべき運命を擔ふてゐる敎化の大勢である。然しながら必然の大勢の實現過程の促進には、意識的にして亦組織的な幾多の努力を必要とすることは論をまたない。

プロレットカルトを實現するには假にこれを時代的に區別して見るならば、第一期第二期第三期と區別することを得る。

第一期――資本主義制度と鬪つて自家の礎を築く爲めの敎化。

第二期――プロレタリヤの執政時代に移つてからの敎化。

第三期――人類の眞の歷史が展開するに至つてからの敎化である。この敎化には前述した如く根本に於て社會政策的敎化といふものと同じでないといつてゐるが、現在に於て英國は社會文藝的敎化の色彩を帶び又英國の產業、敎育、宗敎方面から觀察するならばこの社會政策的カルトの色彩で進む可能性を有し、露國は革命的敎化で進むべき可能性を有し又將來もこれで進むべきが當然である。

そこで此の敎化も產業、敎育等の狀態により國情により適當なる手段方法を以てしなければ、かへつて有は無より劣ることにもなるのであつて第一期時代にこの第二期の敎化をほどこし、又は第二期の時期に於て第一期の敎化を續けて改めない樣なことをすればかへつて危險がともなふおそれがあるのである。

（未完）

中等學校生徒の思想調査

過般文部省では全國中等學校に亘つて、下の樣な課題の思想調査をやつて見たさうだが、山形縣師範學校三四年生八十二名の成績は次の如くだつたそうだ。

	正解者	不充分	白紙
自由平等	五二	二九	一
人類愛	六二	六	一三
軍國主義	五九	二〇	三
階級打破	七二	六	五
普選	七一	五	1
社會主義の種類	三八	一一	三三
小作爭議	六五	四	一三
勞働問題	五二	一二	一八
水平運動	四六	一二	二四
婦人問題	五九	二	二四
インターナショナリズム	一五	二五	四二
左傾	二六	五	三一
唯物史觀	一三	一〇	五九
剩餘價値	三	二	七七
ボルシエビズム	六	一	七五
機會均等	一四	一六	五二
戀愛至上主義	三五	二〇	二九

（編輯小僧）

親もありとすれば、その日は思ひ半ばに過ぎるではないか。

喰へない事實、働きたくも働けない事實の結果は行き倒れとなり自殺となり、幾多の悲劇犯罪となりて鐵の鎖りにつながるのである

◆斯くの如く資本主義制度の社會にあつては「生活の缺乏のどん底にうごめく幾多の人間と云ふ者」がこの市中、否、この社會に存在してゐると云ふ事を忘れてはならない。しかるに世の權力者、支配階級は自己の地位と財物を擁護せんがために將又、彼等が野心を充さんがために生產力を人と人との殺し合ひに要する道具の製造に應用し。

◆新しい戰爭への仕度をなしつゝあるではないか。如何にして多くの人間を殺戮すべきかと云ふ恐ろしい探求に日も足らざる有樣である。即ち機械力の完成は幾百萬の大衆を必然的に戰慄すべき死の前に當面せざるを得ないやうなそうした悲境に到達せしむるのである。

◆併しながら我々はいつもの戰爭によつて、「戰爭は資本家のためにする戰爭である」事を知つたのである。最早彼等のためにすることの恐ろしい宿命から逃れなければならないのである。

如何にしたならばこの貧乏人と失業者の居る社會飢餓と戰爭を絕滅せしむる事が出來るか。

それは最も徹底したる勞働力の組織化する事の一途あるのみである。

◆手段には文句はいらない。

フームそうだ、片つぱしから。

要はまづしきもの、しひたげられし者、それ自體の團結である。なまじ改良主義者や進步主義的政黨等の妥協的協同戰線は資本主義への後退を意味する故に、我等のとらざる處である。

◆併しながら常に根本的見地から判斷することは特に謹まなければならない事と思ふ。

◆生きてゐる、喰はねばならぬ、飢えてゐる、疲れ切つてゐる大衆の前にもえろが如き信念と潑溂たる生氣と突進の力を以て、すべてをけちらかし、無產者のため、しひたげられし者のために失業のない社會飢餓のない自由と平和な社會の建設のために最も根強く、我等は戰はなければならない。（完）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

端書回答

進め社に對する希望及批評

——創刊三週年を迎へて——

御苦心の程

前田河廣一郎氏

「進め」誌がドラマテイクな變遷をして今日に至つたことを考へると御苦心の程、御察し致します

あまり發禁喰はねやう

細野三千雄氏

「進め」も漸く三週年を迎へる由喜びに堪へません。過去の感想としては、內容と云ひ編輯ぶりと云ひ販賣方法と云ひ、ひたすら敬服してゐますが。どうも發賣禁止の頻々たる事に驚いてゐます。發賣禁止を、——從つて主義の宣傳を、——妨害する。其實勿論官憲にありと雖も、二年間の編輯の御經驗は當局の禁止の手心にも經驗を積まれた事と思ひますから發賣禁止にならぬ、賣れる雜誌を出して頂き度いと思ふ。

更に深く廣く

新居格氏

今後の希望としてますく大衆的になつておかれたし。理論を離れてもわかる樣に書いてくれる事はさる事ながら、政策的に事象を批判し實行への進めを更に深く、且つ廣くされたし。

摸倣的直譯的から日本的へ

藤井眞澄氏

摸倣的直譯的な運動から成るべく離れし實際の生きた日本民族の經濟問題の上に其運動を進めて貰ひたい。

終始一貫せよ

大川周明氏

如何なる場合にも「態度」に變化ある可からず。變化あるはただ運動の方法のみ。方法は則ち朝に夕を測らず。

宣傳雜誌として理想的

室伏高信氏

「進め」は宣傳雜誌として理想的なものだと思ひます。勞働團體其他の力によつてこの雜誌がもつとくひろまることを望みます。

先驅する「進め」

高島大圓氏

進めくと猪突猛進して無產階級のために先驅者としての犧牲を拂ひつゝめる「進め」の姿を力强く思ふ。

二月號位の處で

山崎今朝彌氏

この二年間の進めは正に終始一貫してレコード作りであつた。今後はこの二月號位の所で續けてもらひたい。

承知仕り候

淺原健三氏

さらでだに反動派のお見舞を再々辱ふする我○○○の「ドタマ」に革命のためのみ堅めらるべき筋骨を惜氣なく然も息吹きかけて「フリマワス」勇敢なる鬪士を將來同人として生產されんことを希望する。

どこ迄も啓蒙運動を主として

山川亮氏

從來もさうであつた如く「進め」はどこまでも啓蒙運動を主にして進んでもらひたいとおもひます。例へば二月號の石川氏の「現社會の黨派」と云ふ樣なものは地方の靑年にとつて大變にいゝ記事だとおもひます。そして姉妹雜誌「戰へ」も出たことですから「進め」の方はマルキシズムの理論を

横槍御免

○○につき石川氏に

小林純

○赤松克麿氏の演説中に「日本の資本主義と歐羅巴——英、佛——の資本主義のそれと大きな差異がある」事を説いたが、恐らく何人も否定する事が出來ぬだらう

○僕は靑二才で學説も理論もわからないが、此の演説から感じた事を語らして貰ふ事にする

○神聖政治から封建政治へ、封建政治から即ち資本主義へ進んで來たが歐洲特に英佛に於ては封建政治から資本主義に成る迄は、大きな戰が續けられた、貴族に對する平民の反逆、自由と平等と解放を旗印にした佛國大革命は封建政治に對する資本主義の代表的爭鬪であつた。流血の慘鬪に依つて得た其の當時の解放された社會、それは實に資本主義社會であつた

○然るに日本の資本主義は封建政治に對する何の反逆も無いばかりか却つて、領主——武士——と平民——ブルジョア——が妥協して初めて變態的資本主義を作つたのであつた。今尚政界に恐ろしい勢を示す軍閥を見ても成程と思はれる。切捨て御免の政治から彼等武士に幾分の讓歩をなさしむると共に、欲に拔け目の無い町人と巧みに妥協を進めて專制政治的資本主義國家を組織したのであつた

○本誌昨年十一月號に於ける石川準十郎氏の「議會か○○か」及び一月號の「內亂的傾向に鑑みて」に於てマルキシズムの立場が明らか

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

通俗的に解説し宣傳するものに主力を。「與へ」の方は主として日本現在の實際的な運動方法を相互に研究發表する機關として欲しいとおもひますそして兩々相俟つて無産階級のための運動の中心點とならんことを希望します。

當地に於ける「進め」の効果

服部芳象氏

文化の遲き當地方は社會問題には感覺全つて乏しかりしが貴社進め發行後漸次社會主義の意味を會得するやうになりたるは該雜誌發行の功果大なりと思料す。今後益々該雜誌の發展を希望す。

獨特の地位を開拓して行け

坂元氏

「進め」の創刊三週年を心から祝福します。斯うして無産階級解放の現はれが築かれて行くからです無智に病床等に横たはつて居て批評等出來る資格ありませんが、無産階級運動の宣傳雜誌として日本の現下の運動の一般の公報と最も平易な社會主義智識の解説本としての點に過去の特徴があり又將來も此點で獨特の地位を開拓されたいと思ひます。何卒安泰なる事も一つの力でありませう。他の社會主義諸雜誌が比較的高價で且つ難解の點の多いのに比して平明な書き方をとつてゐる事も改造原理の大衆化を目的とするのに最もふさはしいやりかたであると思ひます。社會主義名士の長論之よりも無名の闘士の短い報告や感想等をのせる事も其の意味で他の高踏的な雜誌に見ざる特色を形成するでせう

衷心から御多勞であつた

北澤新次郎氏

二年間に亙る貴誌の御奮闘に對して衷心から御多勞であつたと推察致します。斯うした雜誌の經營難は能く諒解して居ます。諸君の御加餐を祈ります。

北原君時代の事に就て一言

吉田只次氏

進めが僅か二ケ年の間に一萬有餘の讀者を有するに至つたのは、吾々の雜誌としては誰が何と云つても之を成功と云はない譯にはゆくまい。けれども誌の内容にはあまり感心しません。進め社は能く色々の問題を掲げて讀者の意見を徴せらるゝが、其の求めに應じて投稿に一大斧鉞を加へて全然反對な意見のものとして誌上に掲載されることがあるが、それなどは隨分失禮且つ卑怯な仕打ちだ。（北原君在社當時のこと）稲田君は僕と懇親な間柄だから進めには色々書かして貰いたいと思つたが、其の（北原の）大斧鉞を加へらることが怖はさに危さに近よらずと云ふ氣持になつて了つた。思ふにそんな憂目に逢つてるのは僕ばかりではあるまい。

過去の事は存じませんが、今の「進め」には左様なことは絶對にないと存じます（編輯同人）

民衆の武器たれ

姜大洪氏

「進め」は無産者に必要な智識を與へるには、思ふにブルジョアの大學より以上に存すると覺へました。彼大學は無産者の汗血を搾取する技術を、より高尚にやらうとするるめであると思ふのです。大學が幾らあつても、吾等には一字も敎へて呉れないが、「進め」は吾等に親しく、無識な民衆を解放するために必要な戰術をいくら與へてくれたか、今後の尙民衆の公器となつて下されば滿足です。

編輯に就ての苦言忠言

吉川守邦氏

善い方面の事は言ふに及ぶまい惡い方面の事を云ふ方が雜誌發展の上に參考になると思ふから、惡い方面を述べよう。何と云つても最初の號は實に善かつた。キビ〱して紙上に元氣が漲つて居た實に唯一の戰鬪雜誌だと思つた震災後、種々の事情も有らうが、少し落ちた様に思はれた。閥を騒ぎ出して更に落ちた様に思はれた閥も無いのに對閥を騒いでも、幽靈と喧嘩をする様な者で、手答へがなくて却て自分が疲れると云ふ形だらう。希望としては今後も矢張り、戰鬪雜誌として立つのは無論だが、此頃流行の春•秋•的•に、大の發論をドシ〱掲載して、紙上を面白くしたらどんなものだらう。無論石川君の様な人の研究的の物を初めに載せ、次に勞働運動、社會運動の狀勢を載せて、それから、無名の人々の議論でも面白い物、有益の物は遠慮なく、それから樂屋の内幕を面白く載せたらドンナものか。ドウも此頃疲れが著しく見える。妄言多謝。

マルキシズム旗幟鮮明が嬉しい

佐野袈裟美氏

「進め」がはつきりとマルキシズムの立場を取るやうになつたのをうれしく思ひます。

に説明されて居た。即ち云ふ「政權奪取の方法には「議會」に依る方法と「○○」に依る方法とあるが、その國が事情就中支配階級の態度に依つて決定さるゝべきものである隨つて英國の如く「平和的方法」に依る「政治革命」達成の可能性のある所ではその方法で行くべきである。露國の如きに於ては「○○」に依るのが當然であると

○石川氏の「議會か○○か」は不幸にして大部削除された爲よくわからなかつたが、石川氏の「平和的方法」に依る可能性を有する國家の程度に對しては僕と石川氏との間に大きな相違があるかも知れない「議會か○○か」より見て大體に於てほゞ同じだらうと思つた。

○先にも僕が話した通り日本資本主義と英佛とは非常な相違がある日本に最も似通つて居るのは○○だ唯○○は專制政治から「○○」に依つて一足飛びに○○に進み、日本は○○○○が○○○○○○○○○○○。石川氏專制國とは何んなものを云ふのか知れないが、氏は露國のボルシヴヱイキ的革命容赦の無い獨裁政治を否定しない、否此れが正當だと云ふ

○然るに二月號の「現社會の黨派の一節に「先つ無産政黨を組織してそれと結び付け云々」とあるそして「現在の事情の下には○○に依る行き方は全く目鼻の付け様が無い」とある

○此の「現在の事情」とは恐らく普選通過を意味するものであらうが「○○に依る行き方は目鼻の付け様が無い」と云はれると變な感じがする「目鼻の付け様が無い」とは「全く手の付け様が無い」と云ふ意味らしいが、ボルシヱヴイキ的革命に手の付け様が無い

○筈は無い或ひは現在の事情から見れば「平和的に行くのが可能だら

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

健鬪を祈る

春田　正氏

希望といつた所で別にありませんが、反對者（今の支配階級）に包圍せられてゐる、現社會に於て相變らず貴社の「健鬪」を祈ります。

何んと言つても福田君の努力

片桐　市藏氏

只さへ困難な事業である。而の みならず、壓迫亦壓迫の下に、而も内務にゴタ〳〵があつたにかゝはらず、屈せず奮鬪して、進めを今日の大にせられたと云ふことは誰が何と云つても福田君の努力の賜で、此間地方民衆を啓發せられた効績も實に深大である。内容や外觀は慾を言へば切りがないが時と場合で亦どうでもなるだらうから、今日のまゝで結構と思ふ。只希望としては、先輩同志が餘りに睨み合はずに相互協力して「進め」を益々大にして進め社を運動の中心になるようにして貰ひたい

赤旗の下に破亂曲折苦鬪

高木豐太郎氏

吾進め社は赤旗の下に波亂曲折苦鬪裡に來る三月號を以て三週年之紀念號を累ぬる機運に到達したと云ふ事は實は俺達全無産階級としては喜ばしく味はなければなりません。此の期間は實に戰鬪的であり、痛快亦痛快であつた。俺達の往く道は平々坦々たる無人の行路ではない。苦しい苦しい……最大難關な……血と涙とが築き上げたる牢獄の歯車の下の眠い血の雨のシタヽリへの運動か、又は大杉一家虐殺か平澤計七の様な殺の墓所への運動でなければなりません。年は替つて大正十四年の長閑な春三月と共に支配階級の刃は或は弱く或は強く矢の如くに無産階級の頭上に振りかざして來るでありませう。我等は、より辛い試練を苦鬪を續け、引づられて無産階級解放への黎明の幕を、開く事に努力いたしませう。茲に「進め」の創刊三週年を祝福します。

飽迄猪突猛突主義を望む

宮村　江東氏

「進め社」の過去及希望に就て何か書けと言ふことだから、自分の思つてゐる事を二三赤裸々に書いて見るが、別に斯樣なことを諸君に言ふは、釋迦に說法の譏かも知らないが、何か得る所があれが筆者望みの喜びだ。

A 何でも昨年の夏ごろ「日本共産黨」と自稱する○○○一派に對し關東運動をやつてゐた樣に思ふがあの後始末はどうなつたのだらう。官僚的資本主義的な而して社會主義者にあるまじき彼等一派を再び起つ能はざる樣にもつと徹底的にやつてほしいと思ふ。

B 戰鬪雜誌だから老婆心の樣だが今より以上に難かしい學究的になつたり。文藝的になつたりしない事。主義者と言ふものは少し理屈を言へたり文章が書けたりすると文士ぶつたり學者ぶつたりするが進めは飽まで第一線の前衛隊を以て任じ猪突猛進主義であつてほしい、

C 直譯的な模倣主義者の定規的な融通のキカぬ、臨機應變の伸縮自在の出來ぬ、學說一點張の戰術に[illegible]落せないこと、若い戰士諸君は一擧一投足に悉く理屈をコチつけたり老人臭い手段政策論のみに貫定せず（手段政策等否認し無視の意味でなく、必要を知つてゐる）その赤く燃えた熱を以て、利用し、山師や政策家往々にして墮落したり迷つたりする故に、理想の旗を高く掲げてゐるのが役目であつてほしい。

進めよ、進めよ

山根　津守氏

三週年の「進め」の歩んだ路は決して平々坦々ではありませんでした。斷崖巖牙の路であつたのですが、これからまだまだ、更に險しい路しかないでありませう。この路を歩んでこそ「進め」の任務が全うされます。全プロレの上にユートピウは開けます。進めよ、進めよ、諸兄に。

本社の三週年と我支局の二週年

倉本　晃南氏

進め本社は三月號で三週年へ誕生を迎へた。其間幾多の波亂曲折、惡戰苦鬪・官憲の横暴壓迫・其他の妨害を受つゝも、その難關を切りぬけ三週年の目出度き誕生號を見る事を得るのである。吾々の努力は分らぬ、然れども[illegible]雜誌にして二週年を迎へたことは何と言つても目出度いことで、斯界雜誌の權威である。強て言はぬが今後は[illegible]本社が支局と共に力を合せ[illegible]奔走する意氣を以て支局を設け[illegible]三週年と同時に支局設置を申込んで去る十三年三月である。即ち本年三月は二週年の誕生である。其間目立つた活動も出來ず多少の同志を求める事も出來なかつた。官憲の壓迫も受けたが、自分だけは始終一貫[illegible]雜誌の配付は一層[illegible]。支局設置以來、今日に至る迄、無代配付をして居る。そして出來得る限り眞の同志を求むることに專心して居る。雜誌に今回の支局改革後は一層細心の注意をなし以て社會運動に[illegible]

と、○のかも知れない。否、恐らくそうであらう。若しそうだとするなれば「中和的手段に依る可能性の程度」に依つて僕と石川氏と大ぶ考えが違ふらしい

○其の次に「但し治安維持法案が實施され過酷な壓迫が加はつたら事情は變化するだらう」とある此安維持法案によらずとも「過酷な壓迫」を加えられたら事情は變るに違ひない。そして此の壓迫は○○の下に何時來るかわかりはしない。根本的に英佛のそれと相違ある○○○○だもの、無産政黨は後に於て若し○○○○が來たら再びあはてゝ方向轉換をやり出すか

○無産政黨が組織され、大衆が「議會利用說」に傾むいた所で絶對に○○は否定すべきもので無からう

○僕は○○の行き方を何か徹底したエライものでもあるかの如く思つては居ないが、徹々的解放を望む限り行くべき所に必ず行き度いのだ

○然しいづれにしても「力」の問題である「力」は團結と共に成長する無産政黨樹立と共に、否、より早くより堅實に全國的團結――無産青年團であるか○○○○であるかは問ふ所でない――が目下の急務である「人格的であり度い」しかし野心家連に對して明斷的でありたい

○他の有象無象の日和見主義者等に對しては別に何も感じはしないが最も敬愛する石川氏に對しては無茶苦茶な暴言を吐いて見た何卒勝手氣まゝな才弟と思つて許して貰ひ度い

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め社便り

創刊三週年を迎へて

迫害に抗しつゝ

官憲則ち資本家政府が吾々に壓迫を加ふるは彼等の立場として止をむ得ない、彼等は同志ではない然るに閥と云ふものは主義を同ふするのに吾々の運動を妨害する、彼等は吾々の内部を知つて居るから妨害が効を奏する、官憲の妨害は、豫期して居るからさ程にも思はぬ、閥の迫害や妨害が一番恐ろしい、吾々は日本の社會運動を爲すのに閥と官憲と戰ひつゝ進んで來たのである、閥と官憲は吾々の運動の敵である。

官憲の妨害は

一、印刷所の妨害
一、讀者の妨害
一、支局の迫害
一、演說集合の妨害
一、職業の妨害

である。

閥は

一、原稿の妨害、執筆者を脅迫した
一、支局へ惡宣傳した
一、廣告する者には脅迫狀を送つ
一、[illegible]る者が脅迫されて居ると警察及裁判所に投書した
一、家庭內の無限の事件を新聞に出さんとした
一、三年間流言蜚語を飛ばした
一、社員を分裂せしむる煽動をした
一、外國に惡宣傳をした
一、支局に不拂を煽動した
一、進め保證金を拐帶して逃げたまゝである

官憲の迫害は年中行事で覺悟の前だが閥賊の迫害などと云ふ事はあり得べからざる事でこれが爲め淸廉潔白な人は幾千人幾百人社會運動の幻滅を感じて去つた事を知つて居る、日本の社會運動は政府と戰ふ前に閥と戰はなければならぬ吾々進め社員は此二つの敵と戰ひつゝ三年を經過した發行總數九十萬從來日本に於て出版せられた社會主義雜誌の總部數をもつてするも進めに及はざること二十萬、實に痛快に堪へぬ、今や一つの敵閥は亡びんとしてゐる。一の敵に二つの精力を以て當る、吾等の戰はこれからだ（福田）

進む

今、全日本無產階級を呪ひつつある妖化、虐殺法案に直面し、我社は目下この反對聯盟議員の集會所の重大なる一つの場所として連日連夜、同志と共にビラ張りビラ撒と階級的インフルエンザに冒かされ、發熱昂奮の體を引つさげて、死にもの狂ひに、恰もブルヂョア級の喰ひ盡せし、納税食傷特權階ジイの腹の如く汚なく、貴族の人間味の如く冷たき、雪降り、泥濘の惡路を辻から辻、路次から路次と、義の決せるゝ夜、正の定めらるゝ夜、走馬燈の樣に廻つてをる次に今月號の「進め」が少々遲れたと云ふことも、右のの如き近況分圍氣に置れてある。我社の落附きなさからであることを讀者諸君に一言して、寛恕を乞ふ（渡邊）

力と力

「治安維持法案」の通過に直面して、今や帝都では、アナもボルも協同の戰線をはつて、反對氣勢をたかめてゐる。實に連日連夜の惡戰苦鬪である。然し勿ら、頑迷なる政府當局者は國民の輿論を無視し、白晝、而も公々然と、專政恐赫の政治をしかうとしてゐる。これブロレタリアに對するブルジョアの完全なる挑戰に非ずして何ぞや、である。そこで吾々の態度も決つた、吾々は今後何をなすべきかに就ても知つた。そしてその何を爲すべきかに就て、諸君はより多く知つておられる筈だ。暗黑の時代は來た。暴力の時代は來た。而も、無產階級は、餓死と虐けらるゝことを欲せざる限り、この無法なる力に對して將に力をもつて挑むすべきである。——私は知つ　ゐる。この無暴極りなき法案に對する我等の態度を。それは吾等の團結であり、一つは、やむにやまれぬ、悲痛なるテロリストの心であることを。更に、この無產者、虐殺の爆彈は、無產者自身を虐殺するものに非ずして、彼等自身を葬るべきものであることを知つてゐる。これをもつて進め社便りとする。全國、進め同志諸君の健闘を、たのむ、（牧空）

來るなら來い

「進め」三週年記念號、それは何ものを意味するか？二つ葉の芽も三年經てば枝を張り花を開き實を結ぶといふ。彼の大震災に於いて一搖れ茫々たる灰土と化した武藏野の一角を瞬く裸に再び元の大都會に復興せしめた偉大な民衆の力をまた知るであらう。「進め」生れて茲に三年、迫害に迫害を被りつゝ熱き民衆の血の涙は凝り固まつて三萬の讀者を有するに至つた。無產階級の勝利其の近きを知るであらう。

日本に於ける社會運動も益々積極的に現實化しつゝ我が「進め」もまた茲に其の陣容を改めて着々運動を進めんとする今日、これ等のすべてを根本的に掠奪せんとする惡法案出づるとは何ぞ！今や正體の知れぬ怪物は日比谷の暗闇から眞黑い牢獄の口を開き、青白き刄を我々の頭上に擬しつゝ現れたのだ。我々は此の惡法案を葬るべく不眠不休極力反對した。或はビラ撒き或は訪問或は演說會或は示威運動に——しかし俺は言ふ。惡法案よ來るなら來い！もう俺達は今になつて泣事は言はない。もう俺達の胸には重い重い覺悟はあるはづだ。

雪降れば空晴るれば思ふふるさとよ！俺にもやはり故鄕を思ふ切なる心も肉親を偲ぶいとしの情もあるのだ。便りにきけば田舍の親父も半身不隨の由、此處にも重ねての悲哀はつのる。されど此の身の行くべき處は何處ぞ！次の瞬間また〳〵燃え上る焔はすべてを忘れさせて與れる。研げ！劍を。（谷口熊平）

冬は逝く

▲近頃あはたゞしい生活である。二月初旬、和歌山から故鄕に廻つて、歸ると間もなく、九州へ行つた。大阪に於ける惡法案反對の示威運動があつた日、夜半から下りるとすぐ驅つけ、その翌日「[illegible]戰へ」の發送を手傳ひ、その夜東京へ立つた。

▲東京へ朝着くとすぐ、公判に出かける。公判はその時になつて、急に辯護人の都合とかで、四月に延びた。こんなことで何時までも引きずられては全くやり切れぬと思ふ。

▲だがそんなことどころか、今や前古未曾有の惡法案、歷史を汚す一大怪物が現はれて居る。眞に言葉通りの連日連夜、あらゆる方面からの、反對運動が帝都の空を渦卷いてゐる。無產階級を壓迫する支配階級の血迷つた氣狂ひ沙汰、結局無事には、治まらぬであらう

▲私有財產のみについて云ふも、眞の意味の私有財產を現在徹底的に踏みにじつてゐるのは、彼ブルジョアである。小作人も勞働者も當然彼等の所有たる勞働生產物を悉く奪はれてゐるのだ。

▲要するに資本主義の斷末魔は近づいたのである。ほどばしる民衆の血潮が、蕾咲く日本の全土を染めつくすのも、眼前に迫つた。神聖なるべき帝國議會が、姿をかへた新選組の手に守られねばならない時代である。心なき花さへも。來る春には、血の色に咲き出るであらう。若人よ花と共に燃えよ（武陸）

虐げられたる者の手記

全國の兄弟よ聞いて呉れ

吉田源藏

全國の兄弟よ。京都の資本主義の跳梁、其の暴虐振りを聞いて呉れ。だが此處に敍述するところのものは其の一端にも價しない一小事件であつて其の全部でないことを斷つて置く。

ブルヂョアーの奴等には何十町歩と云ふ必要以上に程度を超へた尨大な別邸とか、別荘とか甚だしいのになれば猫と女郎丈を入れてある妾宅とか云ふ、俺達の生活に全く沒交渉な家屋は腐る程あるんだ。偶像の爲めにする空屋なんか土地狹き迄に建てられてある。

斯くの如く搾取階級の奴等には結構な知る憲法な桓武以來一千百年の光榮ある都にも無産者たる俺達には　都會生活に離すことの出來ない悲慘の一ツ住宅難と云ふ特典がある。

徒食して遊蕩さんまいに日もこれ足らざる奴不勞所得で俺達の勞働で搾取をやつて、富限者になつてるブルヂョアーと云ふ不生産動物には家屋があまる程あつて、朝から晩迄夜となく晝となく晩から朝迄酷き使はれ追いまはされて居る俺達に家がない。行き詰いた世の中ではないか。成る程働かぬ奴には身體の置き場所が必要だ俺達は暇がないから家を與へる必要がないとでも思つてるのか。

乃公も此の住宅難と云ふ恩難に浴して仕方がないから母と妹二人を郷里に殘して京都に出稼いで居たところが、母が死んだから葬儀の爲めに歸省した葬儀執行者であるから、三十五日の忌明け迄は旅行することは許されないその内に喪が明けた京都に歸らうと思つたら十六になる末の妹が盲腸炎と腎臓を併發するところの重病に罹された母は死んだ看病するものは誰もない十九の妹にのみ此の重病の病人を委せて置いて旅行することはどうして出來得やう・其の内四十日程は經過した病人は依然經過宜しくない引き續いて看護の爲めに缺勤屆を提出した。當該所轄出張所から許可の指令が來た、正月號の無産階級勞働雜誌進めが發刊された。それには乃公の稿になるところの「團結心に基つく唯一ツの武器」と題する檄ブルヂョアー、所謂資本家の走狗だ。其奴等には聊か癪にさはりさうな筆と云ふより、寧ろ彼れら自身の立場、つまり彼れらをも其の階級を意識せしむべき啓蒙記事が掲載せられた。

廉耻の觀念と云ふものを母の胎内に置忘れて來た、彼れらと雖もこれによつて多少は自己の階級に目ざめたならば徒らに、資本家の走狗となつて居ることが自己の生活樣式の本體ではないことに氣付くであらうと期待して居つたのは乃公の一生の不覺であつた。そしてそれは彼れらの良心の程度を俺達無産勞働者の良心の單位に標準を置いて居たことが今日乃公が失業するに至る因を爲して居るのに氣が付いた。要するにもう少し彼れらの人格を割引すればよかつたのである。が、うつかり彼れらの人格を割引いて居つたなら乃公も結極は彼れらと同じ資本家の狗となつたであらう、が幸ひにして乃公は味方を賣つてまで己の安逸を貪るほど高潔な人格者なるにはあまりに修養が不足して居つたのである。正月號の進めが無名氏によつて乃公の所屬出張所に配達せられた、と――直ちに乃公の缺勤を允許して置きながら數日の内に出頭すべしと云ふ召喚狀が來た。

法律上からこれを論ずるなれば何等此の召喚に應ずるの義務はないのだが雇傭關係と云ふ契約がある。……彼れらブルジョアーめらはこれを服從關係と吐かして居る。……仕方がないから看病の手を休めて一番汽車で出發した。目下精神錯亂とかの淑德いと高き細君をもつてゐるボンクラ主任と云ふニックネームの所有者で頭腦明晰の聞へ高き出張所主任殿は乃公に親しく拜謁を賜はり宣して日まはく。

「大體君も御承知であらうが目下財政行政ヽ整理の喧しき折柄年度替はりも目前に迫りつゝあるし當所においても整理の都合もあれは雇傭者自身の病氣なら兎に角家族の病氣のために二ケ月こ渉る長期缺勤は認め難いから、即時出勤せらるなればよし到底出勤し難きなれば辭職せらるべし今辭職せらるゝなれば相當便宜を與ふべし若し[illegible]の際に出でられずば自然雇傭の關係に消滅すべし。自然消滅に所謂懲務規程による解傭であつて非常に君のために不利益てあ

○○に就て
小林純君に

◇別稿小林純君の本社石川君の說に對する批評「○○に就き」に就き、石川氏に私は左にレーニンのこの點に關する意見を紹介する。

同文はレーニンの『革命の敎義』の中に藏められて居るもので譯文は河上博士に依るものである

『ボルシエヴキーに關するブルガーの間違つた考へボルシエヴキーを誹謗する新聞紙によつて維持されてゐる考は、ボルシエヴキーは何人とも、如何なる場合にも、斷じて妥協しないものだ、と云ふことに在る。

「斯樣な考へは、吾々が社會主義及び革命の根本原理を固く執つて動かぬといふことを、吾々の敵でさへが認めざるを得ないことを示して居るので、それは革命的無産者黨としての我等に對するお世辭となる譯だ。

「しかし本當のところを云へば、斯樣な考は事實と一致しない。エンゲルスが(一八七三年に)ブランキー一派の共產主義者の宣言を批評した際に、斷じて妥協せずと號した彼等の宣言を嘲笑したのは正しいと謂はなければならぬ。鬪爭に從事する黨は、其時々の諸事情により已むを得ず諸々

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

る。然し辭職することが此際出來ない事情にあるなれば、看護婦でも留つて君は出動して服務してもらひたい。で重ねて云ふが此際退職するなれば其の辭職の形式に關しては充分顧慮して上げる」と云ふ譯なんだつまり病床を捨て、出動出來るならして見よそれともおとなしく止めるなら涙金を少し位はやる、厭だと云ふならお拂箱だ。サア！出るか引くか返事はどうだ〲と云ふ切り詰めの場面で大見得を切つたところなんだ。

京都市民は幸福なるかな斯くの如く無常識な吏員を執務せしめておけば定めし理想的能率も擧がるであらう、其博學な事多才な事なにも好んで缺勤なんかしたくはないんだ。住宅と云ふものがありさへすりや缺勤して評省と云ふやうな手間日間は費さないのだ。ポンクラ主任と云ふ頭腦明晰な出張所主任は數學を知らぬのか、社會の實狀も知らぬのか、血肉の情愛も解せない野獸であるのか。看護婦を始めは其の日當に一金三圓五十錢也だ乃公の一日の稼ぎ高大枚二圓也だ。三圓五十錢と二圓とはどちらが多いのだ看護婦の日當位心得ておけ絕對安靜を必要とする重態病人を見放して旅に出られ得べきか兄妹とは敵の稱ではないぞ。尤も資本家の走狗と云ふ狗に人類愛を說いてもそれは恐らく馬耳に念佛猫に小判の類であらう。行財政の整理がなんだそれはお前達のやうな俸給と云ふ物をもらふてゐる虫螻が休めば損がいくから整理の必要があるんだ。賃金を受ける俺達は缺勤すれば給料はもらはないんだぜ、と云ふたところで三圓五十錢と二圓との多寡すら是非分別の出來ない代物だ失業と云ふ事は望ましからぬことではあるけれども、血肉を分けた妹にかへられぬ。では辭職を致しますと强いらるゝがまゝに筆を取つた。それでは病院に一寸行つて下さいと云ふからなんの爲めに病院に行くのかと不審ながら病院に行つた醫師は待つてましたとばかりに一葉の紙片を與れた見ると神經痛症到底義務に堪へ難きものと認むると書いて署名してある。ポンクラ主任殿の「お退めなさるなら充分便益を取計らいます」と云ふのは要するに是れであつたのだ。打ち明けても毀はれない噓め一つ出ない健康體の人間を病人と醫師をして斷定せしめ文書の僞造を爲さしめて迄失業者を拵へて居るそれで居て京都市には職業紹介所なる、社會施設がある。一體なにをして居るん、社會事業か非社會事業なのか憶ひ起す昨年の七月交通勞働爭議の其當時既に此の事ありとは豫期せざりしにはあらざるも七ケ月を過ぐる今日親の死別と妹の病氣でどん底に呻吟するときに當つて、整理の名に於て解傭の宣告をされやうとは强ち不用意から來る弱者の悔い言ではない現政府國民の要望に依つて現はれた現內閣の政策行政財政の整理とは將たして斯くの如き健康者を病人として辭職を强ゆることであらうか、整理の本質が失業せしむる事に依るとでも思つてゐるのか但しは整理に藉口して此の際所謂危險分子を掃せんとする積りなのか。それにしてはあまりに樂屋の見すぎた一狂言ではないか小供の智慧にしては念入り過ぎるし大人の企らみにしては馬鹿氣て居る幽靈が下駄履く時代だとて思想の尻尾は掴めぬぞ。

ボズイ、デケーズ、ソール、エクズイスツ、フオアーエペーだ。例へ第二の甘粕が出やうとも駄目なんだそれよりも第二第三の中岡や朝日平吾の出ないやうに頭を動かす事が肝要であらう。秦の始皇は三千人も思想家を穴に投げ込んで燒いたけれども、其の國は安泰でなかつた。

革命前露帝は國民に對する啓蒙思想を恐るゝの結果言論新聞雜誌集會結社あらゆるものに對して干渉と迫害とを以てした。投獄追放死刑と萬能の權力を以てするも自家の苛政非道を覆ふ能はず遂に彼の大革命を勃發せしめたではないか。然も其の革命期を速かならしめたものは干渉壓迫に依る反動勢力であつた。ブルチョアーよブルチョアーの狗よお前達の跳梁、お前達の暴虐は無產大衆がより强くなる事で無產者が固く大きく强くなる事は資本主義の倒壞する事なのだ。

帝都の兄等よ、斯くして京都市電は第四次齒牙を揮つて第十九人目の斷頭を行ふた。第一次が八名で、第二次が九名第三次が二名、第四次が一名、其の殘りが乃公だ先驅者の報酬は悲哀とは此の事か。けれども俺達の眞實の强さは此處から出て來ると思へば寧ろ愉快でたまらない。たゞ彼等が自らの墓穴を掘りつゝあることに氣付かざるを哀れに憶ふ。

妥協を餘儀なくされるのであるから、それ（妥協排斥論）は畢竟一つの空題目であり、「借金の濟くべし」を一概に排斥するのは、まことに笑ふべきことだと云ふのが「エンゲルスの遺言であつた。蓋し本當な革命黨の職分は、あらゆる妥協を排斥すると云ふやうな不可能なことを主張する點に有しないで寧ろ有らゆる妥協をなし――・・・・・・それが不可避である限り――之によつて吾々の階級の、吾々の革命的職分の、革命を準備する爲めの吾々の仕事の、根本原理に對する忠實を貫徹するにある。

「一例を擧ぐれば、第三回及び第四回のデューマ（議會）に吾々が參加したことは、一つの妥協であつた。革命的要求の一時的放棄であつた。けれども其れは絕對的に已むを得ざる妥協であつた。何故なれば、力の關係は吾々が革命的大衆運動をなすことを一定の期間に向つて封じて居り、且つ鬪爭の長きに亙る準備のためには暫らく斯樣な「小屋」のなかで働いてゐる値打ちがあつたからである。政黨としてのボルシエヴキーの此の如き態度が完全に正しかつたと云ふことは歷史の證明したところである。云々」

が、石川君の考へはこれとは少し違ふさうだ。（櫻田雲助）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

全土戰報

地方の戰線から報導を待つ

—係り—

神奈川縣

吾人は、現在の資本主義制度の發展、進化は、終に影の形に添ふ如く、資本對勞働の血と生鬪爭の時代文化事實を齎すの明かなるは感知せずには置かれぬであらう。

時代の進化は、今に我々をして階級鬪爭の巷に身を投ぜしめ、而してそれが目的の熟達を計るの日を與へんとす。おゝ惠まれざる一般無産階級は何物かを得んと焦つて居る。然り社會運動、勞働運動將又民衆運動は時勢と共に進化し深刻化し、時の至るを待つ暇も無く其の實を結はんと悶へて居る。

彼のロシアには、早くも其の期熟達したり。而して英、佛、獨に其れが熟達の期を謀るの聲、時の支配者をして驚異の眼を見張らしむ狀態にある。そは既に賢明なる諸兄、周知の事實である。

然るに、昨今我國に於ては、今期の議會開會を期として、それが運動の絶滅、或は壓迫、迫害の暴力的絶滅案即ち我等に對しての、死の宣告法案、目して治安維持法案は宜しく通過されんとする危機にある、咄、咄案と云ふ可し、それ、民衆諸君よ、祝へ、我等が同志！彼奴等が生命の存在は我等が當中にあるのだ、それは既に階級意識に目覺め、而して最後の快腕を振はんとする、吾等同志の團結の實現に在り、行動にある。宜しく吾等は、此の點に深く最大最後の決意を振ふ可く、思ひを至さねはならぬ。（遠山瀧之助）

和歌山縣

南國の當地では梅もしつとり笑ひきつて小春日和の暖かさに過ぎし年を瞑想して本年の活動を思ひ浮べて見たい。

幾多の爭議は勿論追悼會や一週忌で隨分警察署の厄介に成つたものだ、元來此處和歌山の同志は概ね日本勞働總同盟系なる爲此うした檢束や引致を度々されると直ぐ危險視されるのである。其處へ昨年末の一大檢擧に上げられたものだから全然組合なる者から異端視されて來た。

それにつれて幹部に反抗して行くし此處に於て全く勞働組合なるものを脫して一意專心「進め」の看板を擔いで日夜奮鬪して居る。傍ら同志相寄りて南海民衆新聞なるものを發行して居る

然して此の新聞は月三回で一人の異分子も交へず正々堂々と主義主張に向つて突進し今では當和歌山市で『進め』系統の機關新聞紙である事は最早周知の事實である紙上を通して全國の同志に願ひ度い一紙半身でも南海民衆新聞なるものゝ投稿を願ふ次第である、それは無形の握手にして共同戰線への一歩かと思ふや切である。

然るに同志にして主義思想を獨占し其の門戶を叩くにあらざれば同じ系統の者と見做さず徒らに人の成功を妬む輩が當地にも有る。そして彼奴等は必ず予等の勃興に關して中傷するは火を見るより明かである予等は何等眼中に於かず飽迄初志を貫徹さす可く奮鬪する者である。乞ふ活目されて之を見られよ（藤田周一郎）

岡山縣

近來當地方には無闇に半官製とでも云ふ團體即ち土地保護及借家保護團などゝ云ふブル階級保護團體が續出して居る是等の連中はブルの息子やブルの廻り拂へ鼻息を窺ふ誤都合主義の連中が團員である夫れが唯の團體のみなら吾々は文句、は言はぬが彼等は何時も々々無産階級勞働者に對して反動的行爲をなして居る吾々が無産者の爲めに奮鬪せんとすれば彼等は吾等の運動に對して妨害的行爲に出て邪魔立するのである近く吾等同志は彼等を撲滅策に就て奮鬪對抗すべく計畫中である且つブルの横暴や官憲の壓迫は吾等の好む處である（岡山縣倉本晃南）

旅より

餘りヒドク搾られると、鈍感な俺達だつてイヨ〱我慢が出來なくなる。そこでストライキをおつぱじめる。段々の事で最近では全く上手になつて亂暴もやらず、組織的にやるので、ブルも一寸困つた。然し奴等は直ぐに奴等獨特の明案を案出した。それが三角同盟だ。擲り職のハツピと、光るものを腰に吊るした犬と、それとブルとの三角同盟だ。そして其策戰は極めて巧明なのだ。然しそれはもう書かなくて俺達仲間は度々其奧の手を拜見させられてゐるので腹と云ふ程笑つてゐる。（松村生）

岐阜縣

「進め」二週年を迎ふると同時に吾々支局同人は、今後一層、運動方針を改め完全に本部と連絡を取り、同一步調を以て全無產階級の解放戰線に立ち、活躍する決心である。更に地方に於ける封建の遺物に對抗し、これが撲滅を期するため社會思想研究會なるものを組織し、支局内部には、研究部、圖書部、調査部、宣傳部を設け一般農村青年會に社會進化に適應する新思想を普及することにしたから後は、先輩諸氏及一般同志諸君の御後援を切望する。

岐阜、麻生町、水野貝三郎、長谷川力、佐伯新助

長野縣

二月二日長野縣に初めて長野市に支局が設けられた。その以前「

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

裸社」なるグループを作り、僕等は微力ながら、思想研究會を作り月數回の集まりを開いて座談的に主義の研究を進め、又常に水平運動、選擧期等に、プロレタリアの爲めに盡力して來たのである。「裸社」なるものをもつと大きなもの、力强いものにしようと待ちかまへてゐた際、「進め」なるものにより、遂に支局として、團結と連絡により意氣、愈々盛んに働くことが出來るようになつたのは、眞に歡喜に堪えない。二月十二日夜同志、青木、茂尾、深海、青木（弟）坂口の五名が集まり盛んなる發會式を擧げ今後の戰鬪に就て協議した。少くとも茲一年は地盤の建設である。準備の時代である。かくして我等は睡眠をむさぼりつゝある長野の青年男女に警鐘を亂打せねばならぬ。（長野縣長野市深海）

岩手縣

私達の岩手縣にマルキシズムを奉ずる思想團體、「牧民會」が生れてから既に六年の月日を經てゐます。其間、牧民會の內容も、幾多の變遷を得てゐますが、社會革命戰の第一線に立つて活躍してゐると云ふ點では、昔も今も同じです。只最初の人數は五十名ばかりあつたのですが・今では、其中から、野心家や、オポツチュスト等がぬけて、殘つたものは、僅か數名に過ぎませんが、然し內容は、當時に倍し、一以て千にあたるの慨があります。戰術も變へました。潛行をふせて、只大衆の中に入る込むことを主としてゐます。今や吾岩手縣は、經濟界の破滅により又地の理の惡きによつて、産業上に一層の致命傷を受けゐます。勞働者、農民の生活は根本から破綻し、殘るものは老幼の婦女子のみで、野に菜色さえも無しと云ふ形ちです、一方、商業、及商業の不振、又は勞働者階級の購買力絶無のため、中産階級の生活が脅威されてゐます、全岩手の中産階級は各銀行に對する利子拂込み不能のため、各自の生活はおろか、あたかも、各銀行、出張販賣店の形です。茲に至つて、吾岩手縣は、（へもつとも全國的とは思ふが）眞の無産大衆の運動を鋒起すべく、最も適宜な、機運に到達してゐます無産階級の瀕死、續いては中産階級、沒落の鐘が都市と云はず村と云はず、鳴りひゞいてゐます。やがては、有産者、滅亡の挽歌が聞えるでせう。私達はそれを近くに豫想してゐます。みんなが心から一緒になつて、無産階級解放の運動に死を賭して鬪ひませう。（岩手、盛岡、小生）

香川縣

吾香川縣に於て、小作爭議の中心地と目されてゐるのは、伏石、坂本の兩村である。坂本の小作事件は法廷戰が六十餘件、假差押へが七十件餘である。其組合員は二百數十名。坂本村の小作爭議が白熱化した原因は、地主の頑迷、橫暴によるもので常に我等小作人をしひたげてゐる。彼等は國家權力をカサに、地主組合を組織し小作人より搾取した、膏血と涙の上に惰眠をむさぼつてゐる。然し、勿らいつかは我等の勝利となる事は疑ひない。地主が如何に所有權をふりまわさうが、又それによつて國旗を守るものと云はうが、國家の原動力は、我等農民と都市に於ける勞働者である（香川縣伏石大林生）

高知縣

絶えず町の低能者流と戰ひながらも、除々と我々は運動を進めて居ます。大分讀者も殖ました。諸君の健鬪を祈ります。
高知縣長岡村（支局前田泰男）

朝鮮、元山

元山勞働組合乾明太三十餘團體は下陸及荷造賃低廉なるため、組合員の生活困難に陷り、ために去る一月二十日、各組合代表員副議員會を開き左記數項の要求條件を資本家なる客主組合（問屋組合）に提出した。

（一）乾明太荷造賃（普通六錢を八錢に。特別八錢を十錢に）。
（二）乾明太下陸賃（十錢を十四錢に）
（三）前記二項の要求に對し、不應の場合は罷業をすること
（四）前項の猶豫期間（二月二日より十三日間）經過後罷業に依る損害は本合にて責任を負ふ）

該要求に依せ各客主組合に於ても臨時總會を開き、その對策を講じたる結果、要求全部拒絶の回答あり、ために形勢は險惡に陷り、組合側より「罷業を斷行すべし」と强硬なる應答をなした。一方組合側に於ては着々罷業作戰の計畫を進めたが、遂々元山靑年會にて該問題は元山に於ける重大問題であるとなし、調停に入り、妥協策を講じたる結果、罷業猶豫期間を三週間に延長することを其旨、客主側に通知した。

依つて二月八日に至り、各側の交渉委員、會合し討議交渉の結果左記の條件を留保して、他は全部妥協することに決定した。

記

（一）共同區及荷造六ケ組（荷揚共）賃金改正の件、
（二）勞働方法改定の件
（三）共同組織を組合より獨立の件
（四）約定書改定の件
（朝鮮第一支局　林仕賢）

朝鮮、廣安

吾朝鮮の無産階級にも解放の光明が輝く。——それは社會主義だ彼のブルは社會主義は危險思想、或は過激派なりとしこれを壓迫する。

然し、吾プロには生命の續く限り行く道は、只社會主義あるのみだ、朝鮮にもこの社會主義運動は熾烈に發達しつゝある。氣分運動より組織運動に、都市より農村に到る所・此思想は普及しつゝある全國的運動として結束したのは、勞農總同盟と、靑年總同盟である勞農總同盟は二百七十靑年總同盟は二百四十の地方團體の結束である。

都市及地方の無産者よ、吾等の武器は團結あるのみだ。勞働者と云はず小作人と云はず、來りて、無産階級解放運動に參加せよ。最後の勝利を得る迄、彼れブルと鬪へよ。無産者の勝利と解放は・無産者の結束によるのみ。（朝鮮慶安道進水　姜大供）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本の無產階級へ
敢て苦言を呈す

支那　谷朴秀

吾々からみて日本の社會運動を最も物足らなく考へる點を直言すれば、國際的色彩の薄弱なこと、遠大な計畫の下に同志を統一してゆく力の中心に缺けて居ることである。

勿論私は小學から中學の初年までしか日本に足を止めず、爾後約十五年間支那に歸つて支那に於ける社會主義運動に携はりながら、新聞雜誌を通じて、又は時々日本からやつてくる同志の言論直話によつて、大體に於ける模樣のみを窺知し得たのみで、直接その雰圍氣に身をおいた譯ではないので、果して私の批評が當つてゐるか否かは明確ではない。

が併し、第三者の觀察は往々にして當局者よりも正鵠を得てゐる例もあることであるから、私のこの稿が日本の同志諸君に取つて何程かの參考となるであらうことを私は期待して止まない。

扨て愈々本論に入つて、私が何時も最も厭に感じるのは、日本社會運動の先驅者達が遺憾なきまでに用意周到な政府警衞の前哨に對して、妙にイラ〱した感情を持つて應酬することを何時までも止めないことである。勿論湧き立つ感情を無理に矯めようといふのではない。唯無產者の革命はそんな子供じみたことを繰返してゐる間は、決して大なる力を形成し得るものでないことは、過去に於ける各國各地方に於けて同志が殘した史跡が雄辯に物語つてゐるのである。のみならず、そうした小なる抗爭は無產階級の向上跳躍を歩一歩遲らせることにこそなれ、決してそれに依つて一歩を進める結果にはならない場合の方が多いのである。

この意味に於て私は日本の同志諸君が今少し眼界を大にして戰鬪力の增大に全力を傾けんことを希望する。

それから統一的運動が行はれて居るか何ふか？之は第三者から見ては兎や角云はれないことであるから、中國に於ては斯く行はれて居るてふことを後節に述べて參考に供し度いと思ふ。

今一つ日本の社會運動者が、今日迄國際的の知識を缺いて居たやふに私は信ずる。

勿論中國に於て排日運動が起された前後、盛んに吾國の學生團體と聯絡を採る爲にやつて來た人々も無いではないが、その多くは著るしく見聞が狹くて全く御話しにならないものが多かつた。そこで私は日本の同志諸君切めて中堅となる人々達丈けでも、徒らに蝸牛角上の抗爭にのみ氣を奪はれて、世界の動きを見遁すやふなことを切に希望してやまない。

私が特に日本の同志に向つて斯く云ふ所以は私の知る範圍で「愛國心」なるが故に自他の意識を辨別し得ず、可惜しその主義精神を混惑顚換する人が日本に一番多いやふであり、執拗な日人の愛國心を如何にして拔くかは全く困難？であるとさへ言はれて居るからである。

之は私が他人の言をのみ聞いて斯く言ふのではなし、過去幾年間日本の同志と交つて、痛切に感得し得た結果の言辭に外ならないのである。日本人は過去の實生活に於て、比較的依賴するに足る丈け安定の保證をガヴアーメントなるものから得て來た。從つて自然自衞に徹底することはそれ丈け困難であると云はなければならない。

それは兎に角として日本はその經濟的關係から見るも、毅然として日本のみの革命を獨行し能はぬ環境にある。その爲に日本の同志達は稍もすれば、「こふすれば露西亞の同志が何とかして與れるだろう」とか、「愈々となれば中國の同志が」と言ふやふな考へを持つて居る向も少くないやふであるか、これこそ日本の無產革命運動が躍進し得ない第一の根源である。他力の幇助救援を倚賴することは無對に禁物であるとは云へ、實際問題として日本は經濟的に獨立不能である。此處に廣く世界の同志と實際的關係を確立する必要がある譯である。日本の同志に對する不備や批難は一朝一夕に語り盡せるものでないから他日に讓るとして、最後に、中國に於ける無產階級の躍進、主として中國共產黨の全國的活動の跡を概要丈け述べて此の稿を終ることにする。

中國共產黨、第一回の成功は言ふ迄もなく、民國八年五月四日「ヴエルサイユ平和會議に於ける支那代表を激勵せんが爲に捲き起つた學生運動に喰入つて、全國學生聯合會をその能動的戰鬪機關たらしめることにある。すでに知らるる如く學生の排外運動は主として排日の激潮は、地平線を望んで躍進せんとする無產革命運動の一波に過ぎなかつたのである。

民國八年共產黨の首領陳（獨秀）李（大釗）の採配に從つて、全國に飛んだ幾百の學生運動指導者は更に幾千幾萬の共產青年の母體となり僅數年を出ざるに、共產黨の旗下に全國各社會の樞要に喰入つて、現在の社會組織を根本から分裂崩壞せしめんが爲に活動して居るもの丶數は、殆ど數へ難い額に上つて居る。兎に角今日に於て中國國民黨は有形無實の傀儡であるに反して、中國共產黨は無形にして恐るべき絶對的存在となつて仕舞つた。

第二回の成功は京漢鐵道及唐山のストライキである。之は新聞紙上で既に知らる丶如く縷更喋々するを要しない所であるが、何れも問題そのものとして大した功果はなかつたが、之が全土の無產階級に與へた影響は極はめて重大なものである。

今一つ此處に注意を要する事柄は、首領陳獨秀の卓拔した識見とその主義政策を實行するためには何者をも犧牲に供するを惜まぬ火の如き熱と冷鐵の如き意志果斷である。

卽ち京漢鐵道のストライキが、

散々に戰勝將軍吳佩孚の軍隊と鐵も持たず肉彈を持つて特權階級に楯突いた鐵道從業者との對峙となつた時、陳獨秀は一方熱烈なる應戰を撒いて勞働軍を狂奔させると同時に、一方飛ぶ鳥を落す威勢を持つ吳佩孚を煽動して武力を以て勞働者を彈壓せしめた。これを簡單に見れば、陳獨秀は勞働者を煽てゝ騷動を起させ絕對の强者たる軍閥を使嗾して彈丸を以て勞働者を標的にした譯で、その慘忍さは到底お話しにならない譯である。が併し結果に於ては如何。今や支那の勞働者は主義者に頼らず學究に誤間化されず、環境に於ける自己の立場と時代を負ふて立つ無產者の力とを的確に握つて步一步國內否世界の特權階級を敵として鬪ひつゝあるのである。諸君は陳獨秀を敵と見るや、將た味方と見るや私は陳獨秀こそ未來のレーニンたる偉大な指導者であることを確信する。併しながら今日中國に於ても、彼れ陳獨秀は惡魔の如く恐怖されてゐる。實際方面に於ては共產派が步一步現社會制度崩壞の大業を進めつゝあるとは正反對に。大分長くなつたのでこの稿はこれを以て終りとする。幾分でも關東日本の同じき環境におかれて奮鬪しつゝある同志諸君の參考にでもなれば幸甚。（二月十六日）

暴法反對運動

渦中記

谷口生

（一）示威行列

二月十一日、昨夜の嵐はみん事に敗れて今朝は遠く見渡す快晴、それは何事かを意味してゐるのではないだらうか？

頭上に恐るべき壓迫の刄を擬せられた民衆は見よ！今や手に手に憤りと反逆を表徵する赤旗を掲げて有馬ケ原の丘上に馳け集つた。「惡法案を葬れ」「惡法案の前に團結せよ」の大旗は寒風に躍つてゐる。約千名の警官隊は官服和服に身を固めて會場を取り卷きブルドックの樣な眼を光らせてゐる。群集は次第に詰めかける。赤黑旗數十本各々鋭い旗上の鎌を布で包んで押し立てられた。午前十一時、血を吐く惡法反對演說の烽火は造機船工勞の內田君に依つて放たれた。矢次早に飛び出す各勞働團の代表二十餘名、頭を振り腕を振り足を踏みならして寒い風に吹立てられつつ激勵する樣は悲壯の極である或は呪ひ或は怒り無產階級の生死に關する問題だといきまいた。無論中止は無茶にやられた。軈て惡法に對する民衆の見る見る湧き上る血潮の如く押し寄せ集れる一萬の大群は「惡法を葬れ」の大旗を先頭に或は革命歌或は勞働歌、ＩＷＷ或は惡法案撲滅の歌を口々に叫びつつ街頭に雪崩を打つて現れた。行列に對する官憲の壓迫は今更ながら驚くべく、思はず我々の行列を率す者は我々にあらずして官憲そのものだ！と叫ばしめる。一千の官憲未だ不足とてか武裝せる憲兵まで馬を走らせて所謂警備の任についてゐる。本通りをば絕對に通過せしめない（最初の計劃では上野から日比谷の議場に押し寄せるはづだつたのを芝有馬ケ原から上野へと變更させて漸く警視廳は許可したのである）

群が御成門に差し掛かる時官憲と一衝突を起した。騷いだとか何だとか纔にもつかない事に角立てておお祭り騷ぎのつもりにでもなつてゐるのか、亂暴無茶にも我々の同志を檢束しやうとするので。忽ち一大亂鬪が演ぜられた。打つ蹴る撲る突く必死となつて戰つてゐる內に一人二人と引き拔かれて行くのだ。官憲橫暴！の聲は轟然として起る。けれども血迷ふたる官憲は益々其の狂暴性を發揮して襲擊する。引き拔かれた檢束者、其の日の犧牲者は昂奮に青褪め顏をしながらも勇敢に引かれて行く。其の樣な悲壯そのものだ。我々はよく戰った。しかし其の後宇田川町其の他の二三ケ所で同筆法を以つて佳なりの檢束者を出した。官憲よ！それ程民衆の力を恐れるのか我々は君等に對して幾何の武器を持つてゐるのか？

聲を涸らして叫びつつしかも整然と行列を組して上野兩太子前に着いた時は午後四時半、數萬の群衆は街路の兩脇に盛り上つて何事かを期待してゐる樣であつた。兩太子前の廣場に密集した一萬の大衆は天をも劈かん叫聲の中に惡法案の撲滅と無產階級の勝利を期して赤旗を從橫に電光の如く打ち振つて四散した。當日參加團體は都下勞働組合の全部及思想團體からは本社をはじめ二十團體へ地方團體からも二三あつた。此の日の檢束者六十五名。

（二）議會襲擊

十一日の示威運動以後警視廳では示威運動を一切許さないので市內各處で各團體が每日或は演說會を開き或は內面的に代議士連を訪問して勸告し、晝夜不休活躍して來た。

十二月九日、都下全團體が結束して民衆の恐法案に對する反對意向を示して訴ふべく芝公園協調館に於いて民衆大會を開催した。

外は吹雪、內は燃え上る反對意向議會では丁度此時惡法治安維持法案が呈出されてゐる時だ。午後一時、時計工の本澤氏が開會の辭を述べ引き續いて政治研究會の布施辰治、關東鐵工の關谷、杉浦、社會思想社の大內、勞働運動社の岩佐其の他各團體の代表者諸氏血の叫びを上げ宣言決議文を朗讀して氣勢を提げ、其の決議文を持つて議會に首相、法相、內相を訪問し勸告すべく適時に議決した。忽ち委員が選出される廿名の各委員が揃ひ芳賀氏が代表して挨拶の最中昂奮した關東印刷の有森君が血の附着した布を振つて「俺達は今此の生血のついた赤旗を持つて議會に押し掛けるのだ」と叫んだので折から待ち合せた愛宕署員十數名飛び出して檢束せんとしたので忽ち壇上に芝居ならぬ　激しい實演が開始された。それをきつかけに滿場總立ちとなり、「議會へ議會へ」と叫び革命歌を高唱し會館を洪水の如く流れ出て吹雪の中に赤旗を閃かし日々谷に向つて押し出した此の時かくあらむと待ち伏せたるものか各處に現れたる愛宕署三田署其の他の警官二千名行く手に立ち塞がり、或は橫手より殺倒し目星いと睨んだ者は片つ端しから檢束せんと圖る。此の橫暴、何ぞ默して服すべき、忽ち愛宕署前の廣場に赤血に染んだ、一大修羅場が現出する。亂鬪、奮鬪されど警官隊の大勢にかけて此方は小勢、如何ともする事は出來ない。「どうせこうなれば最後までだ最後の一人までやつつけろう……」と絕叫しつつ倒るる同志と追跡する官憲を背後に檢束を逃れた一隊は宇田川町を左に折れ芝口、新橋の裏路を脫けつつ逃走して議會前まで馳けつけた最後の百名も此處にまたも待ち伏せた日比谷署の大衆の爲に一たまりんなく蹴散らされねばならなかかつた。

荒れ狂ふ吹雪は飛散する赤血、それは此の日の記錄だ、示威運動始つて以來かくの如き慘狀をかつて見た事があるか？ああ資本主義最後の斷末摩のうめき――アナもボルも今こそ手を握つて立つたのだ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

普選利用と其の期待

鈴木厚

一

エンゲルスは其の著、「家族、私有財產及國家の起源」の中で、「普通選擧は、勞働階級の完全なる發達の指標であつて、其れは現在國家に於てわ、一層多くの何ものをも與へることが出來ないし、また與へようともしない」ものであると說いてゐる。

此の言葉は、レエニンによつて屢々引用されてゐるところのものである。彼の名著「國家と革命」の一節に於ても、レエニンはこの言葉を引用なし、而もエンゲルスが、明確に普通選擧を、資本家統治の一手段として見做してゐると解釋してゐる。加之、彼は尙ほ言葉を續けて說いてゐる。「吾々社會革命黨員のやうな、下級中產階級民主主義者、及メンシエヴイキ、並びに彼等の雙生兄弟、社會愛國黨員、及西部歐洲の日和見主義者等は、總てこの普通選擧から「非常に多く」を期待した。彼等は、實際に勞働大衆多數の意志を表現することが出來、而も其れの存在を確固たらしめることが出來るといふ惡い觀念を、自身考へもするし民衆の心に鼓吹しもする」と。

これ等の言葉から考へると、エンゲルスもレエニンも共に、現在國家內部に於ける普通選擧の本質をば、明白に否認してゐるのである。

レエニンの其の否認の理由を、明かにする爲めには、彼の國家論にまでさかのぼらなければならない、而してさうすることは同時にエンゲルスの其の點に關する見解をも、明かにすることになると考へるが、今茲で、其れを充分に述べる譯けにはゆかない。それ故に極く簡略に語るならは——現在國家は、資本家階級支配の機關として存立するものなるが故に、其の內部に於て、たとへ普選代議士が議會に多數を占め、內閣を組織するに至つても、其れは依然としてブルヂョア、デモクラシイの延長に過ぎざるものであつて、其のことが直に、新しい社會の實現を指示するものではない、歷史は、資本家民主々義とは、封建制に置換へられたものであり、無產階級民主々義とは、資本家民主々義に置換へらる可きものなることを、物語つてゐるのであつて、結局其れは、資本家統治の手段に終止するものだ、といふやうな大體見解をなしてゐるのである。

されば彼は、カウツキイに對する論駁に於て、卽ち「無產階級革命」なる著書の一節に於て、カウツキイの所謂「純粹デモクラシイ」を嘲笑し、其れが無階級乃至超階級狀態に於てのみ、可能であることを指摘なしてゐる。從つてまた露西亞に於ける「無產階級の執權」を、政治形態を意味するものではなく、國家の形態或は典型を意味するものであると說き、而も其れが、マルクスが既に說けるところであると主張してゐる。

此の見解から推考する時は、國家形態には何ら變化を及ぼすところなくして、最近の英國の如く、支配階級內閣に次ぐに勞働內閣を以てし、勞働內閣に次ぐに再び支配階級內閣を以てするといふ狀態卽ち政治形態のみの變化は、敢て不思議とするに足らぬ現象であつて、其れは單に資本家民主々義の完全なる發達を表示したるもので直に社會變革を示したものでないといふことが明白になる。

茲に於て吾々は、普通選擧が、目的論としては到底成立たざるものであり、且つ全然無價値なるものであることを、看取するものである。

二

かゝるが故に、理論上普通選擧區を否認なすものは、獨り代議制を承認せざるアナーキズムのみではなく、マルキシズムもまた同樣であつて、たゞマルキシズムにあつては、しかし理論上これを否認なすと雖も、革命過程に於て、利用の見地より方法論として、これを承認なしてゐる。

卽ち共產黨宣言第二章に於て曰く、「共產黨の直接の目的は、總て他の無產階級黨派の其れと同樣に、無產者の一階級の形成であり資本家支配權の覆滅であり、無產者による政治權力の奪取である」と、

此の多くの人々によつて屢々引用される「政治權力の奪取」とは、いふまでもなく其れ自體が目的と誤解されて、現在國家內部に「純粹デモクラシイ」の實現をはかることを意味するのではない。さうすることによつて、現資本家國家に無產階級國家を置換へることの手段たらしめようとするにほかならない。換言すれば新しい社會を招來する爲めの一手段として其れは、無產階級の政治に參與することを是定せるものである。されはエンゲルスは、マルクスの「フランスに於ける階級鬪爭」の序文で、獨逸に於ける普通選擧發達の狀況を批評して、「獨逸の勞働者は、其の事實に加ふるに、最も强力な、最も訓練された、最も急速に增大する社會黨として、自己の赤裸な存在をかたちづくつたといふ第一の功績以外に、更にまた第二の偉大な功績を示した。卽ち彼等は、吾々が一般投票權を、如何に行使す可きかを、明白になせるが故に、彼等は總ての國の同志に、一個の新しい、最も銳利な武器をつくり與へた」と說き「既に共產黨宣言は、普通選擧の、民主主義の獲得を、戰鬪無產者の第一の而も最重要の問題の一として布告なした」と說き、更にまた「彼等は選擧權を、フランスのマルク

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ス派綱領の言葉で言へば、「當初に於ては欺瞞の手段に過ぎざりしものを、解放の道具に變じた「のである」と述べ、普通選擧の利用が無所階級にとつて甚だ有利にし、無視す可からざるものなること認めてゐる。

「家族、私有財産及國家の起原」は千八百八十四年に出版されたものであつて、この序文の方は、それより十一年後の千八百九十五年に發表されたものであるから、時間的に考へ、前者が後者を否定乃至改說なしてゐるといふやうなことは、全然あり得ないことである。のみならず、理論上否認なすと雖も、利用の見地よりしての承認が、確定的なるものなることはレーニンが屢々引用してゐるかの部分に次いで、エンゲルスが尚「然しながらそれは充分である。勞働者の間に於て、普通選擧の溫度計が、それの沸騰點に達するの日に於ては、資本家階級と同樣に彼等は、何をなすべきかを悟るであらう」と說いてゐることによつて見ても、ます〳〵明白である。

三

然らば今や日本に於て、やうやくこの普通選擧が實施されるに當つて、吾々が如何なる態度をとるべきであるかといふことは、自ら判然する。それが甚しく季節遲れの感があるにせよ、日本が資本主義生產の變態的發達を遂げたものである限りに於て、吾々はそれを、社會進化の一過程だと見做さゞるを得まい。而して吾々の手に殘る最後のものは、如何にそれを利用することによつて、「欺瞞の手段を變じて解放の道具」たらしむべきであるかといふ實際問題である。

然しながらこの種の實際問題は、その社會の生產組織發達の程度によつて支配されるものであらうし、またフオスターが曾て說けるがやうに「外からのみではなく內からも」といふこともあるしするのだから、それは必ずしも理論が示す直線上をのみたどることなく、非常に複雜を極はめることであらう。兎に角吾々は、レーニンが說けるがやうに「非常に多く」を、それに期待することが出來ないとしても、日本の從來の社會運動が、あまりに純粹で、あまりに狹量であつたことに氣付ける者は、その反對をそれに期待することだけは出來ると思ふ。議會を通して乃至は從來の小規模宣傳機關よりは遙かに大規模な宣傳機關によつて、一般社會に、何らか社會主義的な思想が分布される時は、少くともそれは社會主義を、火つけであり、握り飯の奪取であり、毒藥流してあるといふ汚名から、救ひ出すこと位は出來ると思はれる。たとへそれが、「純粹デモクラシー」の美しい幻影を現出して、多少民衆の生氣を奪ふ弊害を伴ふと假定しても、若しそれが、しかく民衆の敵であつた社會主義を、民衆の味方としての社會主義に置換へるだけの仕事を果すなら、その功績は實に偉大なるものであるといはなければならない。かくてこそ、はじめて二千か三千の定連から、「民衆の中へ」の社會主義の轉向が實現されるのであつて、その時、それは日本の社會運動史上劃時代的なものとなるであらう。(一月二十四日)

俸給生活者と社會運動

樋口弘

一

近世資本主義社會は次第に直接相互に對立さる資本家階級と勞働階級の階級對立を激成したと同時に一方に於て膨大なる中間階級の大群を生んだ。此の中間階級とは大部分の俸給生活者(使用人、官吏等)と自由職業家(開業醫、辯護士、著述家、藝術家等)の一部である。

在來の中間階級封建的資本主義初期商業資本主義時代の家內工業家、手工業者、商人、しもたや、中農等は最期資本主義の大機械制生產、大金融機關、資本の集中、機能の複雜さの爲漸次崩壞消滅するであらうが其の跡へは新なるそれにも增して膨大なる中間階級が發生する、從つて舊來の中間階級と新しき中間階級はその發生の原因からも、生產行程の役割も、その意識心理も全然別物である。舊來の中間階級の滅亡するのは、マルクスが六十年前にも書いた通り、史的必然として歷々として我々は日々その現字を見る所であるけれども新中間階級は滅亡する所か增大する事は常識的に見ても正しい。新中間階級の增大とその階級的結成と思想心理は直に勞働階級の獨立的解放運動にも種々なる影響を與へる。

今や我國社會運動は國に共同轉換を主張して、從來の潔癖なる少數分子の鬪爭も脫し、政治的行動に進展しようとする時、中間階級の發生と、その現在勢力、心理、思想の常識的な斷片による事も又意義ある事であらう。

二

土地に根據を置く封建制度が漸く德川の中期から衰へ最大の經濟的財物たる値價から先ひ始めると新しい高等經濟、貸與經濟、都市經營が重要さを帶びて其處に新しい町人階級なる階級が生れて來た町人階級とは近世的ブルジョアの先驅である。町人階級の中にも又、經營者たる主人、旦那樣に所屬して、番頭、手代、丁稚、子供等の被支配階級が發達した。けれども之等の被支配階級も士農工商の格段的に區別された德川期に於ては左程の重要さを以てゐなかつた。そして又經濟機能の發達も遲々とした當時に於ては階級反對をも鮮明でなく、所謂「のれん分け」と稱して或年限に達すれば自らも支配者たり得るが故に、階級の鬪爭なんて思ひも寄らない事がなかつた。

土地經濟に代る新なる商業經濟の發達は徐々に投資經濟の舊經濟

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

に對する闘爭を續けつゝ最後の急速なるドタン場を待つてゐたそして遂にそれが來た即ち明治維新である、明治維新は正しくブルジョア革命である。土地資本と商業資本の闘爭、そして商業資本の勝利なれども注意しなければならぬ。

模範的なブルジョア革命たるフランス大革命は封建的土地資本と封建的政治制が漸次凋落し、一方に機械工業が發達してそれを統制するブルジョア階級が生れて、遂て革命的ブルジョアが封建制度に一撃を加へた爲フランス大革命が起つた。日本の場合には勤王討幕等の合言葉の中に、又心理學の發達の中にブルジョア革命の心理的基礎が暗々裡に必至的な推移を示してゐたけれどもその火をつけた物は革命的ブルジョアでなく二三の下級武士階級であり、その行動を促進したのは米艦の渡來による外國資本主義の強壓である。明治維新後、日本は三百年間の鎖國より解き放されて國際場裡に泳ぎ出した瞬間、四民平等の自由の空氣は漲つた。國際的資本主義の監視の中に置かれた日本に外國流の最期の資本主義の鍬を入れた者は又多く明治維新の行動者たる士族階級であつた。從來の町人階級は甚だ蓄積的、消費的であつても三百年鎖國の中にあつて經濟的擴張も少く、冒險な企業心も無かつた。從つてこの缺點を補つた物は嘗て金を發した士族でありそれに近世的なブルジョアとなつた新中間階級も多くこの、武士階級の中に發見される。

三

俸給生活者の發生とその機能は何か。

大企業組織の發生と共に、生産過程に於て筋肉勞働と頭腦勞働が分離して、そのために企業を組織整理して、一方に筋肉勞働者を統率する使用人階級が生れた。即ち俸給生活者とは資本主義的企業内部に於て、剩餘價値を搾り出し、整理し、計算する機能を持ち、資本家の掌中にあつて筋肉勞働者を壓迫する階級である。而も彼れ等は「賃銀」の代りに「俸給」を取る勞働者である。

この二つの性質、資本家のお先棒たる性質と一般無産階級たる性質と全く相矛盾した二つの性質からして俸給生活者は甚だ混亂した意識形態を保持してそれに生活運動にも反映する。彼れ等はそのために自らをあざむき、敢て見くびられて來た。

四

我々俸給生活者の發生の源流を尋ぬれはその多くは武士階級（士族）に發見される。その原因は四つ程數へられる。

（一）ブルジョア革命たる明治維新が變態的て革命の當時者は武士階級であつた。

（二）舊來の町人階級の商業的資本主義の發達が幼稚でその使用人までが發達分化してゐなかつたこと。

（三）外國流の資本主義機能を眞似るべく町人階級は餘りに消極的退嬰的であつたこと

（四）土地とその經濟的財物を離れた爲め行き處がなく、從來の機能によつてお上品だつた爲めに皆俸給生活者に向つたこと

初期の俸給生活者は一方に新興ブルジョアに愛撫され、他方人民によつては張り無き尊敬と憧憬を以てせられた「官員樣」「月給取り」等と云ふ名稱で唱へられ、その當時の小説詩歌の主人公でもあつた。我國に於ける實業界の覇者と多大の俸給生活者を輩出した慶應義塾には士族の子弟が蝟集した。義塾の創立者たるブルジョア民主主義の始祖たる福澤諭吉も町人士百姓の息子を卑しめた言葉を叱つてゐる。其他俸給生活者養成所たる官立の諸大學校士族の子弟を以て充たされた。斯くて初期日本の俸給生活者は革命的ブルジョアに附屬して舊來の武士階級の需要をもつた。彼れ等は、その素性があるのと、なにかの機會にブルジョアに押上る希望があるので常にブルジョア的な尊大と權威を以て臨んでゐた。

五

明治十五年頃より全國の天地を席捲した。自由民權運動ブルジョア自由主義運動の行動者、參加者新舊中階級も不平士族、不平町人であつた。その運動の中心であつたのは封建的ブルジョアに反對せる俸給生活意識でありその思想は彼等の要求と希望とをもて其運動を押しこんでゐた。斯く初期日本の俸給生活者は希望と莞爾を以て充たされてゐた。日清日露の兩役は日本資本主義の跳躍期であり資本勞働の二大階級の對立の分れ嶺であつた。勞働運動、社會主義運動に筋肉勞働者は最初の喚聲を上げてゐた。

けれども未だ俸給生活者には生活の憂ひなく失業の驚威なく、彼等の地位は漸々、ブルジョアに對する忠誠を勵んで居た。

俸給生活者の數が増大した事には今確な統計がないが増大した事は常識的にも想像されたかくて明治の時代は暮れた。明治の末期に至ると俸給生活者の間には既にブルジョアジーに對する封建的な忠誠も消え、一般人民に對する權威も無くなつた。ブルジョアジーに押上る希望が消えると同時に小ブルジョア的な時には世紀末的な空氣が横行した。既に又此の時には俸給生活者の需要は封建武士士族階級を脫して都市市民の中から現はれて、相待的な職業に一部はなつてゐた。

六

明治の四十五年は暮れて新しい大正の聖代は來た、資本主義は益々完成し押固められて、最初より帝國主義的であつた日本の資本主義は中歐の大戰爭騷ぎを機として帝國主義の鋭鋒は東洋（山東省）に閃いた。歐洲戰爭は日本資本主義の飛躍期であり、完成期であり、そして又沒落期でもあつた。日本は先づ青島省に出兵してその一角を完全に日本帝國主義に所屬せしめ、鐵道鑛山を得、工業原料を獲得した。一方に歐州の強國が戰爭に疲れてゐるドサクサ紛れに、獨逸・英吉利西の東洋に於ける既成

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

物然を奪つて、商品資本の輸出、植民地の經濟的收奪を完全にした之にともなつて又工業は發達し、紡績業以外の鐵工業、造船業、機械工業を生み、日本の資本主義は空前の盛況裡にあつた。

世は一代の好景氣の中にある時資本、勞働の二大階級の對立は劃然として、勞働階級はブルジョアジーに對する闘爭の準備を備へた一方に、ブルジョアジーは封建の特權分子を驅逐し、若くはそれを同化して、少數金融資本家の獨裁政治をほしいまゝにした。今迄浮動的な階級的結成力を持せ得なかつた俸給生活者群もそこに新なる必然の軌道に歩み立たさた。

けれども大正三年より大正七八年に到る歐州戰爭當時はある意味で又過渡時代の俸給生活者の黄金時代であつた未曾有の不景氣はブルジョアジーの忠實たる番犬たる彼等に莫大な「お金」を投げた。增給、賞與十割、手當何割にあつて帝劇、三越、自動車、温泉等持前の小ブルジョア根性をそれによつて發揮するに遺憾なかつた。既に封建的な性格と生活の消失した彼等は小鳥の如く蝶の如く或ひは「藝術」を賞味し或ひは「新例」を推賞し「蓄音器」を盛んに世紀末的な空氣でもて遊んだ」

七

大正七八年は世界的に無產階級擡頭期であつた、ロシア革命が成功し、獨逸、墺太利の帝政が顚覆して、戰時中支配階級の杯盤に醉はされた無產階級は一度に立つた日本に於ても一方に勞働組合が續出擡頭し、ストライキが頻々として起つ、一方には又社會主義的思潮を含有せるブルジョア、デモクラシーの大波が押せた、此のデモクラシーの思想は世界的無產階級の擡頭と自己生活の刺戟が手傳つて比較的俸給生活者の腦裡に深く燒付けた。そして勞働運動に於ける壓迫・喚醒は俸給生活者の耳に强く打ち響いた人道主義民主々義社會主義、彼等の一部は「指導者」として階級戰の前線に飛込んだ又これとは別に「俸給生活者組合」の模型も出來上つた。此の時は日本に於ける社會運動の黎明期である。活動期であつた、勞働階級と中間階級も一線に立つた時であつた。所が大正九年歐洲大戰終了から見る反動的恐慌は怒濤の如く日本に押し寄せん。戰時の好景氣に醉つた國民に非常な打擊を與へた會社商店の倒壞は相次ぎ、工場の閉鎖も又頻々として行はれた。世界的進展の潮流に乘つて階級闘爭の陣營を進めた自覺せる勞働階級の闘爭、經濟的闘爭にも勝利の希望がはかなくなつて來た。

勞働階級の闘爭も防禦的となり勞働組合戰線內部の整理が行はれて、泡沫組合が影を隱すと共に、殘れる組合は明確なる階級意識に健全なる發達の道をたどつた、組合內部の純化を、觀念思想の沒落が現はれて勞働組合の「指導者排斥」の聲が現はれた。組合內部に於ける知識階級の排斥と俸給生活者組合の沒落は俸給生活者中の少數前衞分子を殘して多部分は中間的な「超然」階級として殘された。ダダリズム、表現主義俸給生活者は日々生活の脅威に襲はれながら再び世紀末的な空氣の中にあつて「アナボル闘爭」の芝居を初めた。

八

大正十三年九月の大震災は日本の無產階級運動に直接間接の衝動を與へた。軍隊、警察、「民衆」三角同盟の社會運動に對する無理解と壓迫、一部の無產階級團體の轉化と消滅、之等の事件は大震災直前から唱へられた方向轉換をより切實化ならしめた。更に急激に展開した經濟的恐慌は勞働階級經濟的闘爭に於ける勝利の希望を薄弱にし、無產階級は飢餓と失業の間を彷徨した。その間に築き上げられた勞働組合は思想的には純化し、組合の組織と訓練とを基調としながら更に未組織の無產大衆を抱擁すべき時期に達してゐた——即はち從來の潔癖な態度を押へて現實的積極的主義を基調とするに至つたのである。又一方には二三年來急激に勃興せる農民運動と水平運動との此の三大戰列を抱擁して進む新しい目標——即はち無產階級政治運動の要求が濃厚になつた。戰線の擴大と政治運動への進展——基礎から新しい俸給生活者の問題がおこつて來た。

國內原料は既に盡き、國市々場は飽滿してゐる。米國、支那には排日の火の手が擧がり、帝國主義的侵略の餘地はない。日本は既に根本的行きづまりの狀態にある。俸給生活者も一般無產階級と同樣に失業と飢餓の線上に置かれてゐる軍備縮少行政整理、幾万かの忠僕の夢は破れた。

四方には又喚聲を上げる勞働大衆がある。大衆的行動へ、——政治的運動へ、俸給生活者は今、曾ては蔑視し、壓迫した勞働階級と握手して戰線を加はるべき時期に達した。

俸給生活者よ團結せよ全無產階級と共に

捲土重來の日

我れは櫻田雲助、その昔水戶の浪士が井伊大老を討ちしてふ櫻田の近邊に、朝な夕な無產階級の駕籠かつぐ。

雲助思ふ仔細あつて最近「進め」社に身を投ず、この雲助別に野心あるに非ず。その心むしろ「方丈の庵」に住みしてふ世捨人にも似たり此處に落付きし心むしろ隱遁に近し。

雲助一つの運命觀を抱く。必しも唯物史觀に非ず。雲助經濟學や社會よりは生物學哲學に興味を持つ。されば雲助の運命觀を形づくるもの寧ろ「メンデルの法則」であり「機械觀」である

けれ共雲助そこから又新なる冷火の焰の燃ゆるを見る。雲助或はテロリストに近からんか。

雲助元よりマルキンズムを採るけれ共雲助の好む人間は寧ろアナキストに在り。今日本に於て、自らボルシエビキーと稱し、コンムユニストの稱する者、大方はその上のアナキストサンヂカリストの變節漢なり當時性質狡猾陰險の徒大むねボルに走り、孤城落日を守る、愚直清廉の徒止りて、落ぶれて袖に淚のかゝる時ぞ人の心の誠ぞ知らるれ。

雲助これより「進め」社に止りて大に戰はんとす。雲助が半生の望みたゞ何人にもあれ、惡逆無道なる者を鏖すに在り。豈それ支配階級のみに止まらんや、民衆の名に於て民衆をかたる者又然り。

「進め」社近狀頗る壯烈なるが如し。乃に殉志殉情の士次第にあり捲土重來の日空想に非らんか。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

近世社會主義史（六）

無政府主義とサンヂカリズム

春田正

無政府主義

無政府主義（アナーキズム）と社會主義（ソシアリズム）とは此迄密接な關係を續けて來たが、現在では決して同一視すべき性質のものでもないし、又その理論上に於ても甚だしい相異があり、寧ろ往々にして反對の傾向をさへとる。

無政府主義の始祖はプルードンであるが、それを傳へその理論を組織立てる上に最も貢献をした使徒はミカエル・バクーニン（一八一四―一八七六）であり彼に次いで無政府主義の有名なる指導者となつたのはペーター・クロポトキンである。玆に世界革命史上に表はれた面白い現象はこの二人の偉大なる無政府主義者が共にロシアの最高貴族の出であるといふこと殊にクロポトキンは前露國皇室に繼ぐ家柄であつたといふことである。

バクーニンは一八四八年の革命の年に最初の活躍舞臺を見出したがその後は次いで起つた反動政府の勢力の下に實に陰慘た月日を過した。投獄と追放との光榮が事毎に彼を待ち受けて居た。斯くして一八六九年に至りバクーニンは國際社會民主同盟なるものを創つたが間もなく解散となり、同年バクーニン一派はインターナショナル（マルクス等の）に加入することになつた。一八七二年ヘーグの會議に於てマルクス派と衝突して除名されるや、バクーニンは別にインターナショナル、アナーキズム（國際無政府主義同盟）を創設し、後年專らそのために盡瘁したが一八七六年配所の空に無限の思ひを遺して此の世を去つた。

無政府主義は唯物論に基礎を置く革命的社會主義である。即ち彼等はあらゆる手段に訴へて外部の權力の勦滅を期する。彼等は絶對的個人の自由を尊重する。一切の外部的壓迫に對しては總て之を排斥する。『社會的法規は強制的のものである必要はない。強制的でなく教育的に各個人が完全に自己を最も容易に發揮し得るやうな機運を、表示する程度に限らなければならぬ。』元來人間の自由は自然法に從ふことによつて始めて成立する。自然法は又科學の發見を待つて確立される。そして科學の知識が一般に普及されると人間は自然法に從はざるを得なくなる。何となれば、人間も亦自然の一部分であり、從つて自然法は又彼自身の性質を示す法則でもあるからである。斯くて彼等は國家の廢止を主張する。國家は人爲的なものであつて人類の發達を阻害するものである。社會問題解結の最後の鍵は人類を國家（或は政府）から解放することである。即ち人類社會の『癌腫』である國家から社會が解放されゝば後には自然法のみが殘り、自由の樂園は開かれ相互扶助の基礎の上に光輝ある人類生活が初まるといふのである。

經濟上に於て無政府主義者の欲する世界は村落共產的自治體である。そこには金持もなく貧乏人もない。總ての人は自分のために働き、生產要具は仕事をするに必要なだけを所有する。一般自由主義者のいふ個人の自由は私有財產を認めることによつて存するのであるが、無政府主義者のいふ個人の自由は少數者によつて多數者の自由が害はれる私有財產及其他の撤廢によつて生ずる。

扨て然らば無政府主義者は彼等の胸中に描ける理想社會を如何にして實現しようとするのか。それは彼等の計畫を妨げる一切の政治的及社會的制度を性急に一掃し去ることによつてである。彼等の革命主義は我々の前に示した計畫を我々の前で直に實現さす爲に努力するのである。

斯くて無政府主義と社會主義との相異點は明かである。無政府主義は經濟的革命を要求する點に於て社會主義と共通するが、その革命の精神及方法に於て社會主義と異る。前者は國家を直に廢止することを主張するが後者は將來に於ける死滅を信ずる。即ち無政府主義は性急な情熱的革命によつて政治的權力の廢絶を期し、自然法による地方分散的な理性的社會を直に持來らさうとするが、社會主義は科學的進化主義に從つて政治權力の運用及集中的經濟組織を主張する。併しながらその目的に向つてこの努力の初めに於ては兩者の間に一脈相通ずるものがある。從つて最初社會主義が時の政治的及智的勢力に對する單なる反抗であつた時分は、社會主義と無政府主義とは戰場に於て互に手を取合つて進軍したが、此等の時代が段々過去の事柄に屬し初めるにつれ兩者の間には對立が起り、同盟は不可能となつて來る。

元來無政府主義は周圍と國民性の產兒である。無政府主義は『總ての政府は惡である』といふことゝ『產業は組織なくして行ひ得る』とする二つて假設の上に基礎を置く。此等の假設の生じたのは無政府主義の偉大なる使徒の生れたロシアの當時の事情に影響されてゐる。即ち政治上に於ては惡政府の下に苦しみ、產業方面に於ける彼等の信念も亦當時のロシアの地方自治的村落より來る實見談である。從つて無政府主義の盛んになつた國は東及南ヨーロッパの惡政府とその實見談の首肯し得られるアメリカだとかイギリスでは深く根を下すことが出來なかつた。バクーニンの思想が當時の南ヨーロッパに及ぼした影響は多大であつた。一八七三年のスペインに於ける叛亂はバクーニンの活躍に負ふ所多かつた。イタリーに於いても亦彼の思想は非常な勢力を持つに至つた。バクニンの思想又フランス及フレンチ、スイツアランドの近世社會史上に消す事の出來ない印を留めた。一八七九年頃無政府主義の宣傳はリヨン及產業都市を中心として行はれた。一八八二年のモントキユーレ鑛山の鑛夫一揆は政府及警察の小膽孔に燒きつくはかりの注意を集めさした。そして此の時國際無政府主義の主張

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を有する六十六人の有名なる人物が告訴された就中クロポトキン、レクルス及ラプロフ等は特に近世に於ける無政府主義者中の偉物であつた。

無政府主義は一般に暗殺と暴力、爆弾と凶器を連想させるが、必ずしも爆弾と凶器の児子ではない。無政府主義の史的理論が時の權力者の〇〇と關係があるのは確ではあるが、暴力否定、無抵抗主義を唱へたトルストイの如きも矢張國家の强迫と理性の威力を信じた無政府主義者の一人であつた。

現代の社會組織が多くの弊害を示し、現代の法律が〇〇奨勵であることは吾人の共に首肯する所であり、無政府主義者の唱ふるが如く、能力と趣味による職業の撰擇も、甚だ結構であるが、可能不可能が先決問題である。吾人は理想社會は性急な法律の放棄と政治權力の廢止の廢墟から建設されるものではなく、却て法律の擴張により政治權力の運用によつて到來すべきものであると信ずる。欲する所に從ひ、要する所による經濟的自由分配に至る地點迄にはまだ可なりの道程を踏まねばなるまい。

一八八二年以後數年の間、所謂共産的無政府主義者と稱する一派がイギリスの社會主義運動の中に一勢力をなし、この主義はロシア、スペイン、イタクヤ等へ流れ込むに至つた。併し間もなく此の運動は衰へて來て二十世紀の今日では殆んど耳にしなくなつた。所が此の無政府主義の廢墟を突き破つて澎湃たる新運動がフランスの地に新芽をふいた。即ち新しく、ヨーロッパ人士の耳に異常の驚愕を齎しつゝあるサンヂカリズムの運動之である。

サンヂカリズム

サンヂカリズムといふ言葉はフランス語でイギリスのドレード、ユニオン（職工組合）に對する言葉である。サンヂカリズム（革命的勞働組合主義）の運動はフランスに初めて起つたものであつて、經驗上政治運動の頼むに足らざるを知つた所の勞働者が、勞働組合を通じて同盟罷工や怠業の手段によつて社會革命をなさうといふのである。イギリスにもあつたことであるがフランスに於いても「八四八年の革命の後團結禁止法といふものが布かれてゐた。併し乍ら時勢の進運はそんな怪物の嚇しに影を絶つことは出來ない。フランスに於いても法の下を潜つて幾多の勞働組合が組織された。しかし眞の勞働組合運動が現はれたのは一八八四年その禁止法が除かれて勞働組合の團結が公認されて以來のことである。

フランスの社會運動は二方面に發達して來た。一は政治運動であり他は之を併行して發達せる政治運動を排斥し、或ば政治に超然たる革命的運動である。

サンヂカリズムの運動の曙光の現はれたのは一八八六年に創られた勞働組合全國聯合會であらう。しかしそれは初め殆んど社會主義者ゲエドの掌中に握られてゐた、所が茲にその反對黨アルマン一派によつて他の勞働組合の聯合會が出來た。勞働取引所聯合會が即ちそれである。勞働取引所といふのは初めは勞働者と雇主との間の需要供給の道を講ずることを職分としてゐたが後には勞働組合の中心となり、勞働者の集合、教育に力を致すやうになつた。この二つの聯合會の合併問題は創立以來屢々起つたのであるが駄目であつた。

勞働組合聯合會はその後非常に發展して一八九四年には加盟團體二千百七十八、その人員總數四十萬六千四百四十一人と數へる迄になつた。同年聯合會は會議をナントで開き、多年問題となつて居た總同盟罷工の決議を通過さした。それと同時に同盟罷工に反對の態度を持して來たゲエド一派は身を引くことになつた。斯くて一八九五年には同聯合會は新しい名前と組織とを採用することにした。勞働總同盟が之である。之は一般にシー、ジー、テーと呼ばれ、サンヂカリズムの組織立てられた運動の最初として見らるべきである。

一方勞働取引所聯合會も、その後共産的無政府主義者であり、優秀なる頭腦の持主であり、且又フランスが生んだ最も有能なる勞働組合組織者であるフェルナンド、ペルチエの努力によつて發達して行つたが遂に一九〇二年シー、ジー、テーに加はることになつた。

斯くてシー、ジー、テーは一八九九年一切の政治團體と手を切つて以來非常なる發展を見るに至つた。

シー、ジー、テーは一九〇六年以來度々同盟罷工を起し、色々な程度に於いて成功を收めてゐる。詳細のことは後で述べやう。

何を措いても我々の知りたいのはサンヂカリズムの要素である。

サンヂカリズムは勞働組合主義と無政府主義との合の子である。而してマルクス主義がこれに二三の養分を與へてゐる。

サンヂカリズムは勞働組合主義からは勞働階級の救濟は政治によつてではなくて、自助即ち、彼等自身の産業組織によつてのみ達し得るものであるといふ考へを取つて來てゐる。又無政府主義からは革命の道德的信念を借りて來てゐる。否寧ろ繼承してゐる。サンヂカリストは云ふ。ストライキは例へ成功しようが失敗しようがそれ自身善である。何となれば、それは全階級の幸福のために報酬なしに自分自身を犧牲にするからである。

將來の社會に對する彼等の考へは無政府主義より一歩出たものであると云はねばなるまい。而も嚴に興味多き考へ方である。彼等の說く所は斯うである。我々は我々の知つて居るやうな政府は排すべきであり、財産に基礎を置く全産業組織も亦同樣に破壞に附すべきである。併し乍ら將來の社會を支配すべきものは地方的共産團體ではなくて職業を基礎としたものでなければならぬ。即ち將來の社會に行はるべきものは現在に於ける社會運動の擔當者であるサンヂカリズムの組織であると。即ち各個の勞働組合が合してそれぞれの聯合會を作る。而して其各聯合會の中心に勞働取引所が存在してゐるといふその形式は將來の國家が採るべき形式であるといふのである。又サンヂカリズムは無政府主義と共に軍國主義には徹底的に反對する。何となれば軍國主義は資本主義國家と相待つて專ら財産保

護に用ひられ、特にサンヂカリズムの運動の最大武器である總同盟罷工を破るからである。

斯くてサンヂカリストは發溂たる活氣を以て斷然たる鬪爭の幕を切つて落す。サンヂカリズムは理論の產兒ではない。小數者の頭腦を藉りて現はれた科學的豫言でもない。彼等の運動は經驗の胎兒であり、勞働者の意志、活氣、行爲をその基礎とする。『彼等は歷史に頼らんとするものではない、自ら歷史を作らんとするもの である』とは有名なるサンヂカリスト、レオネの言葉である。

斯くして彼等は鬪爭の武器として同盟罷工を選んだ。同盟罷工は無產階級をして彼等が資本家階級と反對の位置に居ることを繰返し彼等に知らしめるといふことに於て甚だ重要である。罷工する度每に無產者階級と有產者階級との相敵視する狀態は新に起つて來る。而も外では階級戰を行ふと共に內では常に連帶の念、犧牲心、活動力を誕生する。中でも最も効果の多いのは總同盟罷工である。卽ち總同盟罷工では組合成功だとか自分等の組合の利益的政策だとかいふ樣な狹い量見は全然姿を消して無產階級として純乎たる階級戰の舞臺に立つ樣になる。次にも一つサボタージを忘れてはいけない。サボタージとは工場の設備、機械等に損障を與へてその運轉を不可能ならしめ、或は怠慢して仕事の進行を阻止することである。

サンヂカリズムの爲に智力と思考とを供したものは少くなかつた。その主なる人物にジョージソレルがある。彼の學說はソレリズムの名がある。

サンヂカリズムは無政府主義と勞働組合主義との合の子であるから其の兩親の揃つた國で年々盛んになつた。それは第一にイタリーへ入り込んだ。そして忽ち全國に傳播した。そして此處にも偉大なる代辯者アルツロ、ラブリオラ、エンリコ、レオネを生んだ。ドイツでは無政府的社會主義と稱するサンヂカリズムが一寸現はれたに過ぎぬアメリカへも入り込んだ。アイ、ダブリユ、ダブリユは卽ち之である。イギリスではトム、マンといふ熱心なサンヂカリストが居り、社會勞働黨に於てもその教義を說いたがその信者は眞に少數であつた。一九一三年ロンドンで國際サンヂカリスト會議が催されたが其の後の消息は耳にしない。

サンヂカリズムの教義中に眞に卓越せる思想を藏する。その發溂たる活氣は智養の中で沈滯してゐる現在社會主義界に多くの刺戟と淸涼劑とを與へる。只そのどの程度まで可能なりやはその社會的事實と照し合はして吾人の三題を要する點である。（未完）

夕闇のなかに

……貧しき少年少女におくる詩……

畑村吉雄

街の店々には赤い灯がまたゝいて
家の軒には鼠色をした夕闇がせまつてきました。
露路の奥のきぬちやんの家には
その破れた障子の隙間からは……
未だ
いつものような薄ぐらい五燭の電燈が點きません
まつくらな家のなかからは
すりきれた疊の上にうち伏してきぬちやんのすゝり泣く聲が
細々とながれてくるだけです
どうしたのか？　おきぬちやん
あなたは今日もまた電話局を休んでゐましたね
きつとお父さんの病氣がひどくなつてきたのでせう……おきぬちやん
三十五年働らきつゞけたきぬちやんのお父さんは
すつかり疲れて年寄つてしまつたので
たつた十五圓のお餞しをもらつて三十五年も勤めてゐた役所を免職させられてしまつてからは
ほんの十四の少女の身體できぬちやんが電話局に勤めて父子二人が暮してゐたのです
——おきぬちやん、どうしたのです！
えゝ……
…………
あゝおきぬちやん
……あなたはたつた一人になつたのですね
ひとりぼつちになりましたね……
おきぬちやん
私はあなたのお母さんの亡くなつたときのことを思ひ出さずにはゐられません
あなたのお父さんは
三十何年も勤めてゐるお役所からはたつた三十五圓の月給で
病氣のお母さんには餘に藥を飲めせることもできませんでした
そして、三度の御飯を缺かしても
毎月きちんと納めてゐた家賃をたつた一月滯らしたと言つて
强慾な家主は布團をはがして持つて行きましたね
……病氣で寢てゐるお母さんの布團を！
お母さんの亡くなつた時
あなたのお父さんも、あなたも
幾日も幾日も泣いてゐましたね…
…悲しくつてではない
情けなくつてではない……呪はしいものだ
この世の中が呪はしいのだ——と
あなたのお父さんは言ひましたね
きぬちやん、あなたは決してまだそれを忘れてはゐないでせう
……それに今はもうそのお父さんも亡くなつたのです
一生を働らきつゞけて
骨も肉も血も魂も殘らずけずり取られてお父さんは死んで行つたのです
——おきぬちやん……あなたはかなしんで泣いてゐるのはもうやめなさい泣いても泣いても
世の中はあなを幸福にはしてくれません
——おきぬちやん
あなたは女　……あなたは美しい
……さあ笑つて
笑つて世の中へ出て行かうではありませんか笑つて世の中をねどり廻つて
あなた達を虐げる世の中の男たちから
骨も、肉も、血も、魂も、笑ひながらけずり取つてやらうではありませんか
この貧しい人々をしいたける
この弱い人々をしいたける
おそろしい人々の群の鬪を笑ひながら
命をけずり取つて笑つてやらなければならないのに
——おきぬちやん
いつまでもしくしく泣いてゐるのはやめようではありませんか
あなたは女だ、美しい少女だ
さあ！　笑つて世の中におどり出さうではありませんか
……笑つて歸つてくる時を、勝つて歸つてくる時を思ひながら…
あゝまつくらな空には星が出てきました
——あすはお天氣でせう……

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

農民活躍史

—伊勢農民暴動の回顧—

八代殊雄

一

さすが明治維新の改政は下層民の心に「俺達も人間であつたのだ」て俺達は如何にして生く可き乎を覺らしめた。その思想を深く強く核心に刻印しつけてしまつた。

これまで百姓達は七月土用に田の草を取つてゐる時勿論額からは玉の如き汗は流れ顔面は日にやけて飽まで黒く、見せはせないが背中の皮は三四枚位ははぎとられたと見受ける頃御容赦もなく御通行なされる御殿樣を見るとのこのこと田の畔に逢ひ上つて地にひざまづき丁寧に土下座をして行列の見えなくなるまで額を土につけてゐた。夫は人間とは見なし得ない龜の如き振舞であつて四ツ足がびりびり痛むのであつた。

これは固より大ざつぱな云ひ樣ではあるが萬事斯くの如くであつた、がそんな幾多の苦痛な事實は維新の改政と倶に撤回され影を潜めた。

人間として價値づけられ又人間たるの要求をなすべき意味に於て諸種の機關を通じての可能を實現される世は築かれた。

それは維新の改政であつた。武士封建制度の賜として社會のどん底に貧と鈍とに下敷されてゐた人間として認識される世がきた。そして俺達も人間だと云ふ聲を所々に聽取した。

それは維新以後であつた。

この革命後雨降つて地固しとの時代に馬鹿氣た程の百姓に酷税を課した。それよりして明治九年伊勢の小邑魚見に起りし不平の聲は一夜の中に伊勢全帶及近國までも鯨波の如く破竹の勢ひで瀰慢し義民中川氏出で目的貫撤せし社會大運動を記さう。

二

明治九年度に縣聽は廢止されて三重縣と合併したその時に委員を擧げ從來の米納を金納に制定された。

明治九年より金納にされたのは一石代價幹何と定められた。それが出來たのは同年八月だつた。その時に時の役人は米價が四圓內外であるのを(一石代價)五圓二十錢と見積りて地價の百分比三を課した。これを以前の米納に比ぶれば反當り約一圓餘の多額を納めねばならない高い割合となつた。

農民達の間には不平に不平が醸された。想ふに農民達は舊幕の苛酷に馴れてはゐたが明治の聖代にこんな馬鹿な事をされてはと滿腔の不平と憤慨とを極度に達してはゐたが、それに對抗させる何物をも見出す事は出來なかつた。

こんな馬鹿げた事、以前のお領主さんに米を納めた方がどんなによかつたんだら皆人間として俺達を扱つて下さると云ふに何たる事だらう聖代の恩澤は如期に於ける農民は大なる反感を抱きつゝも堅忍自重してゐた。

玆に飯野郡魚見村に中川九右衛門と云ふ人があつた。附近の農民の苦痛を慮りて恰度戸長の職にちつたのを幸ひにと農民達に舊の米納に復さん事を請願すべく訓した。さらば農民は時期が時期なら直に是に賛した。

中川氏は之れを奇とし自己を筆頭に署名捺印農民連署の上、第八區事務所豐原區長桑原常藏宅に委員三名と前記中川氏と請願旁々交渉をす可く出た。けれ共桑原氏は『そんな無謀な事が出來るもんか時機を待つて今日は此儘御歸りなさい』と謂へる返答であつた。四氏は歸村してこの報告をして中川氏は『再度懇請する方が宜からう』と力說したが農民達はそれまで、こんな事には躊躇ではなかつた。

誰れか區長へ乘込んで、たゝき殺せと呼ぶものもあつた人氣落雷群集心理は冷靜に熟考する事は不可能であつた。區長は腕に力こぶを振つて鯨波を打つて豐原に打寄せた。

三

此の擧を聞きたる近在の川島、久保、保津新開の農村を筆頭に元飯野縣農民全部は三々伍々隊をなしてきた。

その時豐原氏宅に押寄せ訓さられて今歸らうとしてゐた魚見區民は又引換へして共におしよせ強請せんとした。それ區長の返答如何によつては事を決し示威的大運動は將に開始されんとするの觀凄じかつた。

時は明治九年十一月十七日その總勢五千人、蜂の巣は切り捨てられた靜かに巣作らうとしてゐた蜂はある惡戲者につゝかれた蜂は各々尻に劍をかざして容赦も無くつツかかつてきた。

蜂の巣の破壞された時この群集の中には到底何者をす孤立する事は出來ない。熱狂的になる時には何物をも能さなければ止まない氣勢を見せびらかした。

桑原氏は事玆に到れば松阪屯所に、捕吏の派遣を訴へた。屯所では卽刻、吏三十餘名を豐原にさしむけた。そして直に十重二十重を圍む群集の解散を強制したがその時には農民の反抗大いに燃えて双方に口論起し遂には格鬪を演じ捕吏はカガトを返し赤ズボン服の後を見せた見苦しくもあつたが捕吏の撃退は切齒の體であつた。

反對に農民側は凱歌を奏して何物をも來れと泰山不動であつた。

この間は皆、豐原へ行け行かないものはたゝき潰すと云ふて、そして手には青竹槍をさげて首に鉢卷をせぶつてゐた。手には燃えしきる明火をふりかざして大聲で二三十名宛どなりこんで村々を廻つた。

遠くの農民達は何事かは分明せなかつたが『これ國家の一大事』とて各々手に明火をもやして我先きにと豐原へおしよせた。

みんな鹿皮の新しいのや股引の古いのをはいて草鞋はきて、而も顔面ひげの男達が火を振かざしたる形相恐ろしかつた。

四

總勢一萬餘。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

夜に入りて寒さに堪えかねて暖を取るべく、稗藁小屋に火をつけたがはじめとして處々に焔々たる猛火を渦巻いた。暴動、否運動は他動的に蔓延した。豐原を中心にして三手に分れて進行した。東行したものは宇治山田市に到り度會郡廳に着し師範學校及區裁事務所を焼き拂ひ、富豪の前を過ぐる時は「俺達の爲めにこんな慘憺な生活をしてゐられるんだ、それを知らずに俺達をいぢめるんだ敵は○○にあり」と云ふ調子で脅かしたり強奪したりあへてした。西行したものも之に劣らず、一は一志郡中部を横斷し安濃郡に入り津にて三重縣廳を襲ひ略した。縣廳はその勢力の侮るべからざるを知りて捕亡吏と藩士とをして鹽力岩田川に向ひ堅つた。それに擊退したる農民は安濃郡にある徒黨と合併して東行し桑名地方に入り引いて伊賀の國を侵した。

一夜の中に全縣下を風靡した。曾て飯野郡魚見に起りし不平の塊は蔽ふべく由なくして而も一夜を經ずして伊勢伊賀志摩尾西の一部を燒燼し盡してしまつた。かくて猛烈なる大示威運動は以何に農民が枯渇し望んでゐた目的の爲めに眼中何物もなかつた。取物の力であつた。想ふに全縣下一般の暴動は門は久居東は齋宮位であつた。其の他は附近の農民が雷同して蔓延した。案ずるに雷同者は主義主張は無定見であつてその行動のみを共鳴してあへて暴威の擧を逞しゆした。この意味からこの大示威運動は、暴動の汚名の蔽ふの不可能事であつた。然れ共、目的の爲に行爲を選ばず、とはそこに迅速があり達成の價値が認識する斯様のわけにて暴動は直に靜まつた。翌十八日魚見區民その他の共鳴者は櫛田河畔の豐原の荒木野に集合した。

此數箇所を合して無慮二萬餘人

五

その形勢は甚だ不穩であつた。が昨夜來の示威運動に辟易したる猜か藩士や捕吏は傍觀するの外餘儀なかつた。

けれ共同日夕方頃豐原區民は暴徒を多く集めてゐるものは昨夜來の二度舞を演ずるものとて、ひそかに語らひて「荒木野にゐる者達はこちらへ來て俟たれ、若しこなければこちらから行つて倶に事を計るから」と云ふ一策を考へた。手持無沙汰なる農民は來り行き如何と躊躇せる時も時なれば百萬の味方を得たる心持にてソレと斗り荒木野に向つた然に於て兩勢協議の上三重縣廳に最後の強制談判せんとて再び荒木野を出發した。玆に藩士捕吏は寧ろ行きては事大事と多數をあつめて松阪大橋に待構へて準備した。

大橋を前にしてその通路を遮斷せられた農民は勢ひあまりスワ御參なれ望む所と大いに戰ひ一大修羅場を展開した。

然り、事は衆の敵でない。その通路のみ遮られたるものなれば農に組せざる農民は濫に放火したり強奪したり又○○銀行に火を放つた。さしも○○銀行も歡聲怒號の中に燒失し炎々として猛火は類燒を累ねた。そして本町富豪は脅かされ、どなられ焚かれ慘鼻を極めた。

また一方地租制度は改正委員として之に參與したる委員を憎しみの餘り之を殺害せんとて各所役場に行き吏員に迫りて書類を焼き捨て私宅にも浸入してその主人の所在を白狀さすべくあれ散らした。松阪を中心としてありたる爲めに多大の損失は免れなかつた。

今某氏の如きは委員であつた、ため農民の襲撃を受けて止むを得ず檀那寺に行き袈裟を借受け身を雲水にゆだねて一志郡に身を忍ばせたとゆふ事であつた。

六

かくて十九日とはなつた餘徒又々荒木野原に集合した第八區と記せる赤旗は風に翻り四隣を風靡するの意氣は隅々としての中に臨議審した。同日午前九時頃三重縣廳より派遣せる工藤一等警部の指揮せる警藩士の來た爲に四散した。而しそれは何時までも戰ふ事は無用であつた意味からして決して當藩士の強かつた理は毫も見現はせなかつたが全く鎭定した。

稀有の大示威運動は仰山であつた。また大損害であつた。その一年中は到る所牛馬を飼育するに不自由を感じた。

かくてこの主謀者中川九左右衛門及參加したる農民は殆ど罰せられて獄に投ぜられた。而しこの擧に依り百分の三を納付すべきに百分の二半に輕減せられたるは特筆すべき目的達成の成功であつた。

大團圓を告ぐるに當りて獄につながれたる中川一派は後幾何となくして中途恙なく出獄を許された。それは勿論歡迎裡に。

七

その擧に依り紛擾をなしたる者悉く檢擧されたのは事件鎭定後直に着手された。そして村々へお達しが出た必ず村々から關係者を監獄へ送る樣に申渡された。

村々では色々監獄行きの人選を行ふ可く物議した結果村で十五人位宛の籤の抽籤で決行した。そしてその人達にそれぞれの手當を支給し、また開闢以來未曾有の例を見ざる嚆矢の出來事日當賃銀を貰つて監獄に行く村とあつた。

その時鯨波を作つて凱歌をうたつて意氣堂々と十三餘名の被告は見事であつた。

當局は收容す可き牢舍もなし、取敢ず津藩主藤堂家米倉に之を充當した。

その時組織立つたる監獄も判事も無し勿論辯護士などは更になし判官は誰であるか被告達は判らない「えらい人だらう」と思つてゐた人達に依つて豫審は處理されて行つた。

豫審廷にある時その看守は百姓を除くの人即ち馬車挽獵師商人その他不良漢であつた。二奴達は急にえらく成つた積か、こんな時にせなければ出來ないと思つた積か兎角いばり散らした。被告への差入ものは如何樣でもきいた。どし／＼持つて行く。すると看守は村々へお前の村は差入物が少いが澤山もつて來い。犯人も可愛想だし第一見込が惡いそれを聞いて直立つ村の役人衆は驚り強りのむすびとか餅とか菓物とかその土地の生産品を袴羽織にて持運ぶのであつた

それは被告の手に渡す可くもなくして大抵この不良看守の口に入つた。それをびく／＼平身叩頭し

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て摑んでくる位で請求はどしどしくるけれ共行きては無くなつたそれは行く都度怒られるから恐怖の餘りであつたと、か捨てゝも置けず結局それも抽選になつた。

かくて五十餘日を經過した頃彼等は釋放された。この時歸る路すがら、

「俺永らく家を出て行つたもんだからおばあさんの土産に何か買つて行くんだ」

—監獄のかへりに「土産」を買つてゐた人達も見受けた。

「おい一體何の事だい俺あ呑氣をしてきたよ」

路傍に佇んで居る澤山の百姓達は

「有難うお影で年貢が大變減つたよ」と喜び呼號の中に身を包まれて歸宅した。

編輯便り 櫻田

◇櫻田の一角より議會の雲行きを待つこと此處に十數日、雨か風か待てど暮らせど未だに音なしつぶてだ、どうせ、覺悟はして御座る。きれいさつぱりとやつて給はらう。

◇ほんに遽しい近頃だ。同人が西に走り東に走る。何をして居るか、風邪引いて時たまフラ〱出て來る私にはよく分らぬが、「治法」のことで出拂つて居ることは確らしい。十人以上も寢泊りして居る同人が、ガランとして一人も居ないこともあつた。まさか皆檢束されたんでもあるまいと思つて居たら、夕方までにボツリ〱と歸つて來た。

◇此頃の「進め」は「高級になつた」と云ふ惡評が高いので、今月號から直さうと思つたが、思ふ樣に行かなかつた。然しやがて着々直して行けるだらうと思ふ。同志諸君心付きの點はドシ〱注告して戴きたい。返事こそ出さぬが、感謝して讀んで居る。

◇「寫眞や報導記事を入れよ」と云ふ注告を澤山貰ふ。これは「進め」に於ても以前からの懸案なのだが、矢張り金や人の都合で實行し得ないで居た次第であるが今度は、福田氏が大阪より上京されたら早速相談して、是非寫眞器と自轉車だけは買つて貰つて、必ず實行したいと思ふ。

◇前號豫告の高畠氏と布施氏の問答欄は、都合上今回は載せなかつたが、次號からきつと開設する。同志諸君はドシ〱投書して貰ひたい。

◇無名の士の好い原稿を希望す。「進め」はその一半を割いて無名の士をして論陣を張らしむべきであると思ふ。好いものは如何に無名たるを問はず堂々掲載する積りだ。

◇只此處に寄稿同志諸氏に呉々もお願ひして置きたいことは、なるたけ平易に書いて戴きたいことである。「進め」の任務は、主として斯樣なる分野の開拓にある。社會主義を知つた人に讀ませるよりは、知らぬ人に讀ませる所に使命がある。私自身が稍もすればなまむづかしい文句を綴り勝ちの身で居ながら、斯く云ふのは甚だ恥ぢ入る次第であるが、惡からず諒解願ひたい。（石川）

◆

會計規約

會計係では事務の都合上右の如く規定を設けてありますから左樣御承知下さい

一、雜誌に關する問合せ又は注文等は必ず會計係宛になす事
二、住所氏名は明瞭に書く事
三、見本希望の向は切手十錢を封入して申込む事
四、誌代は成可く六ケ月分以上前納する事
五、集金郵便、代金引換郵便等にての送金は斷る
六、誌代切れ或は誌代前納なき場合は一切送本せざる事
七、誌代拂込は出來得る限り振替を利用し、振替の惡き場合は爲替又は切手を用ふ事（振替の通信欄には用件を明記する事）
八、振替にて拂込む場合は振替口座東京六九八五三進め社本部へ、尙一切の用件は東京本部宛にする事

□編輯室の壁に、二つの肖像が掲げられてゐる。夫は、吾等の最も愛するレーニンと十字架上のキリストである。

□若しレーニンありせば、トロツキーの今日なかりしものをと、涙なきを得ない。

□斃はれざるものは、先覺者である、昨日は赤軍の總司令官、革命ロシアの大立物として、生死の境を彷ひ、今日は配所の月に、萬感悲痛の想ひを焦す。吁、斃るものは只、俗惡者流の群か。

□キリストにしても然り。「神よ何故我を救ひ給はざるか」……彼の殘せし、悲痛の叫び、未だ吾等の腦裡に響き、これ亦、涙なきを得ぬ、

□想ひ玆に至れば、人の世のつれなさが、いとゞ身に沁む。彼を十字架に上せし者は誰か。又彼を流離の巷に陷し入れし者は誰か。而して更に問ふ。彼等をして、神と仰ぎ又無産者解放の永遠なる救ひ主として、仰ぎしは誰か。

□共に斃はれざるもの。然して共に永遠なる生命の脈搏の中に生くるもの。共に又、星霜、二千年を經たれど、ユダヤの民。

□萬感胸にせまり、感を追ふて想ひを新に亂すれど、吾は今、玆に多くを言はず、只、果敢なき人類の心の傷ましさを、憤るのみ。

□この事實を想ひ、更に、吾日本現在の社會運動の上に照し、諸君の腦裡に浮ぶ、何ものもなきか。

□大庭氏は死んだ。否殺されたのだ。冷たいシベリヤの雨も白樺の林で、劇的悲壯な死を遂げたのだ。

□感激は。正義は、常に正しき心からのみ湧く。殊に虐げられつゝあるものにとつては、それは反逆の血潮となり、焰となつて、何者をも燒きつくさずにはおかない。

□吾は知る、テロリストの悲しき心を。……直ぐなる心を。（牧）

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

無産階級
戰へ
戰鬪主義

創刊號内容

□卷頭言……福田狂二
□無產階級戰列後退を排撃す……破戒生
□小作人に檄す……山根穂
□戰ひの大衆心理……近藤友四郎
□例はうめくさ……渡邊政治
□無産青年に訴ふ……山川亮
□特選寄施と當面の諸問題……齋藤修
□階級戰……森川阿
□大庭氏の形式論……百駿氏
□トロツキーを思ふて……福田狂二
□山陰時評、福田山本中村
□治安維持法案に反對せよ……同人
□我等は戰んのみ……戰へ社

一部二十錢　一年二圓

戰へ社
大阪市外鷺洲町海老江一〇七七

前進
三月號

東京市本郷區千駄木町五五
大衆社

最新刊

辯護士　布施辰治　中西伊之助共書

裁くもの裁かれるもの

四六判　美裝
一四〇頁　定價一圓九十錢
（送料十錢入）

權力の前に弱き民衆よ讀め！
裁く者は常に裁かれる者から裁かれる。裁くものには疑獄はあるが、裁かれる者自身は常に明獄である

東京市神田區神保町
自然社
振替東京三五五一六〇

◇高尾平兵衛　久板卯之助
追憶（全集）
一部三十錢

◇ペトログラード解散式とモスクワ大會
（一部二十錢）

發行所
東京府下駒澤深澤七〇三
民衆運動社

◇社會主義其他新古
◇農村問題圖書雜誌
◇勞働問題パンフレット
◇婦人問題リーフレット
◇プロ文學年鑑統計
◇哲學問題出版販賣

上西書店
上西一郎

本店　神戸市湊川公園前
支店　神戸市大阪町二丁目十七番地

進め社法律顧問

辯護士　法學士
久保山武雄

赤坂表町一丁目一番地（豐川稻荷前）
電話青山三〇五四番

一南海民衆新聞

一部五錢

發行所
南海民衆新聞社
和歌山縣海草郡紀和町六七番地

木藤精一郎個人雜誌

特種雜誌
骨警評論

三月號
一部十錢

發行所
大阪市北區小松原町
キトウ社
振替大阪三四七四六番

募集

目下失業者の數は、日を追つて増加しつゝある、都會に在つて職を失つた者の爲めに「無產階級出版物共同販賣所街闘社」を設けて。街頭宣傳と街頭販賣をやる。來りて街頭に起て！一日三圓位になると思ふ。

◆募集人員十名◆

無產階級雜誌
パンフレット
リーフレット
社會主義圖書
共同販賣

街闘社
大阪市外鷺洲町海老江一〇七七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

原藥の精選を
生命とする

仁丹

懷中良藥
口中香劑

婦人良藥

喜谷實母散

産前、産後、血の道、引風、冷込等に特效有

△全國到る處に販賣す

本舗
東京京橋區中橋大鋸町
喜谷市郎右衛門
電話京橋 五五番 五六番

柯公全集

◇菊版函入美本
◇總布製全六卷
◇各卷五百頁内外
◇裝幀不折畫伯　◇背文字碧梧桐詞宗
◇第一卷（三月二十日發行）

題字　大阪毎日新聞社長 本山彦一氏
序文　雜誌我等主幹 長谷川如是閑氏

日露修交第一の犧牲者理想的の新聞記者柯公の遺著全集第一卷第二卷の隨筆には睥下を撲ぐるが如き筆致裡に宗敎あり諷刺あり敎訓あり第三卷第四卷の紀行の部に至り彼の足跡は全地球に跨がつて南洋南米南阿より歐洲に及びしかも露本國並に露領の實地踏査は戰前戰後止に幾回なるやを知らず露國研究の第一人者たるや論なし第五卷の論文に至りては彼の多趣味なる文藝に綸譜に俳句に川柳に遺憾なく其天稟的の筆力を現はし全卷に渉て讀者を百花爛熳の春野に蕩醉せしむるの感あり青年にして新聞記者たらんとする者は須からく、彼の文に學ぶべく此全集は入露者のガイドブツクとなり日露貿易業者の寶典として一日も座右を放つべからざるもの本會は事業の終了するや即時に解散するものなれは全集は忽ちにして絶版となり市價は之が爲書頽の暴騰を來すや疑ひなし此機會を逸せず入會を勸む

（明細書申越次第無代進呈）

柯公全集刊行會

東京市麹町區下六番町二七
振替東京七〇五一三

金　銀　白金

德力本店
東京神田松田町
振替東京三九九
電話神田 一三四番 一三五番 二三六番

社會主義研究

◇社會主義研究の權威◇（面目一新）紹介掲載・購讀勸誘・交換廣告を乞ふ

三月號

▼無産階級倫理の新基調……新居格
□同盟罷業の數量的研究……村島歸之
□小作人より見たる小作調停法……水谷長三郎
□佛國CGTの成立……石川三四郎
▼我等の態度……秋田雨雀・新居格・大宅壯一
▼海外の消息……安部（米）友成（英）小牧（佛）尾瀬（露）守田（獨）宮崎（支）
▼海内の消息……山崎今朝彌・村島歸之
□平和主義の二潮流……松下芳男
□我國に於ける勞働敎育の失敗……中西伊之助
□自由戀愛に關する刑罰……守田有秋
▼維新當時の士地國有論……安部磯雄

◇定價 三十錢（税一錢）一年三圓三十錢◇

東京市芝區新櫻田町一九
日本フェビアン協會發行

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

クレオソート油
新劑アクゾール 注入木材

塗料用木材防腐防虫劑 クレオソリユム 新劑アクゾール 製造發賣

——御申越次第各説明書贈呈致ます——

東洋木材防腐株式會社

本社 大阪市東區瓦町二丁目五五 電話本局長二〇二・二〇三番

東京事務所 東京市麹町區内幸町一丁目四 電話銀座長二〇六二、二〇六三番

大黑

粟オコシ
福オコシ

大阪あみだ池

◆同じ電氣料で◆

マツダ瓦斯入電球

◆光力倍加◆

三越の商品券

◆本店及び各分店にて販賣◆

何處を探してもない時

洋酒洋食料品一式ならで

キリンビール

明治屋

東區南本町（堺筋角）

に行けはきつとあります

株式會社 第百銀行

東京市日本橋區萬町

株式會社 川崎銀行

東京市日本橋區檜物町

富澤町支店 日本橋區富澤町
神田支店 神田區松住町
淺草支店 淺草區田原町
本所支店 本所區相生町
押上支店 本所區押上町
神樂坂支店 牛込區神樂坂町
銀座支店 京橋區出雲町
京橋支店 京橋區南八丁堀町
番町支店 麹町區三番町
丸之内支店 麹町區郵船ビルディング
上野支店 下谷區仲御徒町
芝支店 芝區櫻川町
金杉支店 芝區金杉（金杉橋際）
王子支店 王子町

宇治かほる

森永

は香味
ゆたや

各製菓子店
食料品店
にあり

大阪市西區江戸堀

大同生命保険株式會社

電話土佐堀ノ 二一 三三 二二・一四 三五 三二 三〇（番）

大阪商船株式會社

本社 大阪市北區富島町

資本金 壹億圓
拂込資本 六千二百五十萬圓
積立金 五千萬圓
所有船舶 百三十六隻
總噸數 四十五萬噸
營業航路 五十線

內外主要定期航路

日本歐洲線
北米タコマ線
紐育線
南阿南米線
日本孟買線
日本濠洲線
日本甲谷陀線
日本瓜哇線
基隆新嘉坡線
瓜哇盤谷線
神戸基隆線
大阪大連線
大阪天津線
大阪青島線
敦賀浦鹽線
大阪別府線

右記各線の外日本西部朝鮮臺灣南清沿岸に數十の定期航路を有す

精工舍時計

歐米時計類
眼鏡双眼鏡
測量諸機械
プラチナ地金
ダイヤモンド
紀念盃徽章
寶石指環類
各種裝身具

服部時計店

東京銀座二丁目

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

The Su-su-me Socialists Monthly.
Hed office No 1 Sakurada-Kubocho Shiba Tokyo.

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
大正十四年二月一日發行
■每月一回一日發行
■定價一部十錢(郵稅五厘) 半年六十錢 一年一圓(稅共)

發行所 東京市芝區櫻田久保町十九(振替東京六九八五三) 進め社本部

不斷の努力を捧げて

絶えず品質を精選し、價格は低廉に、趣味と實用を標語として、常に社會の趨勢に鑑み、時世に適應して改善に改善を加へつゝ、不斷の努力を續けてをります當店は、店内の諸施設、店員のサービスに於ても成案を期し、只管顧客各位の御満足と御愉快を以て直ちに當店の喜びと致してをります、何卒御休憩旁々御光來の程偏へに御願ひ申し上ます。

地方よりの御註文は通信販賣部宛に願ひます、尚その御手引として御便利なる當店發行の「三越カレンダー」御申越次第御送附申し上ます。

大阪・高麗橋
三越呉服店

受けて重寶
贈るに便利
商品券
御進物には是非 此れを!!
金壹圓以上は箱入としまして至極体裁よく調製致します
東京・大阪 本支店及び大阪梅田、神戸、東京各出張店の共通で御座います
白木屋呉服店

營業品目

呉服
木綿
半衿帛紗
風呂敷
夜具布團
蚊帳
御祝節品
洋服
外套
コート
婦人服
洋服
附屬品
帽子
ステッキ
洋傘

ショール
シャツ
ハンカチ
靴鞄
貴金屬
時計
美術品
化粧品
藥品
小間物
袋物
下駄、傘
子供洋服
子供用品
文房具
玩具

運動具
和洋樂器
蓄音機及
レコード
書籍雜誌
寫眞機及
材料
茶鰹節
菓子
食料品
和洋酒
和洋食器
和洋家具
電氣器具